文部科学省認可通信教育

2026年度第2学期

面接授業シラバス
中国・四国ブロック版

開講期間：2026年10月17日（土）～2027年1月24日（日）

放送大学
教養学部

面接授業シラバス（面接授業時間割表ブロック版）のペーパーレス化について

2026 年度第 1 学期まで、学生の皆様には「面接授業時間割表ブロック版」冊子をお送りしておりましたが、SDGs の目標 12「つくる責任 つかう責任」の廃棄物の大幅削減、目標 15「陸の豊かさも守ろう」の森林の保護の達成に向け、本学の「面接授業時間割表ブロック版」冊子につきましては、原則として印刷物はお送りしないこととなりました。

2026 年度第 2 学期の面接授業シラバスなどの詳細は、下記のウェブサイトでご覧ください。また、システム WAKABA シラバス検索では、開講曜日やキーワードによる検索ができ、ご希望にかなう授業が見つけやすくなりますのでぜひご活用ください。

【面接授業ウェブサイト】
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

【システム WAKABA シラバス検索】
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

面接授業シラバスをウェブサイトでご覧いただくことが難しい方へ
ご所属の学習センターで印刷物を配付します。

1．受取方法
（1） 窓口
所属学習センターの窓口で配付します。開所日時にご注意ください。
（2）郵送
面接授業シラバスを送付してほしい旨を便箋等に記載し、「お届け先」を記入したレターパック（ライト）と一緒に、所属学習センターまでお送りください。
印刷物を封入して返送します。学習センター所在地は、本冊子巻末に記載しています。

2．期限
2026 年 8 月 15 日（土）から 2026 年度第 2 学期の科目登録申請が始まりますので、その前までに窓口又は郵送で受け取るようお願いします。これより遅くなると、科目登録申請期限までにお渡しできない可能性がありますのであらかじめご了承ください。

※ご所属以外のブロック版の印刷物を希望する場合
各ブロックの**太字・下線**で示している学習センターで取扱っておりますのでお手続きください。

ブロックは以下７つに分かれています。
・北海道・東北ブロック（北海道、青森、岩手、**宮城**、秋田、山形、福島）
・北関東・甲信越ブロック（茨城、栃木、**群馬**、新潟、山梨、長野）
・南関東ブロック（埼玉、千葉、東京渋谷、**東京文京**、東京足立、東京多摩、神奈川）
・東海・北陸ブロック（富山、石川、福井、岐阜、静岡、**愛知**、三重）
・近畿ブロック（滋賀、京都、**大阪**、兵庫、奈良、和歌山）
・中国・四国ブロック（鳥取、島根、岡山、**広島**、山口、徳島、香川、愛媛、高知）
・九州・沖縄ブロック（**福岡**、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）

（ライブ Web 授業のシラバスは全てウェブ上で確認するようお願いしております。PDF、冊子は配付していませんのでご了承ください。）

【中国・四国ブロック】の各学習センターで開設される2026年度第２学期面接授業のシラバスを掲載しています。各科目の授業概要や日程等の詳細をご確認ください。
科目登録の方法や履修にあたっての注意事項等は、「 2026年度第２学期面接授業開設科目一覧」でご確認ください。

なお、中国・四国ブロック以外のシラバスは、大学ウェブサイトからご参照いただけますので、ぜひご利用ください。

●面接授業ウェブサイト
全ブロックの面接授業シラバスをPDFで公開しています。
https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/2/syllabus/

●WAKABAシラバス検索
科目名やフリーワードなどを条件指定し、放送授業・オンライン授業・面接授業・ライブWeb授業を横断的に検索することも可能ですので、ぜひご活用ください。
https://www.wakaba.ouj.ac.jp/kyoumu/syllabus/

目　　次

● シラバス
- 鳥取学習センター …… 2
- 島根学習センター …… 12
- 岡山学習センター …… 23
- 広島学習センター …… 42
- 福山サテライトスペース …… 62
- 山口学習センター …… 70
- 徳島学習センター …… 82
- 香川学習センター …… 96
- 愛媛学習センター …… 108
- 高知学習センター …… 120

● 各学習センター案内図 …… 133

【巻末資料】
● 追加登録申請書

科目コード	2696460
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**英語で巡る 鳥取砂丘と城跡**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	25名
担当講師	サワダ　アキコ 澤田　晶子 フリーランス翻訳者
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【１日目★鳥取砂丘ビジターセンター★砂の美術館、第5回は鳥取城跡（鳥取県鳥取市福部町湯山2164-971、鳥取市福部町湯山2083-17、鳥取市東町2丁目)】で行います。

授業概要

【授業内容】
この授業では、鳥取市の自然・文化・歴史を英語で学びます。砂丘、美術館、城跡という多様な題材を用いて、座学で背景と英語表現を学び、現地を訪問した後、現地体験で得た知識も活かしながら、英語を使ったコミュニケーション実践に挑戦します。鳥取砂丘と砂の美術館についての英語ガイド、鳥取城に関する英文翻訳という2種類の実習を通じて、楽しみながら英語力向上を図ります。英語力のレベルに関わらず、それぞれのペースで学べる内容です。

【到達目標】
・ガイドに使える定型的な英語表現と、自然、観光、美術、文化、歴史に関する単語等を学び、現地体験を通じて得た知識も活かしながら英語で簡単な案内ができるようになる。
・翻訳の基本的な概念を学び、歴史的な英文資料を用いた翻訳実習を通じて、基礎的な翻訳ができるようになる。

【授業テーマ】
第1回（座学）英語で学ぶ鳥取砂丘・砂の美術館
第2回（現地見学）鳥取砂丘見学
第3回（現地見学）砂の美術館見学
第4回（座学）英語ガイドに挑戦
第5回（現地見学）英語で学ぶ鳥取城跡
第6回（座学）翻訳の基礎・鳥取城跡に関する英文のリーディング
第7回（座学）翻訳に挑戦
第8回（座学）２日間の学びの振り返り

【学生へのメッセージ】
AIやバーチャル体験が溢れる今こそ五感を使う学びの意義が大きいと思います。雄大な鳥取砂丘、砂像を屋内展示する世界で唯一の砂の美術館、城郭の博物館と呼ばれる鳥取城跡を体感しながら楽しく英語を学びましょう。

【受講前の準備学習等】
鳥取砂丘、砂の美術館、鳥取城跡について英語で書かれているウェブサイトやパンフレット等に目を通し、英語表現を調べておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、A4のクリップボードまたはバインダー、
英和辞典・英英辞典（あれば電子辞書推奨、パソコン、タブレット（スマホ可）でインターネット検索利用）
１日目は砂丘、２日目は城跡を歩きます。体調を整え、動きやすい服装と歩きやすい靴での参加をお願いします。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
砂の美術館の入館料約800円が必要です。
１日目の鳥取砂丘へは路線バス（片道約400円）があり、２日目は鳥取市100円循環バス「くる梨」緑コース（鳥取駅から仁風閣・県立博物館で下車）があります。自家用車利用の駐車料金は自己負担となります。
天候によっては、一部の現地見学を短縮または取り止めて座学に切り替える可能性があります。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧 (P.5参照)）
学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

科目コード	2696479
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**きのこ資源科学2**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	サクノ　エミ 作野　えみ 一般財団法人日本きのこセンター菌蕈研究所 上席主任研究員 オクダ　ヤスヒト 奥田　康仁 一般財団法人日本きのこセンター菌蕈研究所 主任研究員
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:40～11:10 第2時限　11:20～12:50 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～17:00 10月18日(日) 第1時限　9:40～11:10 第2時限　11:20～12:50 第3時限　13:50～15:20 第4時限　15:30～16:15 試験・レポート等　16:15～17:00
実施会場	この授業は、【★一般財団法人日本きのこセンター菌蕈研究所(鳥取県鳥取市古郡家211)】で行います。

授業概要

【授業内容】
食材として身近なきのこですが、実際にどのように栽培されているか、またどのきのこにどの栄養成分が多いかなど一般的には知られていないことも多いものです。この授業では、きのこ産業の最新情勢から食用きのこ類の栽培法、栄養成分や調理する際のポイントなど、きのこについて幅広く学びます。また菌床培地づくり、培地へのきのこの接種、組織分離や顕微鏡観察などの実習を通してきのこ栽培に関する理解を深めます。

【到達目標】
きのこがどのような生物であるのかを理解し、きのこ産業の動向と食用きのこの栽培法を知ることができる。
また、きのこに特徴的な栄養成分を知り、効果的に摂取するための調理法を習得することができる。

【授業テーマ】
第1回 きのこ栽培について（奥田）
第2回 実習　菌床培地づくり（奥田）
第3回 きのこ産業について（奥田）
第4回 きのこの栄養成分と健康機能性成分について（作野）
第5回 きのこの加工法、調理法と成分について（作野）
第6回 実習　菌床培地へのきのこ種菌の接種（作野）
第7回 実習　子実体からの組織分離と顕微鏡観察（奥田）
第8回 きのこの新たな活用法について（作野）

【学生へのメッセージ】
きのこの食味成分や栄養成分について学び、おいしく、かつ栄養成分を効果的に摂取する調理法を科学的に理解して欲しいです。また、きのこ産業に興味を持ち、実習を通してきのこ栽培に関する実用的な知識を深めて欲しいです。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
きのこは普段から身近に存在していますが、案外見逃しているものも多いかもしれません。近くのスーパーでどんなきのこが販売されているか、道端にどんなきのこが生えているかなど注意深く観察してみてください。また、きのこについて、様々な情報がありますが、疑問に思うことなど考えてみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、昼食 ※近隣に飲食店等はないため、予め用意が必要。
実習がありますので、汚れても良い服装、動きやすい服装が望ましい。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・図解よくわかるきのこ栽培（財団法人日本きのこセンター編／家の光協会／¥1,980／ISBN=4259517929）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
1日目、2日目とも菌蕈研究所（鳥取市古郡家211）で行います。鳥取駅より循環バス（片道約300円）があります。公共交通機関を利用しにくい場所になりますので、事前に経路をご確認ください。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））

科目コード	2696487
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**実験で学ぶ 色の科学と文化史**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	30名
担当講師	ヤスイケ　トモカズ 安池　智一 放送大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	鳥取学習センター

授業概要

【授業内容】
古代中国の『詩経』にも「悠悠蒼天　此何人哉」とあるように、人類は古くから身の回りの色への思索を深めてきました。その探求精神は光の物理学、色覚の生理学に結実します。本講義ではその歴史を追体験しながら、我々が色とりどりの世界を認知する原理について学びます。また、簡易分光器の作成、スペクトルの測定を行うことで色の背景にある物質の世界への入門も目指します。
【到達目標】
光の基本的な性質およびヒトが色を認知する仕組みに基づいて、青天時の空が青色に見える理由を説明することができる。授業中に作成した簡易分光器を用いて光の波長と色の関係を正しく対応づけることができる。我々人類が使いこなしてきた様々な染料や顔料のいくつかについて、具体的な物質名や特徴を含めて説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 空の蒼色に関する思索の歴史
第2回 実験で学ぶ光の性質
第3回 色覚の生理学
第4回 ついに解けた蒼天の謎
第5回 モノの色とスペクトル
第6回 青いバラはなぜ不可能の象徴なのか
第7回 赤と青の民俗学
第8回 蒼い石：ラピスラズリと青色LED
【学生へのメッセージ】
空はなぜ青いのか？この素朴な疑問を軸に色の科学・生理学を学び、色と人類の関わりの歴史を紐解きます。科学パートは実験を中心としますが、いわゆる“文系”の方の受講も歓迎します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自身の知識が特に弱いと思われる事柄についてインターネット等で調べて、その概要を把握しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
カッターナイフ、カッターマット、セロテープ（2日目のみ）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・青の物理学　空色の謎をめぐる思索（ピーター ・ペジック著、青木薫訳／岩波書店／¥2,860／ISBN=9784000050111）
あくまで参考書ということで必須ではありませんが、ご興味のある方は古書で入手または本部附属図書館等からお取寄せください。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2696495
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**発酵が拓く味と未来**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	アリマ　ジロウ 有馬　二朗 鳥取大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:20～10:50 第２時限 11:00～12:30 第３時限 14:10～15:40 第４時限 15:50～16:35 10月25日(日) 第１時限　9:20～10:50 第２時限 11:00～12:30 第３時限 13:20～14:50 第４時限 15:20～16:50
実施会場	この授業は、【★太田酒造場(鳥取県八頭郡若桜町若桜1223-2)、★兎ッ兎ワイナリー（鳥取県鳥取市国府町麻生178-11)】で行います。

授業概要

【授業内容】
「発酵」は微生物を活用したものづくりの技術であり、さまざまな食品の製造に利用されています。特にアルコール飲料は、紀元前数千年前から作られてきた記録があり、その製造の歴史は非常に深いものです。酒造りの技術は時代とともに発展し、現代のバイオテクノロジーにも大きな影響を与えてきました。本講義では、発酵技術の歴史とともに、アルコール飲料や発酵食品の製造方法を学びます。また、実際に酒蔵やワイナリーを訪れ、伝統的な製造工程や発酵技術を体験する機会も設けています。発酵の科学と文化を理解し、その可能性を探求する講義を予定しています。
【到達目標】
発酵の基本原理とバイオテクノロジーの関係を説明できるようになり、また、アルコール飲料の製造過程を理解し、発酵が味に与える影響を科学的に説明できるようになることを到達目標とする。さらに、酒蔵やワイナリーでの観察を通じて、伝統的および最新の発酵技術の特徴を比較し、発酵技術の発展が食品産業に与える影響を考察できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 発酵とは？　―発酵と腐敗、バイオテクノロジーの歴史―
第2回 アルコール飲料の製造１　―日本酒の特徴と製造法―
第3回 日本酒酒蔵の施設見学　―米の品種と麹造り―
第4回 日本酒酒蔵の施設見学　―もろみと発酵―
第5回 アルコール飲料の製造２　―ワインの特徴と製造法―
第6回 アルコール飲料の製造３　―ビールの特徴と製造法―
第7回 その他の食品・食材の発酵生産
第8回 ワイナリーの施設見学　―ブドウの品種と栽培、収穫、醸造―
【学生へのメッセージ】
少し専門的な内容も含まれますが、身近な例を挙げながらなるべくわかりやすい解説を心掛けたいと思います。お酒や発酵食品に興味がある方は、是非受講してみてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
施設見学をするため、清潔かつ動きやすい服装。
受講前日から納豆を食べないこと。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
１日目と２日目の施設見学では、受講生全員が鳥取駅南口ロータリーから外部開催会場まで貸切バスで往復します。貸切バス代（約5,000円）は自己負担です。受講前にキャッシュレス決済のご案内をキャンパスメールへ送りますのでご確認ください。欠席する場合は、貸切バス代のキャンセル料が発生する場合があります。
兎ッ兎ワイナリーの施設見学料約1,500円が必要です。
施設での見学にて試飲を希望される場合は費用が発生することがあります。また、酒蔵見学とワイナリー見学の日程が前後することもありますのでご了承ください。詳細については、受講生の方へ別途お知らせします。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください（面接授業開設科目一覧（P.5参照)）

科目コード	2689189
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	キムラ　イチロウ 木村　一朗 社会医療法人明和会医療福祉センター 渡辺病院・主任臨床心理士／ 放送大学鳥取学習センター客員准教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	鳥取学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、さまざまな心理検査の理論的背景を解説し、実際に３つの心理検査を体験します。各種心理検査の特徴と限界を学ぶとともに、自分自身の結果について解釈を行い、レポートにまとめます。
受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、すべての実習課題についてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義や具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。
検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理検査法概説（種類、意義と限界、テストバッテリー、倫理等）
第2回 検査実習１　DES（解離体験尺度）、解説と解釈
第3回 検査実習２　KFD（動的家族画）
第4回 検査実習２の解説と解釈
第5回 検査実習３　P-Fスタディ
第6回 検査実習３の解説と解釈
第7回 結果の活かし方
第8回 検査実習のまとめ
【学生へのメッセージ】
自分自身の心理検査の結果を解釈してレポートを提出していただきます。心理検査について体験的理解を深めていただく機会になればと期待します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組み（学習状況）とレポートの評点により行います。なお、レポートは返却します。

【受講者が当日用意するもの】
HBまたは2Bの鉛筆、消しゴム、学生証を用意してください。
レポートの書き方の指導をしますので、必須ではありませんが、ノートパソコン、タブレット端末等、文書が作成できる機器の持参をお勧めします。持参できない場合は手書きされても構いません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696509
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**家族支援： 鳥取ペアトレの実践**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	イノウエ　ナホ 井上　菜穂 鳥取大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	鳥取学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業は、発達障害の基本的な特徴を理解するとともに、発達障害のある子どもを育てる家族への支援について理解を深めることを目的とします。特に、鳥取県で開発・実践されてきた鳥取方式ペアレントトレーニングを取り上げ、家族支援の基本的な考え方と具体的な実践方法を学びます。家族が日常生活の中で抱える困難を丁寧に捉え、子どもと家族の双方にとって無理のない、生活に根ざした支援の在り方を考えることを重視します。事例を通して、支援者および家族それぞれの立場から家族支援を捉え直し、地域における発達障害支援への理解を深めます。

【到達目標】
・発達障害の基本的特徴と、家族が抱えやすい困難を理解できるようになる。
・家族支援におけるペアレントトレーニングの意義と考え方を説明できる。
・鳥取方式ペアレントトレーニングの特徴を踏まえ、事例を通して生活に根ざした家族支援や地域支援の在り方を考察できる。

【授業テーマ】
第1回 発達障害概論
第2回 発達障害への支援
第3回 ペアレント・トレーニング
第4回 鳥取方式ペアトレの実践①行動を理解する
第5回 鳥取方式ペアトレの実践②行動をかえるほめ方
第6回 鳥取方式ペアトレの実践③環境調整
第7回 鳥取方式ペアトレの実践④伝え方、教え方の工夫
第8回 ペアトレの実践から考える家族支援

【学生へのメッセージ】
本授業では、発達障害のある子どもを育てる家族への支援について、鳥取方式ペアレントトレーニングの実践を通して学びます。専門職でない方も、日常生活に生かせる視点を得られる授業です。

【受講前の準備学習等】
発達障害に関する専門的な予備知識は必要ありませんが、基礎的な知識や用語について確認しておいてください。また、発達障害に関するニュースや身近な話題に目を向け、関心をもって日常生活の中の課題や支援について調べておくと、授業内容の理解がより深まります。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696517
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**人口減の未来を読み解く**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ニシムラ　ノリコ 西村　教子 公立鳥取環境大学教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 2027年1月10日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	鳥取学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、日本の人口減少を「ひとりひとりの行動の結果」として捉え、その背後にある社会経済的メカニズムを分析します。前半は、人口置換水準や人口モメンタム、人口オーナスといった将来の社会構造を規定する概念を軸に、統計データから現状を把握します。後半はグループディスカッションを中心に、結婚・出産をめぐる個人の選択や、働き方、地域の持続可能性について議論し、人口減少社会への展望を深めます。

【到達目標】
1．人口置換水準や人口モメンタム等の概念を用い、人口変動のメカニズムを説明できる。
2．人口オーナスがマクロ経済や労働市場に与える影響を論理的に説明できる。
3．社会経済的要因とライフイベント（結婚・出生）の関連を理解し、持続可能な社会のあり方を提案できる。

【授業テーマ】
第1回 日本の人口減少の現状と統計的基礎
第2回 将来推計と「人口モメンタム」
第3回 人口オーナスとマクロ経済への影響
第4回 労働市場の変容と日本型雇用の限界
第5回 結婚：非婚化の進展と個人の選択（グループディスカッションあり）
第6回 出生：理想と予定子供数の乖離（グループディスカッションあり）
第7回 人口減少社会：働き方改革と地域の持続可能性（グループディスカッションあり）
第8回 日本社会の展望

【学生へのメッセージ】
人口問題は、すべてはひとりひとりの行動の結果です。多様な価値観に触れる議論を通じ、複眼的な視点で日本の未来を展望しましょう。自ら課題を発見し、理解を深めようとする主体的で意欲的な方を歓迎します。

【受講前の準備学習等】
受講前に総務省「人口推計」の最新値や、自身の居住自治体の人口動態を確認しておいてください。また、第5回以降のグループディスカッションに向けて、自身の生活圏における結婚・育児の障壁や働くことの障害について考えをまとめておくことが求められます。

【成績評価の方法】
成績評価は、グループワークでの成果（提出物）と授業中の学習状況及びレポートにより行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
パソコン、タブレット等を持参してインターネット検索しても構いません。
学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

科目コード	2696533
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**史料にみる 鳥取藩主池田家の歴史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	チバ　タクマ 千葉　拓真 鳥取市歴史博物館・学芸員
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	鳥取学習センター

授業概要

【授業内容】
江戸時代、鳥取を治めた大名池田家の歴史について、歴史資料（史料）を読み解くことで解説していきます。本授業では、池田家の在り方を通じて、江戸時代の政治・社会の在り方なども合わせて学習し、江戸時代の大名家についてより深く学ぶことが出来るように工夫しています。
【到達目標】
・池田家の歴史について、江戸時代の政治や社会の仕組みと関連付けて理解できるようになる。
・江戸時代の大名家の在り方について、池田家を主な事例に理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 近世大名家の特質と鳥取藩主池田家の成立
第2回 鳥取藩主池田家と大名社会
第3回 池田家に仕えた「女」たち―奥女中たちの江戸時代史―
第4回 鳥取藩主池田家と京都
第5回 鳥取藩主池田家の養子たち
第6回 近世大名池田家と武家の官位
第7回 鳥取藩主池田家の「戦争」―その記憶と経験―
第8回 幕末維新期の鳥取藩と京都
【学生へのメッセージ】
写真やスライドを使用し、わかりやすい授業を心掛けたいと思います。歴史に興味のある方であれば、専門的な知識は特に必要ありませんが、日本史、特に江戸時代の歴史について簡単に復習しておくことをお勧めします。
【受講前の準備学習等】
参考文献や日本史の教科書などを読み、基礎知識などを習得しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、ノート
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・《日本史の現在》4.近世（牧原成征編／山川出版社／¥3,300／ISBN=9784634591424）
特に、第６章の「藩から江戸時代史を見直す―その前提作業として 」を参照してください。
・鳥取藩主池田家の養子たち（鳥取市歴史博物館／鳥取市歴史博物館／¥1,199／ISBN=9784904099476）
鳥取市歴史博物館のミュージアムショップで販売しています。また通信販売での購入も可能です。詳しくは鳥取市歴史博物館までお問合せください。
・江戸時代の京都と鳥取（鳥取市歴史博物館／鳥取市歴史博物館／¥1,166／ISBN=9784904099438）
鳥取市歴史博物館のミュージアムショップで販売しています。また通信販売での購入も可能です。詳しくは鳥取市歴史博物館までお問合せください。
・大名 池田家のひろがり（鳥取市歴史博物館／鳥取市歴史博物館／¥1,000／ISBN=9784904099131）
鳥取市歴史博物館のミュージアムショップで販売しています。また通信販売での購入も可能です。詳しくは鳥取市歴史博物館までお問合せください。
・鳥取のお殿さま（鳥取市歴史博物館／鳥取市歴史博物館／¥1,100／ISBN=9784904099315）
鳥取市歴史博物館発行の図録ですが、現在品切れ中ですので、図書館等で閲覧してください。

科目コード	2696541
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**野菜を育てる**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	コンドウ　ケンスケ 近藤　謙介 鳥取大学准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:20～10:50 第2時限　11:00～12:30 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月1日(日) 第1時限　9:20～10:50 第2時限　11:00～12:30 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	この授業は、【★鳥取大学農学部附属フィールドサイエンスセンター（鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地)】で行います。

授業概要

【授業内容】
野菜は、種をまいたり、苗を植えたりすると、ある程度の自然条件（日照、気温、雨など）がそろえば、何も世話をしなくても育ちます。しかし、この授業では、「育った」ではなく「育てて収穫ができた」を目指します。肥料の基礎知識を学び、果菜類・葉茎菜類・根菜類それぞれの代表的な野菜を取り上げ、栽培のポイントを解説します。また、フィールドサイエンスセンターで栽培している野菜を使った作業も体験し、理解を深めていただきたいと思います。
【到達目標】
野菜を育てるために、肥料、作型、生育診断について理解し、作付けの計画を立てることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 肥料について（1）
第2回 肥料について（2）
第3回 葉茎菜類について（1）
第4回 葉茎菜類について（2）
第5回 果菜類について（1）
第6回 果菜類について（2）
第7回 根菜類について（1）
第8回 根菜類について（2）
【学生へのメッセージ】
フィールドサイエンスセンターで栽培している野菜を実際に扱うことにより、講義の理解が深まることを目指します。野菜そのものに、さらには野菜を育ててみることに興味を持つきっかけになると嬉しいです。
【受講前の準備学習等】
特別な予備知識は必要ありませんが、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。育ててみたい野菜、食べてみたい野菜など、野菜に対して普段以上に意識をしながら過ごしていただけたらと思います。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
畑やビニールハウスでの農作業も計画しています。汚れてもよい（作業ができる）服装・靴（長靴）、帽子、作業用手袋、タオル、飲み物などを準備してください。
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・農学基礎シリーズ　野菜園芸学の基礎（篠原温（編著）／農山漁村文化協会／¥4,400／ISBN=9784540112058）

【その他（特記事項）】
天候等により、授業内容の日程が前後することもありますのでご了承ください。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧 (P.5参照)）

科目コード	2696550
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**土と水をめぐる環境科学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	サイトウ　タダオミ 齊藤　忠臣 鳥取大学准教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	鳥取学習センター

授業概要

【授業内容】
「土」は私達の生活の全てを支える土台であり、「水」と共になくてはならない存在です。 しかし、地球上の土は陸域で平均するとわずか18cmの厚さしかないことはご存知でしょうか？水と同様、土も極めて限られた資源なのです。本講義では土と水をめぐる科学と環境問題について、基礎的な話から最新の事例、また砂漠の植物の中をめぐる水や私達に身近な鳥取砂丘のオアシスの水の謎などを、写真・動画・クイズを多く交えながらお話しします。
【到達目標】
土壌についての基礎的な知識と土壌・植物体内での水移動のメカニズムを説明できる。地盤沈下や地盤の安定、土壌侵食・塩害といった問題について、原理や対策などが説明できる。
【授業テーマ】
第1回 土と水をめぐる環境科学：導入と土の基礎科学
第2回 土の中を流れる水の不思議（1）：観察とクイズ
第3回 土の中を流れる水の不思議（2）：理論と応用
第4回 植物の中をめぐる水：砂漠の植物の生存戦略
第5回 硬い土台を作るには？地盤沈下はなぜ起こるのか？
第6回 土壌の抱える問題：土壌侵食・塩類集積など
第7回 鳥取砂丘オアシスの謎：水はどこから来てどこへ行くのか？（1）
第8回 鳥取砂丘オアシスの謎：水はどこから来てどこへ行くのか？（2）
【学生へのメッセージ】
本講義のバックグラウンドは「土壌物理」「土質力学」「水文学」といった理系学問ですが、複雑な数式などは使わず出来るだけ簡素にお話しします。トピックスに興味がある方はどなたでも気軽に受講いただけます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696568
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**生態系ではたらく化学物質**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	イシハラ　アツシ 石原　亨 鳥取大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	鳥取学習センター

授業概要

【授業内容】
生物は、生態系の中で驚くほど巧みに化学物質を使いこなしています。植物どうし、植物と動物、植物と菌類など全く異なった生物が様々な化学物質を使って情報をやり取りし、身を守り、相手を操ろうとしています。このような化学物質は二次代謝物質、あるいは特化代謝物質などと呼ばれています。この講義では、植物や菌類などを中心に据え、これらの生物がどのような物質を作り出し、どのように利用しているのか、といった観点から、様々なトピックを取り上げ、目に見えない化学物質を介した生物間のつながりを紐解いていきます。
【到達目標】
生物が作り出す多様な二次代謝産物を生合成経路や化学構造から分類して説明できるようになる。
生態系の中で機能する化学物質の役割を知ることで生物間の相互作用を深く考察できる。
化学物質を介した生物間相互作用が農業や食料生産など人間の営みとも密接に関連していることを理解できる。
【授業テーマ】
第1回 生態系で働く化学物質（講義の紹介、イントロダクション）
第2回 生態系ではたらく二次代謝（特化代謝）とは
第3回 植物ホルモンと生物間相互作用
第4回 動物（主に昆虫）と植物二次代謝
第5回 菌類（きのこ）の二次代謝
第6回 植物と病原菌の化学生態学
第7回 細菌の化学生態学
第8回 人間と環境に関わる化学物質（農薬）
【学生へのメッセージ】
動くことができない植物や菌類も化学物質を駆使して、環境に適応しています。その様子を知ることで生物の複雑な関わりあいの一端をのぞいてみましょう。
【受講前の準備学習等】
化学構造式に慣れ、アルコールやカルボン酸といった基本的な化学物質の分類についてあらかじめ勉強しておいてください。講義後は、配付資料を見直し各講義での中心的な概念や事例について理解を深めてください。インターネットなどを使って類似の例を調べて化学物質の役割について考察してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696525
学習センター	鳥取学習センター
学習センターコード	31A
クラスコード	K
科目名	**動物のいる暮らし**
科目区分	総合科目
ナンバリング	420
定員	30名
担当講師	タケウチ　タカシ 竹内　崇 鳥取大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	鳥取学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、「人と動物との関係」について、歴史的背景を含めて現代における相互関係を多面的にとらえ、社会的な側面から動物とのかかわり方が人間生活にどのような影響を及ぼしているのかを学修します。
【到達目標】
人間と関わる動物がどのような経緯を経て現在の状況にあるのか、人と動物の関係性をもとに説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 動物と人との歴史的なかかわり
第2回 人の生活における動物の役割
第3回 動物の生活における人の役割
第4回 動物の行動からみた人との関わり方
第5回 人を介助する動物たち
第6回 伴侶動物の生涯と病気
第7回 野生動物と人との共存
第8回 環境変化が動物と人に与える影響
【学生へのメッセージ】
動物は社会を構成する一員であり、人の生活と密接に関わっています。将来にわたって人と動物が良好な関係を維持し続けるために、動物のことをより理解するきっかけとしてください。
【受講前の準備学習等】
シラバスに記載した内容から判断し、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696576
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	**教養としての化学入門**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	210
定員	20名
担当講師	ハシモト　ケンロウ 橋本　健朗 放送大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	島根学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業では、主に化学を専門としない学生を対象に、物質世界の基本原理とその背後にある美しい秩序を探求します。図解等を通じ、「暗記」ではない大学化学の楽しみ方や学び方を伝えます。周期表に隠された規則や、原子が結びつき多様な物質を形成する仕組みを学ぶとともに、化学者が取り組んできた問いや情熱の物語を紹介します。生命を支える分子や放射線の社会的意義、社会を変える化学にも触れ、現代社会の諸課題を科学的に読み解く視点を養います。
【到達目標】
各回のテーマに関する基礎知識を整理し、より根本的な問いを考えることができる。目に見えないミクロな粒子の振る舞いが、目に見える物質の性質として現れる仕組みを理解できる。電子の振る舞いやエネルギーに着目し、化学の原理を平易に説明できる。放射線の性質や社会的役割を理解し、化学と現代社会の関わりを具体例を挙げて説明できる。
【授業テーマ】
第1回 化学者の情熱と化学の世界：教養としての化学で何を学ぶのか？
第2回 化学の多様性と規則性の源泉：元素はなぜ周期表に並ぶのか？
第3回 原子核と放射線：放射線とは何か？　その社会的役割とリスク。
第4回 原子を結びつける絆：原子はなぜ繋がり、どのように分子を作るのか？
第5回 分子の形と機能：形が機能を決める。生命を支える分子たち。
第6回 化学反応とエネルギー ：反応はなぜ起こり、どのように進むのか？
第7回 資源・環境・持続可能性：社会を変える化学の力とは何か？
第8回 まとめ：科学的な視点で現代社会を読み解く。
【学生へのメッセージ】
化学が苦手な方や学び直しの方も歓迎です。予備知識がなくても理解できるよう、図解を中心に考え方の本質を丁寧に解説します。放送授業への橋渡しとなる、大学化学の入口を体験しましょう。
【受講前の準備学習等】
「NHK高校講座 化学基礎」、放送授業の「現代を生きるための化学（'22）」（ラジオ）、「かたちの化学（'23）」（テレビ）の関連しそうな回を視聴しておくのもよいです。事前学習課題をキャンパスメールで知らせますので、取り組んでください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓かその機能が使えるスマホなど
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2696584
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	**人体発生学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ハシモト　リュウジュ 橋本　龍樹 島根大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	島根学習センター

授業概要

【授業内容】
ヒトの一生について、受精卵から始まり、死亡して火葬されてお骨になるまでのお話をします。人体発生学は一般的には受精卵から誕生までを研究する学問ですが、ヒトの発生過程からすると、受精卵の時から老化が始まっていると考えられています。生活習慣病の一部は胎児期のおかあさんの子宮の環境が影響していると言われています。すべてのヒトが必ず通ってきた道なのですが、皆さんの記憶に残っていない生まれるまでのことを中心に、ライフステージ全般にわたってお話します。
【到達目標】
ヒトの発生から生後の加齢の過程について学び、生活習慣病のもとが妊婦さんの生活が影響していることを知ることにより、健康に対する関心を高めることができる。
【授業テーマ】
第1回 卵子・精子から受精卵まで
第2回 着床から胚盤の形成
第3回 器官形成期と奇形１
第4回 器官形成期と奇形２
第5回 胎児期１
第6回 胎児期２
第7回 ライフステージ（赤ちゃんからお骨まで）
第8回 講義のまとめ
【学生へのメッセージ】
現在の健康と関連した話もありますので、あまり難しく考えずに話を聞いてください。わからないことがあればその都度質問してください。難しい横文字はできるだけ避けてお話ができればと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・『カラー図解　人体発生学講義ノート　第2版』（塩田浩平／金芳堂／¥6,490／ISBN=9784765317405）

科目コード	2689162
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	18名
担当講師	ミナモト　タケヒロ 源　健宏 島根大学准教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25
実施会場	島根学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験３種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション（心理学実験の概要とレポートの書き方の説明）
第2回 実験１「鏡映描写」実施
第3回 実験１「鏡映描写」解説
第4回 実験２「触２点閾の測定」実施
第5回 実験２「触２点閾の測定」解説
第6回 実験３「奥行き知覚」実施
第7回 実験３「奥行き知覚」解説
第8回 データの整理法とレポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。実験の結果のまとめやレポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（word、excel等）は習得されていることを望みます。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　Windows11
３．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）のいずれかが必要です。
　Wordが必要です。
　Excelが必要です。
４．その他
　マウスを持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・なるほど! 心理学実験法（三浦麻子／北大路書房／¥2,420／ISBN=9784762829963）
・公認心理師の基礎と実践⑥―心理学実験（山口真美、金沢創、河原純一郎（編）／遠見書房／¥2,860／ISBN=9784866160566）

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2696592
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	**発達障害の臨床心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ヤマナカ　トモヒサ 山中　智央 島根大学講師
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	島根学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、発達障害を「診断名」だけで捉えるのではなく、本人の特性と環境との関わりから理解し、臨床心理学の視点で支援の考え方と組み立て方を学びます。面接や観察などアセスメントの基本を踏まえ、自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症などの特徴と、日常生活での支援のポイントを整理します。あわせて、発達障害児を持つ家族への支援としてペアレント・トレーニングを取り上げ、きょうだいを含む家族の課題にも触れます。理解を深めるため、授業内では事例を用いたグループディスカッションも行います。

【到達目標】
・発達障害を、診断名だけでなく本人の特性と環境との関わりとして説明できる。
・面接・観察など基本的なアセスメントの視点を用いて、困りごとを整理できる。
・自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、限局性学習症などの主な特徴を踏まえ、支援のポイントを述べられる。
・家族支援の基本を理解し、事例に対して支援案を提案できる。

【授業テーマ】
第1回 現代の障害概念と臨床心理学の役割
第2回 支援につながる評価（アセスメント）の基本
第3回 各障害概論①：自閉スペクトラム症の理解
第4回 各障害概論②：注意欠如多動症の理解
第5回 各障害概論③：限局性学習症やトゥレット症候群等の理解
第6回 発達障害児の家族支援①
第7回 発達障害児の家族支援②
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
本授業では、発達障害を診断名の知識として覚えるのではなく、臨床心理学の視点から「その人の困りごとがどのように生じ、何が支えになるのか」を丁寧に考えることを大切にします。身近な場面で役立つ見方や関わり方を学びたい方は、ぜひ受講してください。

【受講前の準備学習等】
受講前に、発達障害（自閉症スペクトラム症・注意欠如多動症・限局性学習症等）の基本的な特徴や、ペアレント・トレーニングの概要を入門書や、信頼できるウェブで調べるようにしてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
参考文献については授業時に紹介いたします。

科目コード	2696606
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	**著作権法の基礎**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	イノウエ　ユリコ 井上　由里子 放送大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	島根学習センター

授業概要

【授業内容】
著作権法は著作物を保護と利用のバランスを図ることにより文化の発展に寄与することを目的とする法制度です。著作物には文化・芸術、エンタメ領域の表現を中心に広い意味で文化の領域に属する多様な表現が含まれます。
日々の生活の中で、明確に意識していなくとも、誰もが多くの著作物を利用し、また、著作物を創作しています。著作権法との関わりなしに生活できないといっても過言ではありません。
この授業では、著作権法の基礎を体系的に学び、応用問題として、生成AIと著作権の関わりなど今日直面する制度的課題についても検討します。
【到達目標】
著作物の利用者として、日常生活や仕事の現場で、著作権法上のコンプライアンスリスクのある行為を発見し、他人の権利を尊重して著作物を適切に利用するための基本的知識を身につけることができる。
創作者として、著作権法上有する自らの権利の内容を理解し、法的保護を受けたり権利を活用するための基本的知識を身につけることができる。
【授業テーマ】
第1回 著作権法の全体像（教科書第１章）
第2回 著作物（教科書第2章）
第3回 著作者・著作者人格権（教科書第３章・第４章）
第4回 著作権とその制限（1）（教科書第５章）
第5回 著作権とその制限（2）
第6回 著作権とその制限（3）
第7回 著作権侵害と著作権の活用（教科書第８章・第７章）
第8回 生成AIの提起する著作権法の課題
【学生へのメッセージ】
ハウツー的な知識を身につけることよりも、著作権法の基礎にある考え方を学ぶことを重視します。著作権法は何のためにあるのか、どうあるべきかを考えるきっかけになることを願っています。
【受講前の準備学習等】
・指定教科書はコンパクトではありつつ内容的に深みのある入門的教科書です。事前に全体を読んできてください（但、第６章は、時間の制約があるため授業で扱いません）。
・「AIと著作権」に関する政策文書（文化庁、内閣府等）や信頼できる文献を探し、読んでおいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
・『著作権法入門〔第4版〕』(2024年)（島並良＝上野達弘＝横山久芳／有斐閣／¥2,860／ISBN=9784641243811）

科目コード	2696614
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	**アメリカの今と私たち**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	オバタ　ユリ 小畑　由里 元インディアナ大学准教授／横浜国立大学特任非常勤講師
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	島根学習センター

授業概要

【授業内容】
今の日本には情報が溢れ、そこに住む私たちは自分が物事を知っていると思うかもしれません。しかし実際には何を知っているのでしょうか？間違った情報や避けがたいバイアス、固定観念などの弊害がある中、私たちはどのようにアメリカを理解しているのでしょうか？この授業ではメディア、コミュニケーション、文化などの理論や実例を交えながら『アメリカの今』を分析し、異なる価値観や信条が絡み合う現状を多様な視点から読み解きます。そして異文化交流が進む私たちの日常で、どのように他者への理解や共生に取り組むかを思索します。
【到達目標】
この授業には多元的な目標があります。まず、アメリカ社会や文化についての知見を深めます。より大きな目標は、自分の考え方に潜む偏りや弱みを認識できるようになることです。これにより、他者についての情報や知識を無批判に受け入れたり感情論に流されることなく、自分の意見を論理的、かつ積極的に組み立てることを目指します。
【授業テーマ】
第1回 アメリカについての私たち一人一人の経験と知識を考察する
第2回 何の情報が、どこから、誰に、どんな目的で、どの様に伝わるのか
第3回 アメリカの今について、理解すべき概念と用語
第4回 具体例に基づく社会問題の考察
第5回 日米の社会的・文化的差異と私たちの持つバイアスや固定観念
第6回 憲法が定める自由と権利について日米の比較と考察
第7回 中間選挙と今のアメリカが向かう方向を考える
第8回 アメリカを例にして、他者を理解するとはどういうことなのか
【学生へのメッセージ】
この授業では、個人やグループの意見交換を通して多角的・客観的な洞察を進めていきます。皆さんの個人的な経験や考えが根幹となりますので、自分が何をどう、そしてなぜそう考えるのかを意識してみましょう。
【受講前の準備学習等】
まず自分や家族、知人などの知識や体験を振り返り、自分が持つアメリカのイメージを考えてください。次に新聞やテレビ、インターネット上のアメリカに関する報道を幾つか選び、それらがどの媒体でいつ発信されたのかを調べ、その内容について自分の意見をまとめてください。事前にキャンパスメールへスライド集を送付しますので、目を通しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。事前配布したスライド集を見たうえで、参考になると思われる資料を持っている方は自由に持参してください。これらの準備が意見交換やレポートの制作に役立ちます。また、事前配布したスライド集をプリントアウトして持参すると、特定のスライドについてのメモを取るのに便利です。
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この授業では、講義や意見交換を通して、批判的思考法（クリティカル・シンキング）の実践を行います。『批判的』とは相手を非難・否定することではなく、提起された問題の前提や根拠に疑問を投げかけ、多角的な視点を取り込みながら物事の本質を探ることです。それを学び体験する授業ですから、批判的思考法に関する事前の知識や経験は必要ありません。また、意見発表が苦手な方に発言を強制することはありません。ですので、どなたも臆せずに参加してください。最終試験では、スライド集や外部資料、インターネットの情報を自由に使ってもらって構いませんが、出典元を明確に提示することが求められます。出典元の提示方法は、講義で説明します。

科目コード	2696622
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	**神々が集う　出雲神在祭**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	シナガワ　トシヒコ 品川　知彦 山陰民俗学会監事／ 前島根県立古代出雲歴史博物館学芸部長
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	この授業は、【島根学習センター、2日目の第5、6、7回は★出雲市、松江市周辺】で行います。

授業概要

【授業内容】
旧暦10月神無月、全国の神々が出雲に集うと伝承されています。出雲ではこの月は神在月と呼ばれ、出雲大社、佐太神社など10社で集った神々を祀る神在祭が行われています。神集いの理由は、神社によって異なり、また同じ神社でも時代によって異ります。出雲大社を中心に諸社の神在祭とその神集いの理由を紹介しながら、出雲大社を語る上で重要な幽（見えない世界、神々の世界）と顕（見える世界及びそこでの政治）の問題や縁結び信仰について考察します。
なお、出雲大社、佐太神社などを現地見学する予定です。

【到達目標】
出雲大社や神集い伝承の歴史を学び、神集いに関係する神社や伝承地の解説を行うことができる。

【授業テーマ】
第1回 出雲大社の造営と出雲信仰／民俗事象から見た神集い信仰
第2回 諸社の神在祭
第3回 神々はなぜ出雲に集うのか
第4回 出雲国結の神ー出雲（大社）の縁結び信仰
第5回 神々が集う神社１　出雲大社（現地見学）
第6回 出雲（大社）の歴史を学ぶ　古代出雲歴史博物館観覧（現地見学）
第7回 神々が集う神社２　佐太神社（現地見学）
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
２日目は島根学習センターに８時20分に集合した後、バスで移動し、出雲大社などの現地見学を行います。なお佐太神社の神送りの場である神目山に登る予定です（山道・20分程度、悪天時には予定を変更する可能性があります）。歩きやすい格好で参加してください。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断し、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
現地見学の際は、長袖長ズボン、歩きやすい靴で、雨具を持参の上、参加してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・『神々集う出雲の國 神在月』（監修　錦田剛志、執筆　品川知彦他／山陰中央新報社／¥1,980／ISBN=9784879031853）
品川知彦「神々はなぜ出雲に集うのか」『神々集う出雲の國 神在月』所載
・『山陰民俗学会70周年記念論集　山陰の暮らし・信仰・芸能』（山陰民俗学会　編／ハーベスト出版／¥1,760／ISBN=9784864562959）
品川知彦「縁結び信仰と神在祭」『山陰民俗学会70周年記念論集　山陰の暮らし・信仰・芸能』所載

【その他（特記事項）】
・授業料とは別にバス代2,500円程度、古代出雲歴史博物館入館料1,310円（特別展含む）が必要です。
・「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P.5参照））

科目コード	2696630
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	**戦争の歴史と記憶**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	マエダ　シホ 前田　しほ 島根大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	島根学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業は、ウクライナ・ロシア戦争で注目されたウクライナを中心に戦争と歴史、戦争と記憶について学びます。前半ではウクライナの国家成立に至る歴史的経緯を説明します。まず古代に遡り、「世界史」からとりこぼされたウクライナを中心とした地域をユーラシア大陸の文化・社会の折衝地として見直します。草原の道と海の道の交差点では、9世紀になってようやく初の国家が誕生します。このキエフ・ルーシの歴史と滅亡、そして文化的継承を主張するロシア（モスクワ）との関係を解説します。13世紀モンゴルの侵攻により荒廃したウクライナの領域は、周辺に誕生した帝国（ポーランド＝リトアニア王国、オーストリア=ハンガリー帝国、帝政ロシア、オスマン帝国）の間で、権力の空白地帯、言い換えると緩衝地域となり、様々な宗教・民族の人々が住み、共生したり、支配・服従したり、いさかいを起こしていました。19世紀にロシア帝国の権力が強くなると、ウクライナ民族主義運動が生まれます。第二次世界大戦、そして現在起きているロシア・ウクライナ戦争を理解するためには、このウクライナ民族主義がキー概念となります。後半は、独ソ戦と戦時暴力、そして戦後どのような記憶が選ばれて想起されて、国民統合に利用されていくのか、あるいは忘却したり抑圧して、過去を清算しなかったつけがどのように返ってくるのか学びます。
【到達目標】
ウクライナの歴史を理解し、説明できるようになる。
ウクライナの民族、宗教、文化、社会を学び、説明できるようになる。
ウクライナを事例に記憶研究について学び、説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ユーラシアの中のウクライナ
第2回 キエフ・ルーシの誕生
第3回 帝国の狭間のウクライナ
第4回 第二次世界大戦と暴力
第5回 戦争の想起／忘却　1
第6回 戦争の想起／忘却　2
第7回 新しい戦争と記憶
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
この授業では残酷な暴力的映像・画像をお見せします。提示する前にこちらから注意をしますので、不快な方、気分が悪くなる方は目をそらすか、退室をしてもらってかまいません。受講する際にこの点をよく検討してください。
テーマごとに、グループワークを10分程度設けます。知識の定着、感想・意見を述べることで、問題点やよくわからない点を明確にする意図で実施します。これは成績評価には反映しません。
【受講前の準備学習等】
事前に下記の図書のうち一冊を読んでください。
・黒川祐次「物語　ウクライナの歴史」(中公新書1655)
・黛秋津編「講義　ウクライナの歴史」(山川出版社)
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・物語　ウクライナの歴史（黒川祐次／中央公論新社／¥946／ISBN=9784121016553）
・講義　ウクライナの歴史（黛秋津／山川出版社／¥2,200／ISBN=9784634152359）

科目コード	2696649
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	**道徳的な正しさは相対的か？**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	タナカ　カズマ 田中　一馬 島根大学准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	島根学習センター

授業概要

【授業内容】
「道徳的な正しさは社会により異なっている」と考える人は少なくないように思われます。「郷に入りては郷に従え」という慣用句は、それが実は何を意味するかとは別に、異なる郷の間で習俗や価値観は異なっているという認識を踏まえたものだと言えるでしょう。このような考えのことを、倫理学の領域では「道徳に関する相対主義」と呼びます。この授業では、道徳に関する相対主義の主張を正確に理解した上で、その主張が当たっていると言えるかどうか、そして相対主義の主張が持つと思われる意義について、倫理学の観点から考えていきます。

【到達目標】
・道徳に関する相対主義について、その主張がどのようなものであるかを、類似の主張との相違を区別しつつ、的確に説明できる。
・道徳に関する相対主義の当否をめぐる議論の各々について、その基本的着想と論理展開を説明できる。
・道徳に関する相対主義の主張がどのような意義を有するかに関する自らの見解を、根拠に基づいて提示できる。

【授業テーマ】
第1回 相対主義とは何か（その１）：「道徳的な正しさ」とは何か
第2回 相対主義とは何か（その２）：「相対的」とは何か
第3回 相対主義とは何か（その３）：相対主義とは何で"ない"か
第4回 相対主義の正否が及ぼす影響について（その１）：相対主義の主張が当たっていると困ったことになるのでは？
第5回 相対主義の正否が及ぼす影響について（その２）：相対主義の主張が当たっていなくても困ったことになるのでは？
第6回 相対主義の正否について（その１）：「道徳的な正しさは現に異なっている」という主張は当たっているか
第7回 相対主義の正否について（その２）：「道徳的な正しさは異ならざるを得ない」という主張は当たっているか
第8回 相対主義の意義について：まとめ

【学生へのメッセージ】
この授業では、「根拠に基づいて、自分で考えを進める」ことを重視します。授業時にさまざまな用語や学説を紹介したりしますが、それはみな「根拠に基づいて、自分で考えを進める」ためです。

【受講前の準備学習等】
授業内容に関連する用語（「(判断の）述語」「論証」「記述的相対主義」「メタ倫理的相対主義」「寛容」など）を、事典やインターネットなどで調べておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
インターネットでの検索ができるデバイス（スマホ、タブレット、パソコンなど）が（試験時以外の）授業時にお手元にあれば、好都合な場合があるかもしれません。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・『新版 現実をみつめる道徳哲学』（ジェームズ・レイチェルズ、スチュアート・レイチェルズ（次田憲和訳）／晃洋書房／¥2,750／ISBN=9784771027619）
・『「みんな違ってみんないい」のか？ 相対主義と普遍主義の問題』（山口裕之／ちくまプリマー新書／¥990／ISBN=9784480684301）
・『正義は時代や社会で違うのか 相対主義と絶対主義の検討』（長友敬一／ナカニシヤ出版／¥2,860／ISBN=9784779514371）
・『メタ倫理学入門 道徳のそもそもを考える』（佐藤岳詩／勁草書房／¥3,300／ISBN=9784326102624）

【その他（特記事項）】
参考書として挙げた四冊についてはいずれも、購入や授業への持参を求めるものではありません。ご自身の関心に照らし、まずは図書館や書店でお手にとってみられることをお勧めします。最初に目を通されるものとしては、レイチェルズの著作の第二章「文化相対主義の挑戦」が有益です。

科目コード	2696657	**授業概要**	**【授業内容】** 近世（江戸時代）は、出版文化が隆盛し、多様かつ大量の書物が作り出された時代です。それは、整版と呼ばれる木版刷りの技法によるもので、文字はもとより、技巧を凝らした挿絵まで精細に表現することができました。 これにより、1700年代後半頃、江戸の蔦屋重三郎らが黄表紙（絵が大きく描かれ、筋書きや会話が書き込まれた本）を出版して人気を博しました。また、1800年代初め頃、浮世絵師として知られる葛飾北斎は、曲亭馬琴らの創作した読本（長編の時代小説）の挿絵を、精力的に描きました。 整版印刷が文芸の発達をもたらした様相について、書物の実物や画像に即して考察します。 **【到達目標】** ・具体的な事象に立脚して思考し、歴史を的確に理解できる。 ・印刷という営みを、営利活動としてのみならず、文化の側面からも捉えることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 印刷技術の歴史と書物―奈良時代から近世まで― 第2回 近世における出版文化の隆盛 第3回 整版印刷による書物のさまざま 第4回 蔦屋重三郎と戯作者たち―黄表紙のことなど―（1） 第5回 蔦屋重三郎と戯作者たち―黄表紙のことなど―（2） 第6回 葛飾北斎と曲亭馬琴の読本（1） 第7回 葛飾北斎と曲亭馬琴の読本（2） 第8回 整版印刷と近世の文芸―総括― **【学生へのメッセージ】** 2025年の大河ドラマに登場した蔦屋重三郎と戯作者たちによる作品、また島根県立美術館に収蔵されている葛飾北斎作品にも言及します。技術の発達が芸術の表現を深化させる様相には、現代にも通じる部分があると思われます。 **【受講前の準備学習等】** 「印刷博物館」、「和書のさまざま（国文学研究資料館）」などのWebサイトに、画像や解説が掲載されています。これらを活用して、古典の書物の形態や制作方法について、大まかな知識を得ておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	島根学習センター		
学習センターコード	32A		
クラスコード	K		
科目名	**近世の出版文化**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	タナカ　ノリオ 田中　則雄 島根大学教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	島根学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 必須ではありませんが、適宜デバイスを持参し、内容的に関連するサイトで書物の画像などを閲覧すると、理解の助けになります。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696665
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	**ポストSDGsへ向けて**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	マツモト　イチロウ 松本　一郎 島根大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	島根学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業は、持続可能な開発目標（SDGs）の現状と課題を整理し、SDGsの次にくる取り組みにむけて知識と理解を促すものです。1975年の国連のベオグラード憲章から続く人類の「持続可能な社会の構築」にむけての取り組み、つまり、SDGsの前身であるミレニアム開発目標（MDGs）や持続可能な開発のための教育（EMS）について振り返り、現代社会の問題点を自然環境に関する問題を中心に、人類の生産活動や環境保護活動などの成果と課題を振り返ります。その上で、ポストSDGsに向けた論点整理を行い、日常生活、地域社会や世界に向けた意識の醸成をはかり、個人の行動変容を促します。
【到達目標】
持続可能な開発のための人類のこれまでの取り組みと現在の「持続可能な開発目標（SDGs）」について理解し、それらこれまでの取り組みとポストSDGsにむけての取り組みの違いや観点について、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 地球の歴史と自然環境の変遷史
第2回 生態ピラミッドの構造と人類の関わり
第3回 ベオグラード憲章からMDGsまで
第4回 持続可能な開発のための教育（ESD）
第5回 自然環境の保護とジオパーク
第6回 SDGsとSociety 5.0
第7回 SDGsの現状と課題
第8回 ポストSDGsに向けて
【学生へのメッセージ】
日常生活をおくるにあたり、環境、経済、政治、それぞれの視点から、人間を含めた生態系の持続可能な存続を意識するとともに、地域や世界のために行動に移せるようなリテラシーを身につけていただきたいと思います。
【受講前の準備学習等】
・受講生の住んでいる地域の自然、生態系や地形、地質について、書籍やインターネット等で調べておいてください。
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具一式と授業内容を記録するノート
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696673
学習センター	島根学習センター
学習センターコード	32A
クラスコード	K
科目名	**手を動かして学ぶ音と光**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ツカダ　シンヤ 塚田　真也 広島大学准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	島根学習センター

授業概要

【授業内容】
光や音は波としての性質をもっています。本授業では、簡単な工作と観察を通して、それらの性質を体験的に学びます。光の偏光や分光、音の共振・共鳴など、波としての振る舞いに注目し、それらが身の回りの製品や自然現象にどのように利用されているかを理解していきます。自ら手を動かして結果を確かめながら基礎概念を身につけるとともに、座学による解説によって理論的背景を整理します。工作と講義の割合はおおむね半々とし、体験と理解を往復しながら学習を深めていきます。

【到達目標】
・波の性質について理解し、偏光や分光、共振・共鳴などの光と音の現象を、自分の言葉で説明できるようになる。
・偏光板を用いた「見えない壁」などの工作の目的と原理を理解し、観察結果を踏まえて適切に説明できる。
・波の性質に基づいて工作の意図を考え、改良や工夫を加えながら再現・応用できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 音とは何か ― 波としての性質を体験する
第2回 音を大きく・遠くへ届ける工夫 ― 共鳴と振動の利用
第3回 音の不思議を探る ― 振動・共振・干渉の観察
第4回 スピーカーとマイクのしくみ ― 音と電気の変換
第5回 光とは何か ― 波としての性質を理解する
第6回 偏光の世界 ― 見えない光を利用する
第7回 色の正体を探る ― 分光とスペクトルの観察
第8回 光エネルギーの活用 ― LEDと太陽電池のしくみ

【受講前の準備学習等】
シラバスに載っていている用語（音・光・波・共振・偏光・分光・電気など）について、高校物理や中学理科の内容を教科書やインターネットで確認し、基本的な用語の意味を確認しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習への取り組み状況、および最後のレポートの内容に基づいて総合的に行います。レポートでは、制作した工作物の原理の解説、観察結果の整理、活用方法や改造の工夫について、自分の言葉で論理的に説明することを求めます。「原理の理解度」、「説明の的確さ」、「観察に基づく考察の深さ」を評価の観点とします。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、ノート（またはメモを取ることができるもの）、カッターナイフ、セロハンテープ

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・新・物理学入門（山本義隆／駿台文庫／¥1,210／ISBN=9784796116183）
予備校レベルの参考書であり、学問としての物理学に触れることができます。高校物理の基礎が身についている受講者は、授業内容の予習・復習や理解の深化のために活用してください。
・ファースト・ステップ　物理学入門（高重正明／裳華房／¥2,090／ISBN=9784785322489）
中学校から高校初級レベルの内容を扱っており、物理の基礎概念を段階的に理解するのに適しています。基礎事項の確認や授業内容の復習として活用してください。

科目コード	2696681
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**コンピュータ操作入門**
科目区分	基盤科目
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	イイヅカ　マサヤ 飯塚　誠也 岡山大学・教授
日程 実施時間	11月26日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月3日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自分で整えられるか確認してから科目登録してください。

パソコンを活用したいと考えている初心者を対象に、パソコン利用の基本知識と、Windows及びそのアプリケーションソフトウェアに関する基本操作を学習します。授業では、基本的な操作方法から始め、文字入力、インターネットの利用、及び文章処理ソフトウェア（Word）、表計算ソフトウェア（Excel）、プレゼンテーションソフトウェア（PowerPoint）の基本的な使い方を学習します。

【到達目標】

パソコン利用の基本知識について理解し、説明できる。
パソコン利用の基本的な操作ができるようになる。
文章処理ソフトウェア（Word）を用いて文章作成ができるようになる。
表計算ソフトウェア（Excel）を用いて、適切なデータ操作、表に対する計算及び処理、グラフ作成ができるようになる。
プレゼンテーションソフトウェア（PowerPoint）を用いてプレゼンテーションができるようになる。

【授業テーマ】

第1回 オリエンテーション（基本操作、入力、用語）とインターネットに関する基礎知識
第2回 インターネット（メールサービスやオンライン会議システム：Zoom）入門
第3回 Wordによる文書作成（1）
第4回 Wordによる文書作成（2）
第5回 Excelによる表計算（1）
第6回 Excelによる表計算（2）
第7回 PowerPointによる簡単なプレゼンテーション作成
第8回 まとめ

【受講前の準備学習等】

インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
１日目の前には、テキストの62ページまで予習をしておいてください。２日目までには、１日目の行った内容の復習を必ず行い理解を深めてください。
また、２日目の授業箇所の予習をしておいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の提出物の達成状況及び試験により行います。

【受講者が当日用意するもの】

１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　Windows11
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）のいずれかが必要です。
　・Wordが必要です。
　・Excelが必要です。
　・Power Pointが必要です。
４．その他
　・マウス・ヘッドセットを持参してください。
　・ソフトのバージョン指定はありません。
　・紙媒体でレポート提出する場合、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。

【教科書】

・30時間でマスター　Office2021（Windows11 対応）（実教出版企画開発部 編／実教出版／¥1,150／ISBN=9784407359374）
　教科書を授業で使用しますので、書店等で各自購入してください。

【その他（特記事項）】

この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2696789	**授業概要**	**【授業内容】** 受講生はドイツ語の知識をもたないという前提で、ドイツ語を学習します。ドイツ語のアルファベットから始めて、ドイツ語の発音の規則、挨拶、簡単な文法、もっとも基本的な語彙を身につける練習をします。また、ドイツ語圏の国々の歴史や文化について学びます。 **【到達目標】** ドイツ語についてのもっとも基本的な知識を身につけて、聞き取りや簡単な会話ができるようになる。ドイツ語の歌の歌詞が聞き取れて、口ずさめるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 ドイツ語圏の国々の歴史と文化 第2回 ドイツ語のアルファベットの発音、ドイツ語の挨拶の練習 第3回 単語の発音 第4回 基本文法（1） 第5回 基本文法（2） 第6回 文章を読んでみる 第7回 聞き取りの練習 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** ドイツ語はむずかしい、文法が複雑だという先入観があるかもしれません。確かにそうした面はあります。しかし、ドイツの発音はそれほどむずかしくはありませんし、スペリングと発音の関係は明確です。また、この授業は入門ですから、文法についても、もっとも基本的な知識を身につけることを目指します。ドイツ語に少しでも関心のある方の受講を歓迎します。 **【受講前の準備学習等】** インターネットの動画サイト等で、ドイツ語の発音を自主学習してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	岡山学習センター		
学習センターコード	33A		
クラスコード	K		
科目名	**初級ドイツ語**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	45名		
担当講師	カナセキ　タケシ 金関　猛 岡山大学・名誉教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	岡山学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具等 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・ドイツ文法15課（尾川浩、江代修、金関猛／三修社／¥2,750／ISBN=4384112696） ・アクセス独和辞典（在間進／三修社／¥4,620／ISBN=4384060009）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」、2008年度以前「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2696690
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**クリスマス映画で学ぶ英語**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	120
定員	45名
担当講師	ハットリ　ミカ 服部　美佳 岡山大学・非常勤講師
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】
映画を視聴し、聞き取り力や語彙・表現を伸ばす実践的な授業です。演習ではDr. Seuss原作の映画『グリンチ』(2018) の一部を見ながら文化的背景やセリフ・歌の解説、発音のコツを学び、全員で音読を行います。これらを通して会話表現や語彙を増やし、話される英語の理解力を高め、実践力を高めます。
原作の絵本は米国では長年親しまれてきた一方、翻訳では押韻の魅力が伝わりにくい側面があります。そこで『How the Grinch Stole Christmas!』などの絵本も紹介し、韻とリズムを楽しみながら、ネイティブが言葉の音を味わいながら育つ世界を疑似体験していきます。

【到達目標】
学生は映画を通じて英語のリスニング力と発話力を高め、文化的背景を理解できるようになる。映画『グリンチ』の場面や歌を用いて語彙・表現を習得し、音読を通して発音とリズムに慣れることができる。また絵本の韻を体験し、英語の音の特徴を理解して実際の会話に生かすことができる。

【授業テーマ】
第1回 英語学習方法、Scene 1 - 3 Grinch
第2回 Scene 4 - 7 Cindy-Lou 他
第3回 Scene 8 - 11 Silent Night 他
第4回 Scene 12 - 15 Stealing Christmas 他
第5回 Scene 16 - 19 Songs 他
第6回 Dr. Seuss（ドクター・スース）と音韻
第7回 How the Grinch Stole Christmas!
第8回 Conversation activities, Songs

【学生へのメッセージ】
初級者も上級者も共に学べるように工夫をしています。
他の学生と比較せず、自分のペースで上達することを目標にしてください。何よりも楽しんで視聴、音読し、真似ることで学ぶ喜びを見つけていきましょう。

【受講前の準備学習等】
事前に視聴できる方は、聞こえる表現を見つけて書き留めてみてください。
映画を見られない場合は授業内で視聴するので心配はいりません。その代わり、日頃から映画・ドラマ・ラジオ英会話・ポッドキャスト・YouTubeなどで実際の会話に触れ、真似をして様々な表現を覚える習慣をつけるようにしてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
英和辞典（電子も可)、スマートフォン（所有者のみ）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・グリンチDVD（2019年公開）（監督　スコット・モシャー／NBCユニバーサル・エンターテイメント／¥1,572）
ASIN：B07XVPH42K（映像資料）
※本授業ではアニメ版を使用します。2012年公開の実写版と異なりますのでご注意ください。また、各自ネット上で安価に購入する方法をお探しください。
・How the Grinch Stole Christmas!（Dr. Seuss／HarperCollins Children's Books／¥5,546／ISBN=9780008253271）
こちらも様々なバージョンがありますので、ネットでお好みの版をお探しください。内容に違いはありません。

【その他（特記事項)】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2696703
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**英語の基礎を復習しよう**
科目区分	基盤科目：外国語
ナンバリング	110
定員	20名
担当講師	オギノ　マサル 荻野　勝 岡山大学教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 2027年1月10日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】
この授業は、英語を苦手と感じる人のためのクラスです。この授業では、履修者は主に二つの活動を行います。一つは英文の基本的な構造の復習です。英語を苦手とする人は、英文の構造の理解が不十分な場合があります。この授業では、英語を理解するための、あるいは英語で情報を発信するための手段としての英文の構造を復習します。
もう一つは、英単語の学習です。この授業では、日常的な英単語を毎回75語覚えます。tree（木）、branch（枝）、root（根）など、日常的な単語に関して、日本語を見たら1秒で英語に直す練習をします。それにより頭の中で自然と日本語を英語に置き換える習慣が形成され、英語に対する苦手意識が克服されると考えます。

【到達目標】
学生が、英文の基本的構造を理解できるようになる。さらに、多くの日常的な英単語を、日本語を聞いたら即座に英語で言えるという形で習得することにより、英語に対する苦手意識を克服し、英語でのコミュニケーションを自ら進んで行うことができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 一般動詞を含む文について（1）、英単語の学習（1）
第2回 一般動詞を含む文について（2）、英単語の学習（2）
第3回 be動詞を含む文について（1）、英単語の学習（3）
第4回 be動詞を含む文について（2）、英単語の学習（4）
第5回 場所の表現について、英単語の学習（5）
第6回 時の表現について、英単語の学習（6）
第7回 進行形について、英単語の学習（7）
第8回 まとめ、および英単語の学習の確認

【学生へのメッセージ】
授業には英和辞典・和英辞典を持参してください（電子辞書やスマートフォンのアプリも可）。この授業では、「受講前の準備学習」として、学生がそれぞれの方法で英語を学習した内容を「学習記録表」に記入します。そしてそれが評価の一部となります。
１時間に教科書を１課進む予定ですが、その時々に応じて授業の進め方を変えます。

【受講前の準備学習等】
学生が各自のやり方で英語学習を実施し、それを「学習記録表」に記入し提出する。学習する教材を自分で選択してもいいし、授業で使用する教科書を早めに購入してそれを学習してもかまいません。あるいは、授業中に覚える英単語を早めに暗記してもかまいません（英単語のプリントは事前に送付予定）。学習記録表は評価の一部とします。最低７回分は記入してください。どのくらい詳細に記入するかは、学生各自の判断に任せます。

【成績評価の方法】
評価の内訳は以下のようにする予定です。変更が生じた場合は、授業中に連絡します。「受講前の準備学習」の「学習記録表」：20%、授業中の学習状況：30%、英単語の習得状況：20%、試験時間に書いた英文（テーマ自由）：30%

【受講者が当日用意するもの】
教科書、「受講前の準備学習」に関する「学習記録表」を印刷したもの。あらかじめ配布してある英単語に関するプリント、英和辞典・和英辞典（電子辞書やスマートフォンのアプリも可）。

【教科書】
・発信型　シンプル・イングリッシュ（Kazuko Morita 他／SANSHUSHA／¥2,200／ISBN=9784384333787）
教科書の購入に1～2週間かかることがあります。余裕を持って購入してください。
教科書の音声データは三修社大学教科書サイトの音声ページからダウンロードしてお聞きください。また、音声データのダウンロードができない方はご相談ください。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2696711
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**生薬からみた漢方**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	タニグチ　ショウコ 谷口　抄子 元岡山大学准教授／岡山学習センター客員准教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】
西洋医学とは異なる医学体系を持つ漢方について、基礎となる理論や診断方法を紹介します。またその漢方の考え方を織り交ぜながら、病気や病態を入口に現代医療でも使用されている代表的な漢方薬について副作用を含めて学習します。配合される生薬から分類したグループごとに学習を進めることで、多数ある漢方薬を関連付けて理解することを目指します。
【到達目標】
西洋医学との違いを含め、漢方の基本的な考え方を説明できる。
代表的な漢方薬について、配合されている特徴的な生薬と、処方としての使い方を説明できる。
【授業テーマ】
第1回 漢方とは、漢方の基礎理論
第2回 漢方の診断方法・処方の分類
第3回 風邪に用いる漢方薬１（麻黄・桂皮・石膏を中心とした処方）
第4回 風邪に用いる漢方薬２（柴胡・黄芩・麦門冬を中心とした処方）
第5回 胃腸の不調に用いる漢方薬（人参・黄耆・大黄を中心とした処方）
第6回 婦人科疾患に用いる漢方薬（当帰・芍薬・牡丹皮を中心とした処方）
第7回 冷えや痛みに用いる漢方薬（茯苓・朮・附子を中心とした処方）
第8回 漢方薬の副作用・まとめ
【学生へのメッセージ】
西洋医学とは異なる視点で身体をとらえる漢方を知ることは、健康を考えるうえでも大きな武器になります。漢方薬やその原料となる薬草などに興味のあるかたは、受講して漢方の世界をのぞいてみてください。
【受講前の準備学習等】
本やインターネットを利用して、医療用漢方製剤のなかで、気になる漢方薬について、構成生薬やどのような病気に有効か、あるいは特定の病気などに有効とされる漢方薬とその構成生薬について調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、ノート、筆記用具、必須ではないですが漢方の基本がわかる参考書があると便利です。
【教科書】
・腹証図解　漢方常用処方解説 [改訂版]　（髙山宏世／東洋学術出版社／¥1,980／ISBN=9784904224588）
【参考書】
・基本がわかる　漢方医学講義（日本漢方医学教育協議会／羊土社／¥2,420／ISBN=9784758118750）
・生薬の働きから読み解く　図解　漢方処方のトリセツ　第２版（川添和義／じほう／¥4,400／ISBN=4840753776）

科目コード	2696720
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**障害者差別の解消について**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	カワシマ　サトシ 川島　聡 放送大学教授
日程 実施時間	10月29日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10 10月30日(金) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】
2016年に施行された障害者差別解消法（2024年4月に改正法施行）がどのような法律であるかを解説し、共生社会のあり方を考えます。国連の障害者権利条約などの禁止する差別についても解説します。講義形式を取りますが、適宜グループワークを行います。
【到達目標】
障害者差別解消法について理解し説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクションと障害者差別解消法の概要
第2回 障害と差別の概念１
第3回 障害と差別の概念２
第4回 障害と差別の概念３
第5回 障害と差別の概念４
第6回 障害と差別の概念５
第7回 障害と差別の概念６
第8回 全体のまとめ
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
（履修制限）面接授業「改正障害者差別解消法を考える」の単位を修得済みの方は登録できません。（面接授業開設科目一覧P.7参照）

科目コード	2696738
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	HK
科目名	**薬の効くしくみを知る**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	カクタ　ヒロキ 加来田　博貴 放送大学岡山学習センター・客員教授 ／岡山大学研究教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
※自宅等（Zoom）での受講を希望する場合は、クラスコード「HL」のシラバスを確認してください。

なぜ薬は効くのか、薬は安全なのか、飲み合わせはどうか、インフルエンザなどの感染症に立ち向かうには・・・。薬は頼りになることもあれば、心配な面もあるのではないでしょうか。本授業では、指定の教科書を用いて薬の仕組みを初歩的内容から解説します。その知識をもとに感染症治療薬・抗炎症薬などがなぜ効くのかを理解していきます。使用する教科書には専門的な用語も書かれていますが、授業では専門用語を説明し、理解を深めていきます。

【到達目標】

・薬の効く仕組みについて理解し、代表的な医薬品の作用機序について説明できるようになる。
・医薬品の正しい使い方について理解し、ヘルスメディケーションに活かせるようになる。

【授業テーマ】

第1回 薬の基礎知識１（薬の世界をのぞいてみよう・薬が体の中に入るとどうなるの？）
第2回 薬の基礎知識２（薬の使い方、それあってる？）
第3回 症状・病気別　薬のメカニズム１（風邪と感染症の薬１）
第4回 症状・病気別　薬のメカニズム２（風邪と感染症の薬２）・本日のおさらい
第5回 症状・病気別　薬のメカニズム３（生活習慣病の薬１）
第6回 症状・病気別　薬のメカニズム４（生活習慣病の薬２、神経の薬、目と鼻の薬）
第7回 症状・病気別　薬のメカニズム５（皮ふの薬、その他の薬）
第8回 ２日間のまとめ

【学生へのメッセージ】

体調が悪い時、頼りになる薬。その薬がなぜ効くのか、興味深く思われる方も多いでしょう。この講義では、薬が効く仕組みを初心者向けに噛み砕いて説明します。

【受講前の準備学習等】

事前に教科書を読み、疑問点などをメモして授業に参加ください。
(【１日目】教科書 15–81ページ、【２日目】教科書 92–139ページ、154–166ページ)

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

テキストならびにノート、筆記用具等。

【教科書】

・マンガでわかる薬のしくみとはたらき事典（丸山敬／ナツメ社／¥1,430／ISBN=9784816367564）
授業テーマに記載している情報は、使用するテキストに記載された項目です。教科書を授業で使用しますので、書店等で各自購入してください。

【参考書】

・いちばんやさしい薬理学（木澤靖夫／成美堂出版／¥1,760／ISBN=9784415324173）

【その他（特記事項）】

・質問は質問用紙を通じて毎時間講義終了時に回収し、次のコマの冒頭に回答する予定です。

科目コード	2696738
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	HL
科目名	**薬の効くしくみを知る**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	カクタ　ヒロキ 加来田　博貴 放送大学岡山学習センター・客員教授／ 岡山大学・研究教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月1日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	この授業は、【▲自宅等(Zoom)】で行います。

授業概要

【授業内容】

この科目は、学習センター又は自宅（Zoom）で受講場所を選択できるハイフレックス型講義です。
科目コードは同一ですが、クラスコードが異なります。科目登録決定後は変更できませんので、申請時に間違えないようご注意ください。
HK　→　学習センター
HL　→　自宅等（Zoom）
本シラバスは、受講場所を「自宅（Zoom）」とする場合の注意事項等を記載しています。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を必ずご確認ください。
※学習センターでの受講を希望する場合は、クラスコード「HK」のシラバスを確認してください。

なぜ薬は効くのか、薬は安全なのか、飲み合わせはどうか、インフルエンザなどの感染症に立ち向かうには・・・。薬は頼りになることもあれば、心配な面もあるのではないでしょうか。本授業では、指定の教科書を用いて薬の仕組みを初歩的内容から解説します。その知識をもとに感染症治療薬・抗炎症薬などがなぜ効くのかを理解していきます。使用する教科書には専門的な用語も書かれていますが、授業では専門用語を説明し、理解を深めていきます。

【到達目標】

・薬の効く仕組みについて理解し、代表的な医薬品の作用機序について説明できるようになる。
・医薬品の正しい使い方について理解し、ヘルスメディケーションに活かせるようになる。

【授業テーマ】

第1回 薬の基礎知識１（薬の世界をのぞいてみよう・薬が体の中に入るとどうなるの？）
第2回 薬の基礎知識２（薬の使い方、それあってる？）
第3回 症状・病気別　薬のメカニズム１（風邪と感染症の薬１）
第4回 症状・病気別　薬のメカニズム２（風邪と感染症の薬２）・本日のおさらい
第5回 症状・病気別　薬のメカニズム３（生活習慣病の薬１）
第6回 症状・病気別　薬のメカニズム４（生活習慣病の薬２、神経の薬、目と鼻の薬）
第7回 症状・病気別　薬のメカニズム５（皮ふの薬、その他の薬）
第8回 ２日間のまとめ

【学生へのメッセージ】

体調が悪い時、頼りになる薬。その薬がなぜ効くのか、興味深く思われる方も多いでしょう。この講義では、薬が効く仕組みを初心者向けに噛み砕いて説明します。

【受講前の準備学習等】

事前に教科書を読み、疑問点などをメモして授業に参加ください。
（【１日目】教科書 15–81ページ、【２日目】教科書 92–139ページ、154–166ページ）
Web会議システムZoomを利用します。無料で利用できますが、あらかじめZoom公式ホームページからサインアップ（利用登録）が必要です。受講にあたっては、事前にZoomでマイク、スピーカー、Webカメラが正しく動作することを確認してください。また、表示名は出席確認のため、学籍登録している氏名としてください。
授業を受講するにあたっての必要な情報（Zoomのアクセス情報等）は、キャンパスメールアドレスへ配信いたします。必ずシステムWAKABAにログインして、メールの利用環境を確認しておいてください。
質問はチャット画面よりテキストでお送りいただき、次のコマの冒頭に回答する予定です。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

テキストならびにノート、筆記用具等。
Zoomの動作には、マイク、スピーカー、webカメラが備わったパソコンが必要です。

【教科書】

・マンガでわかる薬のしくみとはたらき事典（丸山敬／ナツメ社／¥1,430／ISBN=9784816367564）
授業テーマに記載している情報は、使用するテキストに記載された項目です。教科書を授業で使用しますので、書店等で各自購入してください。

【参考書】

・いちばんやさしい薬理学（木澤靖夫／成美堂出版／¥1,760／ISBN=9784415324173）

【その他（特記事項）】

Zoomを利用するためには、一定の条件を満たした通信環境が必要です。特に、通信状態が安定して維持できる環境が必要ですので、ご自宅等でご利用の通信サービスが対応可能か必ずご確認ください。また、Zoomに接続するための通信費やプロバイダ代金等は、受講生各自の負担となります。Zoomに１時間接続すると約0.1～0.5GBのデータ通信量が発生し、４～５時間常時接続すると約0.5～2.5GBのデータ通信量の発生が見込まれます。また、長時間の受講となるため、パソコンでの接続を推奨します。受講中に通信障害が発生した場合は、授業科目を開講している学習センターに問合せてください。
なお、ご自身の端末の故障等、本学の責によらない事情で受講できなかった場合、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2696746
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**体を維持する 生理学の基礎**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	サイトウ　ノボル 齋藤　昇 放送大学岡山学習センター・客員教授／ 岡山大学名誉教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】
私たちの体は、様々な生理調節がうまく機能することにより、健康を保っています。例えば、私たちの体温は、36℃から37℃の間ぐらいで一定に保たれています。本授業では、呼吸や血液循環や消化などのしくみを概説し、私たちの健康な体を維持している生理機能の基本について学んでいきます。

【到達目標】
私たちの体の生理的なしくみの基本が分かり、私たちの体の恒常性および健康などがどのようにして維持されているのかを理解することができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 呼吸をする
第2回 水分の量と濃度を調節する
第3回 血液を循環させる
第4回 食物を消化・吸収する
第5回 感覚を感じる
第6回 筋肉を動かす
第7回 体温を調節する
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
私たちの体の基本的なしくみを理解して、体の維持のためにはどのようなことが起きているのかを解説していきます。皆さんの健康な体の状態を理解することに役立つと思います。

【受講前の準備学習等】
事前に教科書を読み予習して授業に参加ください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具

【教科書】
・生命と健康のメカニズムがわかる生理学の基本としくみ（部谷裕紀／ナツメ社／¥1,980／ISBN=9784816371318）

科目コード	2689146
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ホリウチ　タカシ 堀内　孝 放送大学岡山学習センター・客員教授 ／岡山大学・教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学における実験課題を3つ（自由再生による記憶の系列位置効果、メンタルローテーション、印象形成）取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験課題に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは､原則として8回の授業全てに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験法について1
第2回 心理学実験法について2
第3回 自由再生による記憶の系列位置効果1
第4回 自由再生による記憶の系列位置効果2
第5回 メンタルローテーション1
第6回 メンタルローテーション2
第7回 印象形成1
第8回 印象形成2
【学生へのメッセージ】
受講条件は、①Excelの関数機能を使用した数値解析（合計や平均 、標準偏差）や作図（棒グラフや折れ線グラフ）・作表に習熟していること。②1要因あるいは2要因の分散分析を行い、F値や自由度、有意確率、効果量などの結果を算出すると同時に、それらを文章化してレポートに正しく記述できることです。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣、｢心理学研究法('20)｣、｢心理学統計法（'21）｣を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
2．OS の指定
　Windows11
3．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）のいずれかが必要です。
　・MS-Word が必要です。
　・MS-Excel が必要です。
4．その他
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョンは、最新のバージョンが必要です。
　・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2696754
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**乳幼児の発達心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	45名
担当講師	シミズ　ミツヒロ 清水　光弘 放送大学岡山学習センター客員准教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】
発達心理学は心理学が対象とする人間の行動と精神機能について、時間的変化の相から研究する学問です。とりわけ、乳幼児期はこの変化が著しい時期です。この授業では、乳幼児期における心身の発達的変化を、認知、情動、ことば、社会性の側面から理解することを目指します。発達は多くの領域で生起する変化が相互に関係しながら進展します。このことをよりよく理解するために、適宜、発達のつまずきに関する話題を取り入れます。

【到達目標】
・加齢とともに生起する心身の変化を研究する発達心理学の視点から、乳幼児の特徴を理解できるようになる。
・認知発達と社会情動的発達の両側面から乳幼児の発達を説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 発達心理学とは
第2回 認知の発達（乳幼児のものの見方の特徴）
第3回 認知の発達（Piaget理論）
第4回 情動の発達
第5回 ことばの発達（比較認知科学の視点）
第6回 ことばの発達（社会認知論の視点）
第7回 親子関係の発達（初期親子関係の重要性）
第8回 親子関係の発達（Bowlby理論）

【学生へのメッセージ】
発達心理学は、乳幼児期がその後の人生にとって大きな意義をもつことを教えてくれます。本授業では、そのことを多くの実験、観察、調査によって明らかにされた知見から提示することを目指します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689162
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ホリウチ　タカシ 堀内　孝 放送大学岡山学習センター・客員教授 ／岡山大学・教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学における実験課題を3つ（SD法、ストループ効果、短期記憶検索）取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験課題に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8回の授業全てに出席し、３つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験法について1
第2回 心理学実験法について2
第3回 SD法１
第4回 SD法２
第5回 ストループ効果１
第6回 ストループ効果２
第7回 短期記憶検索１
第8回 短期記憶検索２
【学生へのメッセージ】
受講条件は、①Excelの関数機能を使用した数値解析（合計や平均、標準偏差）や作図（棒グラフや折れ線グラフ）・作表に習熟していること。②1要因あるいは2要因の分散分析を行い、F値や自由度、有意確率、効果量などの結果を算出すると同時に、それらを文章化してレポートに正しく記述できることです。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21)」を視聴してください。色識別を要する実験課題があります。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OS の指定
　Windows11
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ)、Google Chrome（クローム)、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）のいずれかが必要です。
　・MS-Word が必要です。
　・MS-Excel が必要です。
４．その他
　・マウスを持参してください。
　・ソフトのバージョンは、最新のバージョンが必要です。
　・紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2696762
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**都市地理学実践**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	キタガワ　ヒロフミ 北川　博史 岡山大学・教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	この授業は、【1日目岡山学習センター、2日目（9:30～14：30）★岡山市街中心部】で行います。

授業概要

【授業内容】
地理学とは、地球上の自然および人文事象の状態とそれらの相互関係を研究する学問分野です。この授業では、都市における人文事象に焦点を当てつつ、都市をどのように捉えればよいのか、その有り様はいかなるものであるのか、都市はどのように変化したのか、について一緒に考えてみたいと思います。授業の前半では、都市の地理学の研究成果の一部を紹介し、授業の中盤では、授業を通して得られた知識や考え方を実際の都市を歩くことによってより深めることを予定しています。

【到達目標】
・都市地理学分野における既存の研究成果を理解することができる。
・これらの知識や理論をふまえた上で、実際の都市を歩く地理学巡検の経験を通して、都市の捉え方や都市変容の実態、現代都市の特徴や課題ならびに展望について説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 地理学における都市とはー都市を見る視点ー
第2回 都市地理学の理論とアプローチー都市地理学における成果と課題ー
第3回 現代都市空間の基礎となる近代都市空間の形成
第4回 現代都市空間の構造と形成メカニズム
第5回 地理学巡検から読み解く現代都市空間の地域的特徴ー準郊外地域ー
第6回 地理学巡検から読み解く現代都市空間の地域的特徴ー都心周辺地域ー
第7回 地理学巡検から読み解く現代都市空間の地域的特徴ー継承される旧城下町構造ー
第8回 これからの都市ビジョンー最近の都市論に注目してー

【学生へのメッセージ】
2020年における日本の都市人口率（都市に居住する人の割合）は91.8%です。わが国は、世界の多くの国々のなかでも人々が都市に居住する割合が非常に高い国の一つです。好むと好まざるとに関わらず、都市に暮らさざるを得ない私たちは、こうした都市をどのように見ているのでしょうか。また、どのように変化しているのでしょうか。そして、将来的にはどのような都市像が求められているのでしょうか。日々何気なく暮らしているこの都市空間をこれまでの都市地理学の知見とともに地理学巡検（街歩き）を通して得られた知識から見つめ直して頂ければ幸いです。

【受講前の準備学習等】
・ご自身が暮らす都市（可能であれば岡山）の歴史を大まかでよいので頭に入れておいてください。
・ご自身が暮らす都市（可能であれば岡山）の都市の内部構造が理解できる市街図を眺めておいてください。
・授業で学修した内容や演習問題などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
・本授業の２日目に2～3時間程度の地理学巡検（岡山市街地での街歩き）を行います。この点をとくにご留意下さい。巡検の詳細につきましては別途ご案内します。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・授業資料およびノート類
・２日目の巡検に関しては、1．巡検資料（事前に配布いたします）、2．筆記用具、3．歩きやすい服装・歩きやすい靴、4．雨具・帽子・汗拭き用タオルなど（必要に応じて）、5．飲み物やエネルギー補充用食べ物（必要に応じて）、6．移動用小銭もしくは交通系IC（路面電車を使う予定です）の他、可能であれば、最終レポート作成の際に活用できますので　7．カメラ（スマホで代用可）もご用意頂ければ幸いです。なお、当日の予定や集合場所など詳細につきましては別途ご案内します。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・よくわかる都市地理学（藤井正・神谷浩夫編著／ミネルヴァ書房／¥2,600／ISBN=9784623067237）
・中国・四国　地図で読む百年（平岡昭利編／古今書院／¥2,800／ISBN=9784772250306）
岡山に関する箇所のみご参照頂ければ結構です。
・読みたくなる「地図」 西日本編　日本の都市はどう変わったか（平岡昭利編／海青社／¥1,600／ISBN=9784860993146）
岡山に関する箇所のみご参照頂ければ結構です。
・歴史のふるい都市群・９ー瀬戸内の都市ー（山田安彦・山崎謹哉編／大明堂／¥2,430／ISBN=4470510297）
岡山に関する箇所のみご参照頂ければ結構です。

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧 (P.5参照)）

科目コード	2696770
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**現代中国を知る／現代中国を見る**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ユサ　トオル 遊佐　徹 岡山大学・副理事／特任教授
日程 実施時間	10月20日(火) 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月27日(火) 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月10日(火) 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月17日(火) 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】
現代中国の歩みと現状を理解し、また理解を可能にする方法についても学びます。必要に応じて映像資料も利用します。
【到達目標】
以下の諸点を目指します。
１．中国現代史についての基礎的知識が習得できる。
２．中国を理解するための基礎的方法論が獲得できる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス
第2回 中国現代史概説１
第3回 中国現代史概説２
第4回 歴史・政治編：毛沢東の革命と自由・民主
第5回 経済編：鄧小平の改革と改革開放政策
第6回 社会編：ジャーナリズムと政治
第7回 映画：張芸謀『活きる』１
第8回 映画：張芸謀『活きる』２
【学生へのメッセージ】
国際政治、国際文化に対する関心を持った学生に授業に参加していただきたいです。
【受講前の準備学習等】
事前に現在中国を扱った新書レベルの書籍を複数冊読んでおくこと。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
特にありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
字幕のないDVD、VHSを使用しますので，配慮が必要な場合は履修登録する前に担当教員に相談して下さい。

科目コード	2696797
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**吉備の古墳文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	20名
担当講師	ミツモト　ジュン 光本　順 岡山大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【11月28日（土）岡山学習センター、11月29日（日）★造山古墳周辺：岡山県岡山市北区新庄下】で行います。

授業概要

【授業内容】
吉備の古墳とその源流となる弥生墳丘墓について概説します。授業では、岡山大学考古学研究室が発掘調査を行った出土資料、ならびに著名な岡山県下の弥生墳丘墓および古墳の遺跡見学を行います。
【到達目標】
学生は吉備の古墳文化について、具体的な考古資料に基づき説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 出土資料でみる吉備（岡山大学文学部考古資料展示室見学）
第2回 吉備の弥生墳丘墓
第3回 吉備の前期古墳
第4回 吉備の中期・後期古墳
第5回 遺跡見学（倉敷市楯築弥生墳丘墓）
第6回 遺跡見学（岡山市造山古墳）
第7回 遺跡見学（総社市作山古墳、こうもり塚古墳）
第8回 遺跡見学のまとめ
【学生へのメッセージ】
遺跡見学では、雨天時に備えて、傘や雨具を準備してください。また、歩きやすい靴等をご用意ください。
【受講前の準備学習等】
見学予定の倉敷市楯築墳丘墓、岡山市造山古墳、総社市作山古墳、こうもり塚古墳について、インターネット等で調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
11月28日（１日目）は、岡山学習センターで講義を行います。11月29日（２日目）は、岡山学習センター集合、9時30分発のチャーターバスで造山古墳周辺を見学します。昼食は各自で用意してください。１日目の講義開始前に、バス代として4,000円を徴収させていただきます。詳細については、受講生の方へ別途お知らせいたします。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2696800	**授業概要**	**【授業内容】** どのような言語にも名詞と動詞があると言われています。人間の言語は名詞と動詞を組み合わせて文を作る（出来事を表す）という普遍的な特徴をもつようです。そして、動詞は主に運動を表すために用いられます。人間は長い歴史の中で人の動作や物の動きを一般化しながらたくさんの動詞を産みだし、継承してきました。この授業では、様々な角度から動詞を見ていくことで、改めて日本語がどういう言語かを考えていきます。 **【到達目標】** 動詞や助動詞について中学・高校の国語や英語の授業で学んだことを思い出しつつ、それらの知識をつなげたり広げたりまとめたりしながら、より一般的に文法というものの仕組みについて理解することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 ガイダンス・日本語の品詞体系 第2回 動詞の活用をめぐって 第3回 ら抜きことばの正体 第4回 自動詞と他動詞・複合動詞・補助動詞・機能動詞 第5回 動詞の多義性 第6回 受動文について 第7回 時間の表現（標準語・古代語・英語） 第8回 時間の表現（方言） **【学生へのメッセージ】** 何ごとも当たり前と考えず、外国語に触れるように日本語に触れることで、多くの気づきがあるはずです。難しいときはぜひ質問をしてください。 **【受講前の準備学習等】** 中学・高校の国語や英語の授業で文法をどのように学んだかを思い出したり、国語辞典の凡例や付録に目を通したりしておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	岡山学習センター		
学習センターコード	33A		
クラスコード	K		
科目名	**動詞から見る日本語**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	45名		
担当講師	ミヤザキ　カズヒト 宮崎　和人 岡山大学特命教授／岡山学習センター客員教授		
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	岡山学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具以外は必要はありませんが、ノートをPCやタブレットでとる人は持参してください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・日本語の文法（高橋太郎ほか／ひつじ書房／¥2,640／ISBN=9784894762442） ・基礎日本語文法 第3版（益岡隆志・田窪行則／くろしお出版／¥2,750／ISBN=9784874249703） ・日本語動詞の諸相（村木新次郎／ひつじ書房／¥4,200／ISBN=9784938669010）

科目コード	2696819
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**歩いて学ぶ 江戸時代の倉敷**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ヤマモト　タロウ 山本　太郎 倉敷市総務課歴史資料整備室・主任
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	この授業は、【★倉敷物語館(倉敷市阿知2-23-18)】で行います。

授業概要

【授業内容】
倉敷は、江戸時代の古い町並みを残す都市として有名です。岡山・津山・高梁のように領主が主導してつくった大名城下町ではなく、もともと商人によって形成され400年以上の歴史をもつ古い町であり、後に江戸幕府の代官陣屋が置かれ、幕府直轄領支配の拠点として政治都市にもなりました。授業では、豪農商の家・代官陣屋跡・寺社・倉敷川・堀割跡など実際に現地を歩くことも採り入れ、江戸時代の倉敷の成り立ちや特徴を学び、近代へのつながりについて解説します。
【到達目標】
江戸時代の倉敷の町について、豪農商の家・代官陣屋跡・寺社・倉敷川・堀割跡など現地を踏査することにより、その成り立ちや特徴、近代へのつながりについて、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回「倉敷」の成り立ち
第2回 歩いて江戸時代の倉敷を学ぶ（Ⅰ）
第3回 歩いて江戸時代の倉敷を学ぶ（Ⅱ）
第4回 江戸時代の倉敷の町
第5回 倉敷義倉と続義倉
第6回 歩いて江戸時代の倉敷を学ぶ（Ⅲ）
第7回 歩いて江戸時代の倉敷を学ぶ（Ⅳ）
第8回 歴代大原家の当主
【学生へのメッセージ】
歴史資料や写真を使い、また実際に現地を歩くことによって倉敷の歴史を考えていきます。古文書も使いますが、読むのが苦手な方、経験のない方でも参加できます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１日目の2・3時限と２日目の2・3時限は、荒天でなければまち歩きをし、石段も登る予定です。それに適した服装・靴やリュック等を準備してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・絵図で歩く倉敷　コンパクト版（倉地克直、山本太郎、吉原睦／吉備人出版／¥1,100／ISBN=9784860696740）
・絵図で歩く倉敷のまち（倉地克直、山本太郎、吉原睦／吉備人出版／¥1,760／ISBN=9784860692964）
・近世幕府領支配と地域社会構造（山本太郎／清文堂／¥9,680／ISBN=9784792406943）

【その他（特記事項）】
この授業は、２日間、岡山県倉敷市で行います。倉敷物語館集合は、9時30分です。公共交通機関を利用してお越しください。JR岡山駅より乗車、約15分です。下車して、徒歩約10分。また、授業料とは別に、倉紡記念館入館料250円（学生料金）、大橋家住宅入館料550円、語らい座大原本邸入館料500円、井上家住宅入館料500円が必要です。詳細については、受講生の方へ別途お知らせします。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2696827
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**東方キリスト教世界への招待**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	310
定員	45名
担当講師	ハカマダ　レイ 袴田　玲 岡山大学准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	岡山学習センター

授業概要

【授業内容】
ロシアなどスラヴ系諸国や東欧で発展した東方キリスト教（正教）の思想や文化について、宗教学的観点から講義します。宗教学やキリスト教に馴染みにない方でも理解できるよう、基礎から丁寧にお話しします。
【到達目標】
学問として宗教を捉えることができる。
キリスト教思想の基礎的概念について理解することができる。
東方キリスト教の世界の思想や文化について、理解を深めることができる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション－「宗教」の範囲
第2回 宗教学的観点から捉えるキリスト教
第3回 東方キリスト教の歴史（1）
第4回 東方キリスト教の歴史（2）（DVD視聴）
第5回 東方キリスト教の世界観
第6回 東方キリスト教の人間観
第7回 今日の東方キリスト教（1）（DVD視聴）
第8回 今日の東方キリスト教（2）
【学生へのメッセージ】
学生同士のグループワークを実施する場合があります。
一日目の最後にはリアクションペーパーを書いてもらいます。
試験は持ちこみ可です（ただし、スマホやパソコンなど、電子機器は不可とします）。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日に補助教材を配付します。
【参考書】
・東方キリスト教の世界（森安達也／筑摩書房／¥1,430／ISBN=9784480511409）
・ギリシア正教　東方の智（久松英二／講談社／¥1,760／ISBN=9784062585255）
・正教の道（カリストス・ウェア著　松島雄一訳／新教出版社／¥2,530／ISBN=9784400321187）
・岩波キリスト教辞典（大貫隆　編、名取四郎　編、宮本久雄　編、百瀬文晃　編／岩波書店／ISBN=9784000802024）

科目コード	2696851
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**古代中南米 ～知られざる領域**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	モリシタ　ヤスユキ 森下　矢須之 BIZEN中南米美術館理事長／館長
日程 実施時間	12月22日(火) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月23日(水) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25
実施会場	この授業は、【12月22日（火）岡山学習センター、12月23日（水）★日生市民会館（備前市日生町日生241-87）★BIZEN中南米美術館（備前市日生町日生241-10)】で行います。

授業概要

【授業内容】
高校の世界史で学べるのは、古代中南米の歴史の中のインカ帝国、マヤ文明、アステカ王国と、地上絵で有名なナスカ文化程度です。本授業では、それ以外の文化や国々を含む古代中南米世界の紹介や解説をしますが、特に書店や図書館に並ぶ専門書でも全くといってよいほど紹介されていない「知られざる中間領域」に関して詳しく解説します。（コスタリカからエクアドルにかけての中間領域は、大きな国が存在しなかったため顧みられることが少なかったのですが、古代中南米全域に重要な影響を及ぼした数々の文化的要素を有していたことが分かっています。）
【到達目標】
古代中南米と言えばインカ帝国、マヤ文明、アステカ王国とマチュピチュ、ナスカの地上絵、そしてチチェン・イツァ―とテオティワカン程度の断片的な知識だけでなく、「知られざる中間領域」を含む古代中南米の歴史の全体像を把握し、第三者にもその歴史を正しく伝え理解してもらえる知識を得ることができる。
【授業テーマ】
第1回 古代中南米の「知らざる」を知る
第2回 メソアメリカ文明を知る
第3回 アンデス文明を知る
第4回 知られざる中間領域～古代コスタリカと古代パナマを知る
第5回 知られざる中間領域～古代コロンビアを知る
第6回 知られざる中間領域～古代エクアドルを知る
第7回 知られざる中間領域を見る（BIZEN中南米美術館館内授業）
第8回 知られざる中間領域を触る、聴く（BIZEN中南米美術館館内授業）
【学生へのメッセージ】
これまでに得た古代中南米に関する断片的な知識を一旦白紙に戻し、真っ白なキャンパスに一から描き直すつもりで授業を受けて欲しい。本分野に関しては「知らざる」ことを恥じることは一切ないので、新たな知識をどんどん吸収し、不明な点は迷うことなく、いつでもなんでも質問してもらえれば幸いである。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
写真撮影機材（スマホ等）、ノート、筆記用具
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
12月23日（水）２日目は、日生市民会館現地集合9時35分、BIZEN中南米美術館現地解散16時25分です。公共交通機関を利用してください。JR岡山駅より乗車約1時間です。また、授業とは別に入館料700円が必要です。詳細については受講生の方へ別途お知らせします。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2696835
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**野菜栽培の基礎**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヨシダ　ユウイチ 吉田　裕一 放送大学岡山学習センター・客員教授／岡山大学名誉教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	この授業は、【岡山学習センター、一部の時間★岡山大学農学部附属山陽圏フィールド科学センター（岡山市北区津島桑の木町1-62)】で行います。

授業概要

【授業内容】
主な野菜の花芽分化特性など野菜を栽培するうえで知っておきたい生理・生態的特性と葉根菜類の播種や肥料の種類と与え方、農薬の種類と使い方など、栽培管理に関する基礎的な知識を中心に、野菜の育て方の要点について解説します。各授業の後半３分の1程度は、受講生の質問に答える形で進めます。
【到達目標】
家庭菜園等で野菜を栽培するうえで必要な基礎的知識や具体的な手法を習得して、栽培に生かすことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 野菜の種類と作型
第2回 農学部附属フィールド科学センターの見学
第3回 葉根菜類の種類・花芽分化と作型（ダイコン・ハクサイ・ツケナ・カブ・キャベツ類）
第4回 葉根菜類（秋冬野菜）の播種と定植
第5回 果菜類－着果習性と整枝（トマト・ナス・ピーマン・キュウリ）
第6回 肥料・農薬の種類と使い方
第7回 秋冬野菜の害虫防除
第8回 冬・春まき野菜の栽培、レポート作成
【学生へのメッセージ】
栽培経験のない人には野菜栽培を始めるきっかけ、経験のある人には何故野菜作りがうまくいかないのかということの原因を見つけだす手掛かりになればいいと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１日目（天候によっては２日目）に農学部附属フィールド科学センターの見学を実施予定です。畑を見て歩くことができる履物と服装で参加してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・野菜園芸学の基礎（篠原温他編著／農山漁村文化協会／¥4,400／ISBN=9784540112058）
・図説園芸学（第２版）（荻原勲編著／朝倉書店／¥3,960／ISBN=9784254410402）

【その他（特記事項)】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧表P.5参照)

科目コード	2696843
学習センター	岡山学習センター
学習センターコード	33A
クラスコード	K
科目名	**健康のための生化学&酵素学入門**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	イナガキ　ケンジ 稲垣　賢二 岡山大学特任教授
日程 実施時間	11月19日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月20日(金) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 13:10～14:40 第４時限 14:50～15:35 試験・レポート等 15:35～16:00
実施会場	この授業は、【11月19日（木）岡山学習センター、11月20日（金）★ナガセヴィータ（旧 林原）（株）藤崎研究所（岡山市中区藤崎675 - 1）】で行います。

授業概要

【授業内容】
生化学は、生命現象のしくみを理解する学問です。「人は食べ物からどうやってエネルギーを得ているのか？」など、健康な毎日を過ごすためにとても大切なことです。暮らしに身近な糖、脂肪酸やアミノ酸、ビタミンや核酸、そして生命に必須の酵素のかたちやはたらきを学び、上手に栄養を摂取して　日々健康に生きるための知識を学習します。この授業は「生化学」と「酵素学」の入門講義として行います。また２日目には酵素を用いてトレハロースや糖転移ヘスペリジン等の食品用機能性糖質を生産しているナガセヴィータ（旧 林原）の工場と研究所を見学します。
【到達目標】
健康に生きるために必要な、生化学と酵素学の基礎知識を習得し、日々の暮らしに生かせるようになる。
【授業テーマ】
第1回 生命科学研究の歴史、細胞とは
第2回 糖質と脂質
第3回 アミノ酸とタンパク質
第4回 ビタミンと補酵素と酵素
第5回 ヌクレオチドと核酸
第6回 酵素生産のための遺伝子組換え技術
第7回 機能性糖質の製産工場及び研究所の見学
第8回 質疑応答　授業の総括
【学生へのメッセージ】
生化学&酵素学は身近な学問で、きちんと学ぶと健康な生活に役立ちます。見学先は酵素を用いてトレハロースを大量生産する技術を世界で初めて確立したことで有名です。見学する機会はなかなかないので、貴重な機会です。
【受講前の準備学習等】
教科書を購入し第１部「生体分子の構造」の2章炭水化物（10ページ）から6章ヌクレオチド・核酸（61ページ）まで、目を通しておいてください。
高校生物と化学が基礎になりますから、教科書をお持ちなら復習しておくことをお勧めします。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、ノート、筆記用具
【教科書】
・はじめての生化学 第2版（平澤栄次著／化学同人／¥2,530／ISBN=9784759815894）
　岡山大学生協、丸善やAmazonなどで入手可能
【参考書】
・これだけ！生化学 第2版（生化学若い研究者の会　著、稲垣賢二　監修／秀和システム新社／¥1,760／ISBN=9784798064109）
　岡山大学生協、丸善やAmazonなどで入手可能
・スミス　基礎生化学（Janice Gorzynski Smith 著、村田滋 訳／東京化学同人／¥2,640／ISBN=9784807920150）
　少し難しく、専門的に学びたい人向けです。岡山大学生協、丸善やAmazonなどで入手可能

【その他（特記事項）】
11月20日（２日目）は、ナガセヴィータ（旧 林原）（株）藤崎研究所　9時40分集合。公共交通機関を利用してお越しください。JR岡山駅より「新岡山港」または「三蟠南」行き岡電バス91、92または9A番に乗車、約30分です。「新道江並」で下車して徒歩約5分。この日の昼食代として1,000円程度の実費を徴収させていただきます。詳細については、受講生の方へ別途お知らせします。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧表P.5参照）

科目コード	2696860	**授業概要**	**【授業内容】** 本授業では、高齢期の健康維持に不可欠な「運動」の役割を科学的根拠に基づいて学びます。加齢に伴う筋・骨・身体機能の変化を理解し、骨粗鬆症、サルコペニア、フレイル、ロコモティブシンドロームの特徴と関連性を整理します。さらに、転倒や骨折の発生要因、予防のための評価視点、運動療法の実際など、理論と実生活を結び付けながら高齢期の健康戦略を体系的に理解します。本授業での専門的な内容は丁寧に説明を行い、ご自身やご家族の健康増進にも繋がるような最新の知見も交えて講義を行います。 **【到達目標】** ・高齢期に生じる身体機能低下の特徴を説明できる。 ・骨粗鬆症・サルコペニア・フレイル・ロコモティブシンドロームの違いと関連を説明できる。 ・高齢者に適した運動の基本的な考え方を説明できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 高齢期の健康をどう捉えるか 第2回 加齢による身体変化の科学 第3回 骨粗鬆症と骨折予防 第4回 サルコペニア・ロコモティブシンドローム 第5回 フレイルとその予防 第6回 転倒のメカニズムと予防 第7回 疼痛と身体機能 第8回 これからの高齢期健康戦略 **【学生へのメッセージ】** 専門知識がなくても理解できる内容です。講義内に簡単な実技を行う場合もありますが、服装はいつも通りで構いません。日常生活や家族の健康にも結び付けながら、実践的視点で学びましょう。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容を確認していただき、自主学習をお願いします。 **【成績評価の方法】** 成績評価は提出いただくレポート内容によって判定をします。レポートのテーマは「本授業内容を踏まえ、ご自身または家族の健康維持のために明日から実践すべきことを述べなさい。」です。
学習センター	広島学習センター		
学習センターコード	34A		
クラスコード	K		
科目名	**高齢期の健康と運動**		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	50名		
担当講師	フジイ　ノリフミ 藤井　紀文 広島都市学園大学講師		
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	広島学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧 (P.5参照))

科目コード	2696886	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 大学で必要とされるパソコンの活用方法を、Word、Excelなどを使いながら学びます。まず、パソコンの基本操作を学び、電子メールと情報検索を学習します。次に、Wordを使った文書作成、Excelを使った表作成、グラフ作成を行います。さらに、WordとExcelを連携して文書を作成します。授業の中でレポート形式も学習します。 **【到達目標】** WordとExcelを連携し、文章と図表を使ったレポートを作成し、自分の考えや感想などを表現することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 パソコンの基本操作・ファイル操作 第2回 電子メール・情報検索 第3回 Wordの基礎（文書を整えてみましょう） 第4回 Wordの活用（図を貼り付けてみましょう） 第5回 Wordの応用（様々な文書を作成してみましょう） 第6回 Excelの基礎（表を作成してみましょう） 第7回 Excelの応用（グラフを作成してみましょう） 第8回 WordとExcelの連携（レポートの形式にも挑戦してみましょう） **【学生へのメッセージ】** パソコンの基本操作から学んでいきます。アシスタントもいますので、安心して受講してください。 **【受講前の準備学習等】** 第１日目の事前学習：パソコンのキーボード配列が大体わかり、基本的な文字入力の学習（漢字変換など）をされていることをお勧めします。 第１日目の事後学習：教科書の当日指定する課題を行ってください。 第２日目の事前学習：第１日目で学習した範囲を教科書で確認してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び授業内で実施するWord・Excel等を用いた課題作成の評点により行います。
学習センター	広島学習センター		
学習センターコード	34A		
クラスコード	K		
科目名	**学生のための パソコン活用**		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	ナカタ　ミキコ 中田　美喜子 放送大学広島学習センター客員教授／ 広島女学院大学非常勤講師		
日程 実施時間	11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25		
実施会場	広島学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 指定した教科書。USBメモリ（市販の安価なもので良い）も必ず持参してください。 １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。 ２．OSの指定 Windowsが必要です。 ３．ソフトのインストール Word、Excelが必要です。 配付資料をPDFで提供することがありますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。 ４．その他 Windows11、Excel2016以上を対象とします。 ディスプレイの大きさが10インチ（幅20cm、高さ15cm位）以上であることを想定して授業を行います。これより小さい場合は、参加ができないことはありませんが、作業効率が低くなる可能性があります。 **【教科書】** ・30時間でマスターWord&Excel2021（実教出版企画開発部／実教出版／¥1,100／ISBN=9784407359398） **【参考書】** ・情報の基礎（中田美喜子・記谷康之／学術図書出版社／¥1,980／ISBN=9784780608922）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 システムWAKABAのログインIDとパスワードを確認しておいてください。授業中にキャンパスメールを使用しますので、メールアドレスを事前に確認しておいてください。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2696908	**授業概要**	**【授業内容】** フランス語をはじめて学ぶ人、フランス語は学んだことがあるけれど、もう一度初歩から学びなおしてみたい人を対象とする授業です。 まずは、アルファベの発音、綴り字と発音の規則を最初の2コマで、その後、挨拶や自己紹介、フランス語を話す地域に旅行する際に役立つ表現を学びます。 **【到達目標】** ・フランス語の綴り字と発音の関係が理解できる。 ・フランス語で簡単な自己紹介ができる。 ・基本動詞を使って簡単な文を作ることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 アルファベの発音を学ぼう・フランス語のつづり字と発音の規則を学ぼう（1.母音） 第2回 フランス語のつづり字と発音の規則を学ぼう（2.子音）・フランス語の歌を歌おう（きよしこの夜） 第3回 フランス語で挨拶しよう・フランス語で自己紹介しよう（名前を言う）・ETREの活用を覚えよう 第4回 フランス語で自己紹介しよう1（国籍・職業・身分を言う）・ETRE、AVOIRの活用を覚えよう 第5回 ETRE、AVOIRの活用おさらい・フランス語で自己紹介しよう2（家族・年齢を言う） 第6回 第１郡規則動詞の活用を学ぼう・フランス語で自己紹介しよう３（住んでいるところ・話せる原語・学んでいることを言う） 第7回 人や物について尋ねる表現を学ぶ（誰？何？いくつ？どんな？） 第8回 授業のおさらい **【学生へのメッセージ】** この授業では、発音練習を多く取り入れています。はっきりとした声で発音することを心がけてください。 **【受講前の準備学習等】** ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	広島学習センター		
学習センターコード	34A		
クラスコード	K		
科目名	**フランス語を始めよう**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	25名		
担当講師	ミヤガワ　アキコ 宮川　朗子 広島大学大学院文学研究科教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	広島学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 仏和辞典・和仏辞典は持参しても構いません。（持参しなくても問題はありません） 電子辞書やスマホのアプリでも構いませんが以下の点にご注意ください。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2696916
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**教育学入門**
科目区分	導入科目：心理と教育
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	タキザワ　ジュン 滝沢　潤 放送大学広島学習センター客員教授／広島大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
現在、社会、経済、政治、文化が大きく変化する中で、教育のあり方も問われています。現代の教育の基盤となっている思想、理念、制度を理解するとともに、今後のあり方について考えます。その際、現在の日本の主要な教育課題を教育の基本構造から問い直すことで展望します。

【到達目標】
・教育の理念、方法、制度について基本的な事項について説明できる。
・教育の今後のあり方について、複眼的に自らの考えを説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 教育とは何か　―個人の発達と社会的要請―
第2回 近代学校の成立と一斉授業の普及
第3回 現代日本の教育制度　―学校制度を中心に―
第4回 教育を受ける権利の平等保障　―教育の機会均等と３つの原理―
第5回 現代の教育課題（1）　―社会階層の再生産―
第6回 現代の教育課題（2）　―就学義務と不登校―
第7回 現代の教育課題（3）　―社会の多言語化と国民教育―
第8回 今後の教育のあり方を考える　―ネットワーク型学校教育の展望―

【学生へのメッセージ】
教育に関する経験、自身の考えを大切にしながらも、教育学の基本的事項の学習を通じて、それを相対化して、今後の教育のあり方を複眼的に説明できるようになることを期待します。

【受講前の準備学習等】
教育や教育学に関して興味のある事項や対象、課題について日頃から情報収集をしたり、興味のある書籍等を読んだりするようにしてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・『新・教育課程演習第4巻　教育法規・教育制度・教育経営』2021年。（藤井穂高・滝沢潤編著／協同出版／¥1,980／ISBN=9784319003457）
・『公教育制度の変容と教育行政　－多様化、市場化から教育機会保障の再構築に向けて－』2021年。（横井敏郎・滝沢潤・佐藤智子編著／福村出版／¥4,180／ISBN=9784571101946）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2696894
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**ライフサイクルから見た心と行動**
科目区分	導入科目：心理と教育
ナンバリング	220
定員	50名
担当講師	イワナガ　マコト 岩永　誠 放送大学広島学習センター客員教授／広島大学名誉教授
日程 実施時間	12月26日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月27日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学は、人のこころと行動を理解し、そのメカニズムを明らかにすることにより、私たちがより健康で安心な生活を送るための基礎的知見を得るための学問です。その歴史はギリシャ時代に遡りますが、実証的な研究が行われるようになってからは140年にも満たない新しい学問でもあります。本講義では、人の発達に伴い、人のこころと行動がどのように変化するのか、それぞれの発達段階における特徴や問題とは何かを考えることを通して、人についての理解を深めてもらうとともに、自分自身についても考えてもらいたいと思います。

【到達目標】
・人の発達に伴うこころと行動の変化について理解できる。
・発達課題とそれを達成することの大切さと達成できないことの問題について理解できる。

【授業テーマ】
第1回 心理学とは：発達の視点から
第2回 遺伝と環境、初期経験の重要性
第3回 胎児期から幼児期の発達
第4回 自我と知能の発達
第5回 親子関係の発達：母性と父性、第一反抗期と第二反抗期の意味
第6回 対人関係の発達：友人との遊びを通して獲得されるもの
第7回 アイデンティティの形成とアイデンティティ ・クライシス
第8回 人生の成熟期から終焉へ：成人・老人の課題

【学生へのメッセージ】
心理学は人のこころや行動を理解する学問であると同時に、自分自身を理解することにも役立ちます。心理学で得られた知見や理論をもとに自己を振り返り、これからの自分についても考えてもらいたいと思います。

【受講前の準備学習等】
心理学の教科書や入門書の中で、特に発達に関連する箇所を読んでおいてください。自分の周りにいる多様な年齢層の人たちの言動をよく観察して、それぞれの年齢層（発達段階）における行動の特徴や違いについて見ておくと、講義内容が理解しやすくなると思います。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」、2008年度以前「共通科目」に該当します。

科目コード	2696924
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**マクロ経済の実態**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	シンタニ　マサヤ 新谷　昌也 広島経済大学助教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
マクロ経済学は、経済全体の様子を集計的に捉えるマクロ経済指標を分析する経済学の応用分野のひとつです。
本講義の前半では、「様子を測る」という視点で，マクロ経済指標の定義，算出方法や含意を整理します。
また、本講義の後半では、主要なマクロ経済指標の実態を紹介し、経済の様子をどのように捉えられるのかを検討します。
また、本講義では、問題演習を行ない、マクロ経済理論に関する理解を深めます。
【到達目標】
基礎レベルのマクロ経済学を理解し、学んだことを用いてマクロ経済の実態を正しく捉えられるようになる。
具体的には、
・マクロ経済学が対象とする問題を理解し、理論的に分析するための基本的な考え方を身につける
・実際のデータに触れ、経済のスケールを身近に感じられるようになる
・本講義の範囲を超えた発展的内容に取り組むための基礎を身につけることを目指します。
【授業テーマ】
第1回 マクロ経済学とは?
第2回 さまざまなマクロ経済指標
第3回 国民経済計算 (1): 物質的豊かさ
第4回 国民経済計算 (2): 物価
第5回 マクロ経済指標の実態 (1): インフレーションの定義と背景
第6回 マクロ経済指標の実態 (2): 価格転嫁の問題
第7回 マクロ経済指標の実態 (3): 所得分配の問題
第8回 マクロ経済指標の実態 (4): 消費喚起の問題
【学生へのメッセージ】
マクロ経済理論と聞くと、難しそうに感じてしまうこともあるかもしれません。できるだけわかりやすく、面白く講義できるように心がけます。せっかくですから、一緒に楽しく取り組んでいきましょう。
【受講前の準備学習等】
・講義ノートを作成し、自分なりに知識を整理し、定着させましょう
・演習問題を自力で解いてみましょう
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2696932	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 本授業では、史料を通して歴史を学ぶだけでなく、その史料がどのようにして残されたかの経緯についても考察します。そしてデジタルアーカイブ等を用いて自ら史料を検索・閲覧できるようになるための演習を行います。さらに、広島県立文書館へ見学に行き、普段では入ることの出来ないバックヤードツアーを実施します。これらの体験を通して、広島の近代史を多角的に学習します。また、授業ではワークシートの作成、グループワーク、プレゼンテーションなども行いますので、積極的な参加が求められます。 **【到達目標】** ・近代広島をグローバルな視点で理解できるようになる。 ・広島の歴史に関する地域史料を自分の力で探し出せるようになる。 ・デジタルアーカイブで自在に資料検索ができるようになる。 ・歴史資料の記録管理がどのように行われているかを理解できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 アーカイブズ機関およびデジタルアーカイブの紹介 第2回 外国人記者が見た明治期の軍都広島（国立公文書館アジア歴史資料センターの活用） 第3回 広島県の移民史（国立国会図書館デジタルコレクションの活用） 第4回 学校資料にみる原爆被災の記録（広島平和記念資料館、広島市公文書館のデジタルアーカイブの活用） 第5回 広島県立文書館　見学（文書館の役割、史料保存等について） 第6回 広島県立文書館　見学（バックヤードツアー） 第7回 地域史料の継承について考える（ディスカッション、プレゼンテーション） 第8回 広島に関する史料を用いて論点を見出す（レポート作成講座） **【学生へのメッセージ】** 歴史学が好きな方にも苦手な方にも楽しんでいただける授業にしたいと思っています。インターネット検索で史料を閲覧する楽しさを体感し、史料保存現場を実際に見学し、様々な経験を共有して大いに語り合いましょう。 **【受講前の準備学習等】** インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。また、Google Classroomを使用する予定ですので、事前にダウンロードして操作方法についても確認しておいてください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 授業内で課すワークシート、プレゼンテーション、レポートの総合点で評価します。
学習センター	広島学習センター		
学習センターコード	34A		
クラスコード	K		
科目名	**史料で学ぶ広島の近代史**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	イシモト　リサ 石本　理彩 広島工業大学准教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月31日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:40～15:10 第4時限　15:20～16:05 試験・レポート等　16:05～16:50		
実施会場	この授業は、【広島学習センター［10月31日第1、2時限のみ★広島県立文書館］（広島市中区千田町3丁目7-47)】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** 1．持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレットの場合は外付けキーボード必須、スマートフォンは不可です)。 2．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS等)。 3．ソフトのインストール Word、PowerPointが必要です。配付資料はPDFで提供しますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項)】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧 (P.5参照)）

科目コード	2696878
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**地球の姿を探る、地球科学の基礎**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	50名
担当講師	ヨシドミ　ケンイチ 吉冨　健一 広島大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
図鑑や地学の教科書では既成の事実として取り扱われている地球の大きさや内部構造について、昔の人々がどのような苦労をしながらこれらを解明してきたのかを中心に学習を行い、日常で生活しているだけでは実感することのできない地球の姿を知っていきたいと思います。
【到達目標】
地球の形や大きさ、内部構造について、どのようにして解明されてきたのか理解し、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 地学の学習について
第2回 地球の形について
第3回 地球の大きさについて
第4回 地球の重さについて
第5回 地球の内部構造について
第6回 地球内部の不連続面について
第7回 地球の層構造について
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
丸暗記ではなく、地球の形や大きさ、内部構造について、どういう仕組みで知ることができるのかについて理解していって欲しいと思います。
【受講前の準備学習等】
授業の内容として、一部三角関数や物理学的な計算が必要になる場合があります。なるべくわかりやすく説明するつもりですが、これらが苦手な方は事前に少し復習をしておいてください。またシラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・スクエア最新図説地学（西村祐二郎・杉山直／第一学習社／¥957／ISBN=9784804047454）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2696940
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**摂食嚥下の機能とその障害**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ヒラマツ　テツヤ 平松　哲哉 広島都市学園大学准教授
日程 実施時間	10月28日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月29日(木) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
ヒトは食事を通して栄養を摂取するだけでなく、幸福感を得るとともに、他者との団欒やコミュニケーションを豊かにしています。食物を飲み込む運動は短時間で行われるため一見単純に思われがちですが、実際には多くの筋や神経が協調して働く複雑な機能です。本講義では、食べることおよび飲み込むことの機能的メカニズムとその維持について学び、生涯にわたり口から安全に、かつ美味しく食べ続けるための知識を深めます。
【到達目標】
摂食嚥下の機能とその障害によって生じる影響について、またその機能を維持するための対応を説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 摂食嚥下の機能
第2回 嚥下のメカニズムとモデル
第3回 嚥下機能の発達と加齢変化
第4回 嚥下機能の障害
第5回 嚥下機能の評価
第6回 リハビリテーション①
第7回 リハビリテーション②
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
食べること飲み込むことの機能である摂食嚥下機能について学びます。またその機能の障害についても理解を深め、その機能を維持する方法についても学習していきましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696959
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**母親と父親／母性と父性**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	イマカワ　シンジ 今川　真治 広島大学名誉教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
生物の繁殖方法には無性生殖と有性生殖があり、このうち有性生殖では、メスとオスのそれぞれが配偶子（卵と精子）を提供しあうことで子どもが生まれます。では、生まれた子どもを保護し養育するのはメスとオスのいずれの役割なのでしょうか。親が子育てをする動物の割合は全動物種の2～3%程度と言われており、私たちが属する哺乳類でも、約90%はメスのみが子育てをし、オスが子育てに参加するのはわずか10%程度に過ぎません。では、私たちヒトはどうでしょうか？いまいちど、母親と父親がそれぞれ持つべき役割について考えてみましょう。

【到達目標】
生物にオスとメスの二つの性があることを認識し、それぞれの違いについて説明できるようになる。さらに、次世代の子孫を保護し育てていく上で、メスとオスがそれぞれ負うべき役割について自分自身の考えを持ち、日々の生活の中でその役割を実践できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 生物に性（別）があるのはなぜか
第2回 子孫を残すための戦略・動物の配偶者選択
第3回 昆虫～は虫類の子育て・メスとオスの役割
第4回 鳥類と哺乳類の子育て・メスとオスの役割
第5回 人類の進化と家族・ヒトの子育て
第6回 母性と父性の共通点と相違点
第7回 母親と父親・それぞれの役割
第8回 これからの子育て・親教育の必要性

【学生へのメッセージ】
この講義では、受講生の皆さんの家族観などをもとに、母親と父親がそれぞれ受け持つべき役割などについて意見交換をしていこうと考えています。正解のない問いなので、ぜひ自由に意見を述べてください。

【受講前の準備学習等】
自分自身の日常生活の中でヒトやヒト以外の動物の家族の様子を観察するなどして、メスとオス、母親と父親の行動の違いや家族の他の成員とのかかわり方の違いなどを意識的に見ておいてください。また、授業で学修した内容について復習を行うとともに、インターネット等を利用して更に情報を集め、理解を深めてください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
講義ノートを取る目的でパソコンを持参していただいても構いませんが、必須ではありません。その他、特に必要とするものはありません。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689120
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験1**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	オガワ　ケイコ 小川　景子 放送大学広島学習センター客員准教授 ／広島大学准教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験2種を行います。皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、さらにその結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として8回の授業すべてに出席し、2つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】

心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】

第1回 オリエンテーション
第2回 実験1（ミュラー・リヤー錯視）の解説
第3回 実験1の実施
第4回 実験1の結果整理
第5回 実験2（ワーキングメモリ）の解説
第6回 実験2の実施
第7回 実験2の結果整理
第8回 レポートの作成方法について、質疑応答

【学生へのメッセージ】

この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。

【受講前の準備学習等】

インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 無線LANを利用される場合は、利用申請をしておいてください。また、放送大学のキャンパスメールの使用方法も確認しておいてください。 授業でGoogleClassroom を使用するかもしれませんので、GoogleClassroom についてインターネット等で確認しておいてください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

・事前学習 ： シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。
・事後学習：授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。受講後のレポート作成について、特に序論と考察には受講中および事前事後学習で深めた内容を記載してください。記載の際には根拠となる引用文献を忘れないようにしてください。考察は得られたデータを基に展開してください。統計および図表の作成も丁寧に行ってください。

なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

1．持参する端末：ノートパソコンを持参してください。
2．OSの指定：種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
3．ソフトのインストール：ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　WordとExcelが必要です。
4．その他：マウスを持参してください。ソフトのバージョン指定はありません。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【参考書】

・心理学基礎実習マニュアル（宮谷 真人（編集），坂田 省吾（編集），林 光緒（編集），坂田 桐子（編集），入戸野 宏（編集），森田 愛子（編集）／北大路書房／¥3,080／ISBN=9784762826658）

【その他（特記事項）】

以下のスキルが受講条件です。
①実験の参加、レポートの作成にあたって基本的なパソコン操作（Office Wordを利用した文書作成、図表の作成。Office Excelを利用した代表値（平均値など）の算出、図表の作成、図表のWordへの挿入。）ができることを受講条件とします。この条件を満たしていないと、実験参加の進度が遅れ、単位修得が大変困難です。必ずこの条件を満たしたうえで参加してください。
②充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2696967
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**心を科学する認知心理学**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	オガワ　ケイコ 小川　景子 放送大学広島学習センター客員准教授／広島大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
「心理学」は、私たちの「心」を科学する学問です。心理学には、発達心理学や、社会心理学など、たくさんの種類がありますが、本講義では、知覚・記憶・学習といった「認知心理学」を取り上げ、私たちがどうしてそのように感じるのか、どうやったらうまく考えたり覚えたりできるようになるのか、を考えていきます。自分や他人のことを知りたい、どうやったら分かるようになるかな、を認知心理学の側面から一緒に考えていきたいと思います。そして、この授業を通して「心」について皆さんなりの答えが見つかればと思っています。

【到達目標】
・心理学とはどのような学問か、理解できるようになる。
・自分と相手を客観的にみる方法を理解することができる。
・日常生活へ心理学を活用できるようになる。
・心とは何か、自分なりの答えを考えることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 心理学とはいかなる科学か
第2回 精神物理学：心を測ってみましょう
第3回 注意：個人差が生まれる理由を考える
第4回 認知と思考：問題解決の方法を考える
第5回 記憶：記憶の仕組みを知る
第6回 記憶：効率的な記憶方法を考える
第7回 記憶：忘却の意義を考える
第8回 学習：なぜそんな行動をしてしまうのか、を考えてみましょう

【学生へのメッセージ】
私達はひとりひとりがそれぞれの考え方や個性を持っています。この違いがどこから生まれるのか、考えていきたいと思います。授業の最後には、違いが生まれる背景が理解でき、それらとうまく付き合う方法がみえてくるといいなと考えています。

【受講前の準備学習等】
心理学の歴史や認知心理学に関する入門書を読んでおいてください。そして、授業をよりよく理解するために、自分の考え方のパターンや、日常生活における嫌だなと思うことや楽しいなと思うことを振り返っておいてください。授業後には、私たちの認知のメカニズムから皆さんなりの解決策を考えてみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689146
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	マツキ　タロウ 松木　太郎 広島国際大学講師
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的実験を2つ行い、心理学で実験を行う意義、実験方法、結果のまとめ方などを学びます。学生の皆さんは、それら全ての実験に実験参加者として参加し、さらにその結果を客観的なレポートにまとめます。学生の皆さんは、これら全ての実験に参加しなければなりませんので、原則として8回の授業全てに出席する必要があります。また、２つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。さらに、研究法や統計法についての基本的な理解とその必要性を理解してもらうための講義も含みます。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス、心理学における実験の意義
第2回 科学的・客観的にまとめること：レポートの書き方
第3回 実験1：印象形成　実験の実施
第4回 実験1：印象形成　レポートのまとめ方、要点
第5回 実験2：集団の認知　実験の実施
第6回 実験2：集団の認知　レポートのまとめ方、要点
第7回 心理学における研究法と統計の重要性
第8回 両実験課題に関するレポート執筆指導
【学生へのメッセージ】
認定心理士、公認心理師受験資格取得に関わる科目です。そのため、原則として授業全てへの出席が必須です。遅刻もしないようにしてください。また、レポートについては心理学実験のレポート書式での提出が必ず求められ、単に提出すればよいというものではありません。なお、機材等の都合により課題の順序は一部変更することもあります。
【受講前の準備学習等】
心理学実験の意義、基本的な統計学に関する用語（有意水準、ｔ検定、カイ二乗検定など）を、書籍やインターネット等で調べておいてください。Word、Excelの基本操作ができることが必要です。
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし､実習課題について､あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には､放送大学のインターネット配信で｢心理学概論('24)｣、｢心理学研究法('20)｣、｢心理学統計法（'21)｣を視聴してください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
システムWAKABAにログインするためのIDとパスワードを確認しておいてください。また、放送大学のキャンパスメールの使用方法も確認しておいてください。
授業で GoogleClassroom を使用します。 GoogleClassroom についてインターネット等で確認しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等)。
３．ソフトのインストール
　・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ)、Google Chrome（クローム)、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス)、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　・WordとExcel が必要です。
４．その他
　ソフトのバージョン指定はありません。
　マウスの使用を推奨します。
【教科書】
教科書は使用しません。
【参考書】
・認定心理士資格準拠　実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会　認定心理士資格認定委員会編／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312)

【その他（特記事項)】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689189	**授業概要**	**【授業内容】** 心理検査は、個人のパーソナリティや知的能力などをアセスメントする際に用いられるものです。この講義では、実際に心理検査を体験することを通して、意義や検査実施時の留意点について学ぶことが中心となります。また、実際に心理検査を体験することに加え、各検査の特徴や解釈法を学び、検査結果を解釈し、検査結果をレポートとしてまとめてもらいます。そのため、受講生のみなさんは、原則として8回の授業すべてに出席し、３つの実習それぞれについて、レポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、および心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 オリエンテーション：心理検査とは 第2回 質問紙法：検査実習①新版TEG3 第3回 投影法 第4回 検査実習②統合型HTP 第5回 知能検査・発達検査・作業検査法・神経心理学検査 第6回 検査実習③改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R） 第7回 テストバッテリーと検査の信頼性・妥当性 第8回 検査結果の活用と倫理的配慮 **【学生へのメッセージ】** この講義では、実際に心理検査を実施し、自己分析、解釈を行います。体験を通じて、心理検査についての理解を深めると同時に、自己理解のきっかけにもなるので、積極的に参加していただけると幸いです。 **【受講前の準備学習等】** 事前学習 ： シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。 事後学習 ： 授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。授業の配付資料、実施した検査などを振り返って内容の理解を深め、レポートの作成を行ってください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	広島学習センター		
学習センターコード	34A		
クラスコード	K		
科目名	**心理検査法基礎実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ハコウ　スズカ 波光　涼風 福山大学講師		
日程 **実施時間**	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25		
実施会場	広島学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 鉛筆（HBまたはB）と消しゴム。 講義内でレポート作成について触れ、まとめる時間もとるため、パソコンを持参していただいてもかまいません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696975
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**国際法で読み解く 世界の紛争**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ニシタニ　ハジメ 西谷　元 放送大学広島学習センター客員教授／ 広島大学名誉教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
≪国際法の視点から世界を読み解く≫
本講義では、ニュースで目にする現代の国際紛争を「感情」や「政治」だけでなく、共通のルールである「国際法」というレンズを通して分析します。
「なぜ戦争は止まらないのか？」「武力行使はどこまで許されるのか？」「戦争犯罪はどのように裁かれるのか？」といった疑問に対し、国際連合の役割や国際人道法の基本を学びながら、法的解決の可能性を探ります。法学の予備知識がなくても、具体的な事例研究（ケーススタディ）を通じて、多角的に情勢を判断する「リーガル・マインド」を養うことを目指します。
【到達目標】
現代の主要な国際紛争の対立点を、国際法の基本原則（海洋法、外交関係、武力行使禁止、自衛権、国際人道法など）に照らして整理し、第三者に客観的に説明できる。また、ニュース等の情報に対し、感情的な判断に留まらず、法的な正当性や限界の観点から自らの見解を論理的に構成し、記述できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション ― 国際法という「レンズ」
第2回 国家の成立と承認：パレスチナやコソボを例に、何が「国」を決めるのか。
第3回 海と空の境界線 ― 海洋法と主権をめぐる争い
第4回 武力行使禁止の原則と例外：ロシア・ウクライナ情勢から見る「自衛権」の解釈
第5回 難民・移民と国際法：国境管理と「ノン・ルフルマン原則（送還禁止）」
第6回 経済制裁とWTO：輸出規制や資産凍結は国際経済法上、正当化されるか。
第7回 国際裁判所の役割：ICJ（国際司法裁判所）やICC（国際刑事裁判所）は紛争を解決できるか。
第8回 国連安保理の限界と改革：拒否権行使による機能不全を法的にどう見るか。
【学生へのメッセージ】
「〇〇はひどい」「平和が一番だ」といった道徳的な主張だけでなく、「国際法の枠組みでは、この行為はどう解釈されるのか」という視点を持つことを目的とします。
【受講前の準備学習等】
事前学習として、各回のテーマに関連する国際的なニュースを事前に確認し、対立の論点を整理した上で出席してください。特に、法的用語の定義を把握しておくことが求められます。事後学習では、講義内容を基に自身の見解をまとめ、レポートの作成に向けた論理構成の準備を段階的に進めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
・国際法　第5版　有斐閣アルマ>（中谷和弘（東京大学教授）、植木俊哉（東北大学教授）、河野真理子（早稲田大学教授）、森田章夫（法政大学教授）、山本良（埼玉大学教授）／有斐閣／¥2,310／ISBN=978-4-641-22230-4）
【参考書】
・国際法資料集［第2版］（西谷元／日本評論社／¥4,070／ISBN=978-4-535-52199-5）

科目コード	2696983
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**広島の公共交通の 地域的展開**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	カトウ　ヒロカズ 加藤　博和 広島経済大学准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
広島県を対象として、鉄道、バスなどの交通機関に着目し、それらがどのように成立、発展し、またどのような問題に対応してきたのか、どのような課題を抱えているのか、歴史的視座と現代的課題から考えます。授業は、明治から戦前まで（近代）と、戦後（現代）のパートに分かれます。また広島市を中心とした地域、福山市を中心とした地域、県北部を中心とした地域などに分けて考察します。ビジネスとしての側面のみならず、公共交通としての役割、地域や行政の政策にも触れます。
【到達目標】
公共交通を通して、地域の歴史的変遷や現代の課題について、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 広島県における鉄道の開通と路線形成
第2回 広島地域における乗合自動車の開業と展開
第3回 広島県北部（備北地域）における乗合自動車の開業と展開
第4回 広島県東部（備後地域）における乗合自動車の開業と展開
第5回 広島県内の鉄軌道事業の展開
第6回 広島県内の乗合バス事業の展開
第7回 地域公共交通としての新たな展開
第8回 公共交通と地域の課題・展望（まとめ）
【受講前の準備学習等】
広島県や県内市町村の歴史などについて、自治体の刊行物やホームページなどで調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2696991
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**広島と台湾の歴史記憶を結ぶ**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ナカムラ　タイラ 中村　平 広島大学教授
日程 実施時間	11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
広島と台湾の歴史記憶を結ぶ思索と議論を行います。それは東アジアと環太平洋の歴史記憶にもつながっています。本講座では関連する近現代史を振り返りつつ、明確に語られる歴史に未だなりきらない集合的な記憶やトラウマ記憶に分け入っていきます。帝国日本の拡張と侵略の歴史とともに、マイノリティの歴史経験や記憶ということが重要であり、台湾先住民に関する主題も重点的に扱います。またその際、戦争と平和、ポストコロニアルという軸をめぐり、以上の地域の歴史記憶がどのように結び合わさっているのかを考え、議論します。
【到達目標】
誰もが自分のポジションを有している。自らがそのポジションの歴史性を自覚し、他者の歴史記憶を想像することができるようになる。そのためにはさまざまな歴史記憶や歴史経験に触れ、その背後にある歴史的な構造に分け入っていくことが求められる。こうした問題系を理解し、分け入る契機をつかむことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 自己紹介と講義のアウトライン、ポストコロニアルについて
第2回 台湾高地先住民の歴史記憶
第3回 軍都広島の歴史記憶①
第4回 同②・２日目までに行うミニレポートの課題説明
第5回 映画「セデック・バレ」「基町アパート」などの議論
第6回 軍都広島に関する議論
第7回 台湾・沖縄・米国・中国などとポストコロニアル
第8回 期末レポートの説明と総合討論
【学生へのメッセージ】
あまり難しく考えることはありません。自分や家族の歴史経験などから、帝国日本の拡張と縮小のなかでのマイノリティの経験や記憶を想像していきましょう。映像も使います。自分の意見を表現する技術もトレーニングします。
【受講前の準備学習等】
履修後にEメールで課題を出しますので、注意してください。課題は指定の図書・論文・映像のどれかを選んで、ミニレポートを提出してもらいます。２日目の講義まで１か月ほどの期間を設けています。ミニレポートは２日目の３日前までにメールを使って提出していただきます。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
・『記号化される先住民／女性／子ども』（石原真衣編2022／青土社／¥2,420／ISBN=9784791774876）
【参考書】
・『軍都廣島：「廣島」と「ヒロシマ」を考える』（増補版）（清水章宏、橋本和正2023／一粒の麦社／¥700）
入手は以下の連絡先に注文するか、困難な場合は古書や図書館などをご活用ください。広島自治体問題研究所　hjitiken@urban.ne.jp, 電話082-241-1713
・『広島　爆心都市からあいだの都市へ：「ジェンダー×植民地主義 交差点としてのヒロシマ」連続講座論考集』（高雄きくえ編2022／インパクト出版会／¥3,300／ISBN=9784755403262）

科目コード	2697009
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**世界の中の日本現代文学**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ダルミ　カタリン DALMI Katalin 広島大学助教
日程 実施時間	11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
近年、英語圏をはじめとする欧米諸国において、日本文学への関心が高まっています。その背景には、村上春樹の存在が大きな役割を果たしていると考えられます。村上の作品は約40ヵ国語に翻訳され、現在に至るまで熱心な読者層を持ち続けています。さらに、近年では女性作家たちも注目を集めており、その作品に見られる社会批評的な視点が多くの読者を惹きつけています。
本授業では、欧米諸国で広く読まれている作家たちの作品を取り上げ、現代日本文学の特徴について考えていきます。また、各作品の海外と日本における受容や解釈の差異についても検討していきます。
【到達目標】
1980年代以降の日本現代文学の特徴、及び海外における受容について理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション
第2回 英語圏における村上春樹文学の受容―『羊をめぐる冒険』を読む
第3回『神の子どもたちはみな踊る』をとおして考える村上春樹文学の特徴
第4回 アダプテーションから見る村上春樹の世界
第5回 女性作家の海外進出とその背景／川上未映子『夏物語』を読む
第6回 小川洋子の世界―『博士の愛した数式』を中心に
第7回 村田沙耶香の世界―『コンビニ人間』を中心に
第8回 全体のまとめ・ディスカッション
【学生へのメッセージ】
文学に興味のある方であれば、どなたでも歓迎します。海外でも高い評価を受けている文学作品の魅力を、一緒に味わいましょう。
【受講前の準備学習等】
作品の抜粋を配付しますが、事前に全文を読んでおくと理解がより深まります。またシラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・『羊をめぐる冒険（上）』（村上春樹／講談社／¥715／ISBN=9784062749121）
『羊をめぐる冒険（下）』（村上春樹／講談社／￥715／ISBN=9784062749138）
・『神の子どもたちはみな踊る』（村上春樹／新潮社／¥693／ISBN=9784101001500）
・『夏物語』（川上未映子／文藝春秋／¥1,089／ISBN=9784167917333）
・『博士の愛した数式』（小川洋子／新潮社／¥693／ISBN=9784101215235）
・『コンビニ人間』（村田沙耶香／文藝春秋／¥693／ISBN=9784167911300）

科目コード	2697017
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**「人新世」時代の イヌイトの挑戦**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	オオムラ　ケイイチ 大村　敬一 放送大学教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
「人新世」という概念に注目が集まり、グローバルに展開する人類の活動が地球に与える影響によって人類の存続可能性が脅かされる可能性が、地球温暖化や生物多様性の激減やパンデミックなどの衝撃的な事実を通して、広く認識されるようになった今日、「近代」という私たちの生き方に警鐘が鳴らされています。この授業では、この「人新世」時代にあって、人類学という学問に何が求められるか、カナダ極北圏の先住民イヌイトの間での講師のフィールドワークの現場から考えます。
【到達目標】
「人新世」時代とはどのような時代状況なのかを人類学の調査・研究に基づいて理解し、その時代状況にあって、「二重に生きる」ことの重要性を説明して考察をすすめることができる。
【授業テーマ】
第1回「人新世」時代：岐路に立つ人類
第2回「人新世」時代の文化人類学の挑戦
第3回 カナダ・イヌイトの現在
第4回 カナダ・イヌイトの歴史：二度の危機を乗り越えて
第5回 イヌイトの先住民運動
第6回 二重に生きる：イヌイトの選択
第7回 イヌイトの生業システム
第8回 イヌイトから問う人類の未来
【学生へのメッセージ】
この科目は放送授業『「人新世」時代の文化人類学』と『フィールドワークと民族誌』とOL授業『文化人類学の最前線』を補完する面接授業です。その印刷教材とOL授業の書籍（『「人新世」時代の文化人類学の挑戦：よみがえる対話の力』以文社）を事前にお読みいただけると、本授業の内容の理解の助けになります。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
レポート課題：今日の世界において「二重に生きること」の重要性について、自らの経験に基づく事例を一つ以上あげながら、授業の内容に基づいて、1,600字以上3,200字以内で論じてください。
授業終了約2週間後の12月20日（日）必着です。それまでに広島学習センターに提出してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・「人新世」時代の文化人類学（大村敬一、湖中真哉編／放送大学教育振興会／¥3,630／ISBN=9784595321917）
・カナダ・イヌイトの民族誌：日常的実践のダイナミクス（大村敬一／大阪大学出版会／¥7,480／ISBN=9784872594553）
・「人新世」時代の文化人類学の挑戦：よみがえる対話の力（大村敬一編／以文社／¥5,280／ISBN=9784753103812）
・フィールドワークと民族誌（大村敬一、中空萌編／放送大学教育振興会／¥3,300／ISBN=9784595324567）

科目コード	2697025
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**生活における 視覚情報とデザイン**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ニシグチ　リエコ 西口　理恵子 広島女学院大学特任教授
日程 実施時間	10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

私たちの身の回りには、スマホ画面のアイコン、道路標識、広告など、様々な視覚情報が存在しています。本授業では、まず「情報」という言葉の成り立ちを振り返り、その上で視覚情報の要素でもある配色が持つ心理的効果や、その情報が脳に認識される仕組みを「錯視」や「ピクトグラム」の制作演習を通して体験的に学びます。また、パワーポイントを単なる発表ツールではなく「情報の設計図」として使いこなし、誰にでも伝わるデザインを実践するためのスキルも習得します。

【到達目標】

情報とデザインの意味を理解し、視覚情報の構成要素でもある配色の基礎理論（色のはたらき、視覚的・心理的な効果など）を説明できるようになる。実践では、パワーポイントの図形描画機能を利用することができるようになり、自分が他者に伝えたい視覚情報をデザインすることができる。

【授業テーマ】

第1回 情報と配色
第2回 基本作図と錯視
第3回 引き算の情報デザイン
第4回 図の見え方
第5回 図形演習（応用編）
第6回 図形演習（プロジェクションマッピング風）
第7回 図形演習（オリジナル視覚情報）
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】

基本作図と図形演習はパワーポイントを利用します。パワーポイントは初心者でも大丈夫です。アシスタントもいますので、安心して受講してください。

【受講前の準備学習等】

システムWAKABAのログインIDとパスワード、キャンパスメールを確認しておいてください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
文字入力はキーボードから大体できるようにしておいてください。道路標識、案内標識、商品パッケージなどを普段から観察したりまた、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。
2．OSの指定
　Windows11が必要です。
3．ソフトのインストール
　必要なソフトは、Microsoft製のWordとPowerPointです。また、Chromeブラウザが必要です。配付資料はPDFで提供しますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。
4．その他
　USBメモリ（4G程度で安価なものでよい）1個とマウス1個を持参してください。

【教科書】

授業当日に補助教材を配付します。

【その他（特記事項）】

充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2697033
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**生活に活かす デザイン基礎**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	310
定員	50名
担当講師	フシミ　キヨカ 伏見　清香 放送大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
デザインは生活と密着しています。デザインについて、日常生活に役立つ色の話や、質の高いデザインを選び取るための知識を獲得することを目指します。事例に見ながら現状の問題点について探り、社会におけるデザインの役割を考えます。
【到達目標】
私たちの日常生活において、身近なところに多くのデザインがあることを、事例を見ながら発見できる。
さらに、実は自分自身も日々デザイン活動をおこなっていることに気づき、質の高いデザインを選び取る知識を身につけることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 デザインとはなんだろう？
第2回 デザインの歴史
第3回 情報とデザイン
第4回 色彩の基礎
第5回 グッドデザインについて
第6回 地域活性化とデザイン
第7回 ユニバーサルデザイン
第8回 まとめ:わたしたちがデザイナー
【学生へのメッセージ】
日常生活の中で、私たちは自身の生活をデザインしています。質の高いデザイン、自分らしいデザインを選び取り、自身のデザイン行為について考えてみましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2697041
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**魚の生態とデータ分析**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	トミヤマ　タケシ 冨山　毅 広島大学教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

この授業では、魚の生態や生物としての特性を紹介しながら、数学や統計学をどのように用いているかを説明します。この過程でExcelなどを用いて、計算や集計の方法を説明します。例えば、サケは雄の方が大きくなり、ヒラメは雌の方が大きくなりますが、雄と雌のどちらの方が大きくなるか、どのように証明するかを考えます。こうした計算やデータの集計を、日常生活でどのように活用できるかも学びます。計算だけでなく、雌雄でのサイズの違いが魚によって異なる理由など、海洋生物についても考えます。
【到達目標】
魚の生態への関心を高めるとともに、数学や統計学の簡単な使い方を理解し、日常生活においても計算や集計が効率的にできるようになる。
【授業テーマ】
第1回 魚の生態学入門（1）：いろいろな魚たち
第2回 魚の生態学入門（2）：データ入力
第3回 魚の大きさを表現する：ヒストグラムや箱ひげ図
第4回 雄と雌の違いを考える：2群の比較
第5回 魚の年齢と大きさの関係を考える（1）：データ集計
第6回 魚の年齢と大きさの関係を考える（2）：相関
第7回 調べたことから予測につなげる：回帰
第8回 数学と統計を私たちの日常生活で使う：まとめ
【学生へのメッセージ】
魚の生態に興味を持ってもらうこと、または表計算ソフトの便利さを感じてもらうことを目標に、講義や演習を行います。あまり高度な数学や統計学の話はしませんのでご安心ください。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。
3．ソフトのインストール
　表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いません（Excelが望ましいです）。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2697050
学習センター	広島学習センター
学習センターコード	34A
クラスコード	K
科目名	**広島の地域農業を考える**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	35名
担当講師	ホソノ　ケンジ 細野　賢治 広島大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	広島学習センター

授業概要

【授業内容】
人口270万人の広島県は、経営耕地面積に占める中山間地域の割合が90％と全国で最も高く、農業条件が不利な地域として全国でも知られ、担い手の高齢化・後継者不足など農業の持続性が危ぶまれています。その一方で、県内には中山間水田地帯を形成しつつもミカンとリンゴの産地が存在し、畜産物のほか多品目な野菜も生産されており、その農業条件の多様性から日本農業の縮図ともいわれています。
この科目では、食料自給率31％の広島県における地域農業の課題について現場状況などから構造的に把握し、課題解決に向けた今後の方策などを皆さんで考えて頂くことを目的としています。

【到達目標】
広島県でいま起こっている食料需給に関する問題をその実相から理解することで、課題解決に向けた具体的な方策を検討することができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 わが国における食生活の変化
第2回 日本農業の展開と地域構造
第3回 戦後わが国における農政の展開
第4回 広島県の地域農業をめぐる状況
第5回 広島県における農業構造とその展開
第6回 広島県の農政・農協などによる地域農業支援の展開
第7回 広島県における6次産業化と農商工連携の展開
第8回 広島県における地域農業の課題解決に向けたワークショップ

【学生へのメッセージ】
基本的には、座学で行います。第8回はレポート作成の前提となるワークショップを受講生の皆さんで行ってもらいます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・現代の食料・農業・農村を考える（藤田武弘・内藤重之・細野賢治・岸上光克編著／ミネルヴァ書房／¥3,080／ISBN=9784623082841）
・農政の展開と食料・農業市場（小野雅之・横山英信編著／筑波書房／¥3,080／ISBN=9784811906386）

科目コード	2697076
学習センター	広島学習センター（福山）
学習センターコード	34S
クラスコード	Q
科目名	**観察と表現： 身近なものの再発見**
科目区分	導入科目：生活と福祉
ナンバリング	220
定員	24名
担当講師	ホリカワ　スナオ 堀川　すなお 広島大学助教
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	福山サテライトスペース

授業概要

【授業内容】
私たちが普段何気なく使っている絵の具は、どのように作られているのでしょうか。また、絵画はどのように発展してきたのでしょうか。
本授業では、絵の具に関する基礎知識を身につけるところから始め、顔料と展色材を用いて絵の具を実際に作ります。さらに、水彩絵の具を使った多様な技法を学び、表現の幅を広げます。実際に手を動かして描く活動を通して、理論と実践の両面から「絵の具」や「絵画」をさまざまな方法でじっくり観察し、表現する力を養います。この授業を通して、日常にある「当たり前」を新鮮な視点で捉え直す力と、自分らしい表現方法を見つける楽しさを体験していただきます。こうした観察力の向上は、固定観念にとらわれず柔軟に想像力を広げる基盤となり、より広い視野で世界を捉える力へとつながります。
【到達目標】
学生は、絵の具に関する基礎的な知識を身につけ、制作・実習に活用できるようになる。他者の視点や表現方法の多様性を理解し、尊重する姿勢を身につける。また、観察を通して得た気づきを言語化し、分かりやすく説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 絵の具とは何か？
第2回 絵の具作り実践
第3回 作った絵の具の使用
第4回 水彩絵の具の多様な技法の実践1
第5回 水彩絵の具の多様な技法の実践2
第6回 絵画とは何か？
第7回 頭を柔らかくして絵を描く実践
第8回 実践を通じた作品鑑賞
【学生へのメッセージ】
普段何気なく捉えているものについて、色々な視点からものを捉える面白さが伝われば嬉しいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
授業で学習した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みと試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
・八つ切り白画用紙8枚
・水彩絵具セット（絵具・筆・筆洗・雑巾）
※画用紙や水彩絵具は安価なもので差し支えありません。
・当日は絵具づくりを行うため、汚れてもよい服装でお越しください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・目の見えない白鳥さんとアートを見にいく（川内 有緒／集英社インターナショナル／¥2,310／ISBN=9784797673999）
・音さがしの本　リトル・サウンド・エデュケーション（R.マリー シェーファー／春秋社／¥1,980／ISBN=9784393935392）
・造形の基礎を学ぶ 美と創作シリーズ 一本の線から広がるデッサンの世界（藤村克裕／KADOKAWA／¥4,180／ISBN=9784046513137）
古書もしくはインターネットですと入手可

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2697084	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 臨床心理学は、心に関するさまざまな問題を抱える人に対し、心理学的知識や技法を用いて実践的に関わりを持っていく分野です。その対象は、特別な場面に限らず、私たちの日常生活とも密接に関わっています。本科目では、臨床心理学の歴史や主な理論、技法、関連領域について学ぶことを通して、身近にあるさまざまな心理的問題について理解を深めていきます。 **【到達目標】** ・臨床心理学の成り立ち、基本的な理論や技法について理解し、説明できる。 ・さまざまな心理的問題について、知識や事例の学びをもとに基本的な理解を持ち、説明できる。 ・臨床心理学と他の領域との関連について説明できる。 **【授業テーマ】** 第1回 臨床心理学の成り立ち 第2回 正常と異常の多元性 第3回 心理アセスメントの理論と実際 第4回 さまざまな心理的問題１ 第5回 さまざまな心理的問題２ 第6回 心理療法の理論と技法１ 第7回 心理療法の理論と技法２ 第8回 臨床心理学における倫理、まとめ **【受講前の準備学習等】** 臨床心理学の歴史、心理アセスメント、心理療法の理論と技法、倫理について、事前に基礎概念を調べ整理しておいてください。また、心の健康や心理的問題に関する身近な事例を振り返り、自分の考えをまとめておいてください。 本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線 LAN を利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	広島学習センター（福山）		
学習センターコード	34S		
クラスコード	Q		
科目名	**身近な臨床心理学**		
科目区分	導入科目：心理と教育		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	ヤマサキ　リオ 山崎　理央 福山大学教授		
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	福山サテライトスペース		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）。 ２．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 ３．ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2697092
学習センター	広島学習センター（福山）
学習センターコード	34S
クラスコード	Q
科目名	**生活をひもとく経済学**
科目区分	導入科目：社会と産業
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	ヤマナカ　イツロウ 山中　逸郎 広島修道大学准教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	福山サテライトスペース

授業概要

【授業内容】
この授業では、経済活動とは何かを確認し、どのように営まれているか？そういう原初的なところから、「バーゲン」に行く、「ネット通販」で買物をすること、また「株式」を買ったり、あたらないのに「宝くじ」を買ったりすることは、何故なのか？というような身近で起こっていることから、「外国人がいつの間にか日本にたくさん来るようになった」、「新車買ったら、納車が1年待ち」など、身近なことも世界とつながっている現代経済の仕組みを理解できることをめざします。

【到達目標】
社会で営まれている経済活動と個々の人間との関係や、何気なく行っている人間の行動を経済的な視点でもとらえることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 経済とは何か
第2回 価格決定
第3回 市場競争
第4回 経済学と現実社会
第5回 おカネと金融
第6回 賃金と働き方
第7回 グローバリゼーションと経済
第8回 非合理的な人間

【学生へのメッセージ】
現代社会に生きる人には、「経済」は身近でありながら敷居が高いと感じる方も多いようです。そんな初学者を対象に、身近な生活から現代社会で起きている出来事を、経済学がどのように考えているかを解説します。

【受講前の準備学習等】
（経済）ニュースなどの出来事は、日常的に関心を持ってチェックをしておくことをお勧めします。またシラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具等

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・経済の考え方がわかる本（新井明・柳川範之・新井紀子・e-教室編／岩波書店／¥946／ISBN=9784005005116）
・佐和教授はじめての経済講義（佐和隆光／日本経済新聞出版／¥2,001／ISBN=9784532353278）
20008年の発行で出版されて時間がたちますが、経済学の大きな流れを説明しています。
・身近な疑問が解ける経済学（松井彰彦・安田洋裕介・加藤他／日本経済新聞出版／¥350／ISBN=9784532113179）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2697106
学習センター	広島学習センター（福山）
学習センターコード	34S
クラスコード	Q
科目名	**運動器疾患の病態とリハビリ**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	カミカワ　ノリミチ 上川　紀道 放送大学広島学習センター客員准教授／広島都市学園大学准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25
実施会場	福山サテライトスペース

授業概要

【授業内容】
運動器とは、身体を動かすために関わる組織や器官のことであり、骨・筋肉・関節・靭帯・腱・神経などから構成されています。これらの組織や器官の外傷や障害が主な原因となる運動器疾患や、加齢に伴う運動器の機能低下によって、バランス機能、巧緻性、運動速度、反応時間、感覚などが低下してしまいます。結果的に病態の悪化や転倒のリスクなどを高めることになるため、運動器の健康を長く保ち続ける必要があります。この授業では、運動器疾患の病態を学び、予防とリハビリテーションについて考えていきます。

【到達目標】
代表的な運動器疾患の病態やリハビリテーションの方向性について理解し、各疾患について口頭で簡単な説明ができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 運動器の基礎知識
第2回 外傷・障害の発生メカニズムについて考える
第3回 変形性膝関節症とリハビリ
第4回 変形性股関節症とリハビリ
第5回 半月板損傷、靭帯損傷とリハビリ
第6回 腰椎椎間板ヘルニアとリハビリ
第7回 脊柱管狭窄症、脊椎圧迫骨折とリハビリ
第8回 その他の疾患・まとめ

【学生へのメッセージ】
各疾患とリハビリテーションに関する内容なので、その場で少し体を動かしていただくこともあるかもしれません。服装などはいつも通りで構いません。

【受講前の準備学習等】
・事前学修：シラバスに記載されている運動器疾患についてインターネットで調べたり、専門書などを読んだりすることで、各疾患の基本的な定義、原因、症状について自己学習に努めてください。
・事後学修：授業の中で強調された点や疑問に感じた点を復習し、自分なりに整理したうえで、新たな疑問を生み出すきっかけを作り、運動器疾患に対する理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
レポート課題は「健康づくりのための運動は重要である。しかしながら、運動を実施できている方とできていない方に分かれる。では、なぜこのような違いが生まれるのか、原因について考えなさい。また、運動を実施できていない方がこの先、運動を気軽に始めるためにはどのような対策や施策が必要か、身近なことから地域の取り組みまで幅広い観点から私見を述べなさい。」です。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689162		
学習センター	広島学習センター（福山）		
学習センターコード	34S		
クラスコード	Q		
科目名	**心理学実験3**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	タカサワ　ケンジ 髙澤　健司 福山市立大学教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25		
実施会場	福山サテライトスペース	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 心理学における実証的アプローチの基本を学びます。受講生は自ら実験者および被験者となって心理学実験の実習を行い、目的、手続き、データの収集と分析、結果の整理と考察から構成される心理学研究の基本的な流れを体得すると同時に、それらを文章化してレポートにまとめます。原則として８回の授業すべてに出席し、実施する全ての実験テーマについてレポートを作成し提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 オリエンテーション（心理学実験とは） 第2回 実験１（鏡映描写）の実施 第3回 実験１の結果整理と分析 第4回 実験１のレポート作成について 第5回 実験２（囚人のジレンマ）の実施 第6回 実験２の結果整理と分析 第7回 実験２のレポート作成について 第8回 心理学実験における倫理と作法 **【学生へのメッセージ】** ２つの実験レポートを書くということは大変な作業となりますが、実験は心理学という学問の成り立ちを知る上で非常に重要な位置づけになっています。実際に実験に触れて心理学の面白さも共有したいと思います。 **【受講前の準備学習等】** インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 また、放送大学のキャンパスメールの使用方法も確認しておいてください。 授業で GoogleClassroom を使用するので、GoogleClassroom についてインターネット等で確認しておいてください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありませんが、各実験レポートにおいてExcelでグラフや表の作成が必要とされるので、作成できるようにしておいてください。また、心理学研究法（観察法、実験法、調査法など）について理解を深めてください。そして、心理学レポート（心理学論文）の流れについて理解した上でレポートを作成してください。 この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 後日提出の各実験レポートの内容を総合して評価します。
			【受講者が当日用意するもの】 １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 ノートパソコンはUSBメモリを使用できる状態にしておいてください。 ２．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 ３．ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Word 、Excel 、PowerPoint が必要です。 ４．その他 ・USBメモリ（４GB以上）を持参してください。 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバーション指定はありません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用するため、事前に基本的なパソコンの操作（Word、Excel、インターネットブラウザ等）を習得していることが求められます。放送大学のキャンパスメールを使用するため、システムWAKABAにログインするIDとパスワードを確認しておいてください。

科目コード	2697114	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 知・情・意の側面を含むその人の全体的な特徴を表す概念としてパーソナリティがあり、私たちはそれぞれ固有のパーソナリティを持っています。また、私たちは日々の生活の中でさまざまな感情を抱いています。こうしたパーソナリティや感情は、どのような成り立ちや機能を持ち、どのように私たちの行動に影響しているのでしょうか。またそれらは、心の健康や日常生活への適応とも深く関わっています。本科目ではこのようなテーマについて考えていきます。 **【到達目標】** ・パーソナリティや感情の諸理論について理解し、基礎概念を説明できる。 ・パーソナリティや感情が対人関係や心理的適応にどのように関わるかを、多角的な観点から考察し、自分の意見を述べることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 パーソナリティの理論 第2回 パーソナリティの測定 第3回 感情と認知 第4回 感情と動機づけ 第5回 対人関係とコミュニケーション 第6回 パーソナリティと適応 第7回 感情と適応 第8回 まとめ **【受講前の準備学習等】** 本授業はタブレットやスマートフォン等でも受講できますが、パケット通信量に制限等がある方は、学習センターの無線 LAN を利用できます。利用方法はシステムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 パーソナリティや感情、対人関係、適応のテーマについて、事前に基礎概念を調べ整理しておいてください。また、個人差が対人関係や心理的適応にどのように関わるかについて、自分の考えをまとめておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	広島学習センター（福山）		
学習センターコード	34S		
クラスコード	Q		
科目名	**心と適応**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ヤマサキ　リオ 山崎　理央 福山大学教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	福山サテライトスペース		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 種類は問いません（ノートパソコン、タブレット、スマートフォン）。 ２．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 ３．ソフトのインストール ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2697122	**授業概要**	**【授業内容】** 本講義では、インバウンド観光を経済の視点から捉え、その仕組みや経済効果、関連政策、国際比較などを学びます。また、サービス貿易としての国際観光、為替・物価との関係、観光を通じた地方創生、国際交流の促進、さらに現代のインバウンド観光をめぐる課題と可能性を探ります。国際経済との接点を意識しながら、観光立国を目指す日本の未来像について、皆さんと共に考える授業にしていきます。 **【到達目標】** 受講生が、インバウンド観光を国際経済の文脈でとらえ、訪日外国人旅行と貿易、地域経済、為替、雇用などとの関係を多角的に理解する力を養うことができる。そして、観光を通じた国際的なヒト・モノ・サービスの交流の実態を分析し、経済的・社会的な意義を捉える視点と、地域や国家の政策を評価する力を身につけることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 インバウンド観光とは何か 第2回 インバウンド観光の経済効果 第3回 観光市場の構造変化と国際経済 第4回 観光政策とインフラ整備の重要性 第5回 観光コンテンツの開発と地域振興 第6回 オーバーツーリズムと文化摩擦 第7回 持続可能な観光と国際経済の調和 第8回 日本の観光ブランドと国際競争力強化 **【学生へのメッセージ】** 観光は今や一国の経済にとどまらず、国際的な人の移動、貿易、文化交流、地域開発などに深く関わる重要な分野です。日頃から観光や国際情勢のニュースに関心を持ち、身近なテーマとしてとらえる視点を養ってください。 **【受講前の準備学習等】** インバウンド観光と関連する経済用語（訪日観光客数、消費額、観光収支、ビザ政策、観光立国、グローバル人材、地域創生）について、事前にインターネットなどで調べておいてください。また、「為替変動と外国人観光客数」、「国際イベントと地域経済への波及効果」などのテーマに関心を持ち、観光と経済の接点を意識するよう努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	広島学習センター（福山）		
学習センターコード	34S		
クラスコード	Q		
科目名	**インバウンド観光と国際経済**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	クオン　ボンキ 権　俸基 放送大学広島学習センター客員教授／広島文化学園大学名誉教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	福山サテライトスペース		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2697068
学習センター	広島学習センター（福山）
学習センターコード	34S
クラスコード	Q
科目名	**日本史学としての地域探訪**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	カモガシラ　トシヒロ 鴨頭　俊宏 放送大学広島学習センター客員教員
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:40～15:10 第４時限 15:20～16:50 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【１日目：★しんいち歴史民俗博物館（福山市）・★上下歴史文化資料館（府中市）、２日目：福山サテライトスペース】で行います。

授業概要

【授業内容】
自身の生まれ育った地域社会は、いかなる歴史を歩みながら成り立っているのか。このテーマについて本授業は、日本史学、特に近世史研究の立場から、現地での史跡および資料館の見学（見る・聞く）と当該地域に関する史料の読解とを行いつつ、解決するための目と思考力を養うものにします。今回は、備後エリアで江戸時代も内陸交通の要衝であった地域社会のなかから、新市と上下２つを選びました。当時、新市は福山藩領なのに対し、上下は幕府直轄地として栄えます。双方の歴史を対比的に学びながら、歴史学の基礎力を身につけます。

【到達目標】
（１）１つの地域社会につき、現地のフィールドワークおよび資料館見学を通して歴史像をイメージできるようになる。
（２）フィールドワークおよび資料館見学で得た歴史像と、文字史料の読解をとおし得られた歴史像とを照らし合わせながら、特に近世について正しく歴史像を検証できるようになる。
（３）２つの異なる地域社会につき、歴史の共通点と相違点を考察して説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 しんいち歴史民俗博物館の見学
第2回 新市における歴史的町並みのフィールドワーク
第3回 府中市上下歴史文化資料館の見学
第4回 上下における歴史的町並みのフィールドワーク
第5回 地域史料の読解入門
第6回 新市に関する地域史料の読解
第7回 上下に関する地域史料の読解
第8回 まとめ　―地域史学習を考える―

【学生へのメッセージ】
第１日目には、マイクロバスで移動しながら資料館の見学や近隣史跡を探訪するフィールドワークを実践します。以下の「当日用意」「その他（特記事項）」欄に目を通すとともに、後日のキャンパスメールによる正式なお知らせにもご注目ください。

【受講前の準備学習等】
図書館の郷土資料コーナーに足を運び、新市や上下、ないし福山市域の歴史に関する文献資料を少しずつでも読んでおいてください。そして、各地域史の大まかな流れやポイントを頭のなかで整理しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
２日間共通：筆記具とノートまたはメモ用紙
１日目：歩きやすい服装と靴、昼食（※途中、道の駅びんご府中で昼休憩の時間を設ける予定です）

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
講義の順番は多少変更するかもしれませんが、できるだけわかりやすく説明するために改善した結果ですので、ご了承ください。授業料とは別に、バス代3,000円程度が必要です。詳細については、受講生の方へキャンパスメールにて別途お知らせします。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧（P5参照））

科目コード	2697130	**授業概要**	**【授業内容】** 本講義では、ヒトや動物の歩行を題材として、歩行がどのような身体の働きによって成り立っているのかを学びます。生き物の多様な移動様式を出発点とし、歩行に関与する中枢神経系および筋骨格系の仕組み、感覚情報の役割、反射や周期的な運動の特徴を通して、歩行の仕組みを理解します。 さらに、ヒトの歩行の特徴、歩行の計測方法、成長・加齢に伴う歩行の変化について学ぶとともに、ロボットや機械学習などの技術分野における歩行の応用例についても取り上げます。 **【到達目標】** 歩行について、中枢神経系・筋骨格系・感覚情報、反射や周期的な運動の特徴、ならびに成長・加齢に伴う変化を踏まえ、効率よく運動するための仕組みがどのように成り立っているかを説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 生き物のさまざまな移動運動 第2回 歩行を支える身体のしくみ：筋肉と脳 第3回 歩行を支える感覚情報 第4回 歩行を調整するしくみ：反射とCPG 第5回 ヒトの歩き方と成長・加齢による変化 第6回 歩行中の身体の動きと評価・計測 第7回 歩行の理解とロボット・機械学習 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** 「歩行を考える」という科目名のとおり、この授業では、普段は意識せずに行っている「歩く」という動きを、少し立ち止まって丁寧に見直します。ヒトの歩行を題材に、筋骨格系、脳・神経、感覚情報等がどのように関わって歩行が成り立っているのかを、段階的に学びます。あわせて、動物の歩行や、ロボットが機械学習によって歩行を学習する例も紹介します。専門的な内容も出てきますが、用語や考え方は一つずつ確認しながら進めますので、安心して取り組んでください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	山口学習センター		
学習センターコード	35A		
クラスコード	K		
科目名	**歩行を考える**		
科目区分	導入科目：生活と福祉		
ナンバリング	220		
定員	30名		
担当講師	ヒオキ　トモコ 日置　智子 周南公立大学講師		
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 12月13日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40		
実施会場	山口学習センター		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・カンデル神経科学　第２版（Eric R.Kandel　他編／株式会社　メディカル・サイエンス・インターナショナル／¥15,950／ISBN=9784815730550）
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2697149
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**健康寿命延長のための運動生理学**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ミヤタ　ヒロフミ 宮田　浩文 山口大学名誉教授／ 放送大学山口学習センター所長
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 12月20日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	山口学習センター

授業概要

【授業内容】
日本は世界でもトップクラスの長寿国ですが、平均寿命と健康寿命の差は依然として大きく、男女ともに10年前後あります。このギャップを解消するために必要になってくるのが、運動生理学的知識とその実践です。本授業では、長年にわたる運動生理学・動物細胞生理学の研究の成果をベースにして、健康を維持・増進するためのポイント等について解説します。内容によっては、簡単な実習も行う予定です。
【到達目標】
自分に合った運動処方を立案するために、運動生理学の基礎について理解し、論理的に適度な運動を実施できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 健康寿命とは何か：科学的背景と社会的意義
第2回 運動生理学の基礎：神経はどのようにして筋肉を動かすか
第3回 運動生理学の基礎：筋肉はどのようにして体を動かすか
第4回 加齢と身体機能の変化：なぜ衰えるのか
第5回 有酸素運動の生理学と実践
第6回 筋力トレーニングの生理学と実践
第7回 日常生活において運動以外に注意すべきこと
第8回 自分に合った運動処方の立案と実践
【学生へのメッセージ】
修得した知識を自分の生活改善に活かそうとする姿勢を持ってください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
日ごろから自分の運動量および食事内容の把握につとめてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
学生証、筆記用具を忘れないように。なお、２日目は軽くウォーキングをする予定ですので、運動に適した服装と靴で参加してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2697157
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**女性と運動習慣**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ソネ　リョウコ 曽根　涼子 山口大学教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 2027年1月10日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	山口学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、思春期から更年期、閉経後に至る女性の心身の変化と健康課題（無月経、更年期障害、骨粗鬆症など）を概観します。まず、月経の仕組みを学び、女性ホルモンが生殖機能以外に脳・心血管・骨の維持に果たす多角的な生理作用を、閉経前後の構造・機能変化から紐解きます。次に、これら諸臓器に対する運動の効用を科学的に解説します。一方で、過度な運動による無月経が将来の健康を損なうリスクについても言及します。最終的には、一生涯を通じて心身の健康を保つための、適切な運動習慣のあり方について自ら考えます。
【到達目標】
・女性の心身機能と女性ホルモンの関係を、月経や閉経のメカニズムに基づき説明できる。
・運動が脳、心血管、骨に及ぼす生理的な影響と、健康維持における効用を理解し、説明できる。
・生涯を通じた健康的な生活のために、運動習慣の重要性を認識し、ライフステージに合わせた運動計画を考案できる。
【授業テーマ】
第1回 女性の健康をめぐる現状と課題
第2回 月経周期の生理学：低栄養および過度な運動が無月経を招くメカニズム
第3回 女性ホルモンの多面的作用：脳・心血管・骨への影響と閉経による変化
第4回 運動が脳に及ぼす影響
第5回 運動が心血管系に及ぼす影響
第6回 運動が骨に及ぼす影響
第7回 更年期症状と運動
第8回 女性のライフステージ別に運動を考える（まとめ）
【学生へのメッセージ】
本授業では、単に知識を得るだけでなく、学んだ内容を自分や身近な人の生活にどう応用するかを考えます。一生涯の健康を支える運動習慣について主体的に考える力を養いましょう。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689146
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験２**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	オノ　フミノリ 小野　史典 山口大学准教授 オキバヤシ　ヨウヘイ 沖林　洋平 山口大学准教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 10月18日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	山口学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学における実験的研究を4つ取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に実験者あるいは参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することをめざします。受講生の皆さんは、原則として８回の授業全てに出席し、４つの実験についてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 実験１：記憶範囲（小野）
第2回 実験１のデータ整理と分析（小野）
第3回 実験２：メンタルローテーション（沖林）
第4回 実験２のデータ整理と分析（沖林）
第5回 実験３：自由再生による記憶の系列位置効果（小野）
第6回 実験３のデータ整理と分析（小野）
第7回 実験４：要求水準（沖林）
第8回 実験４のデータ整理と分析（沖林）
【学生へのメッセージ】
この授業は自分用パソコン持ち込み方式(BYOD：Bring Your Own Device)のため、ノートパソコンの持参をお願いします。
エクセルの基本操作ができることが望ましいです。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし､実習課題について､あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。
事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」､「心理学研究法（'20）」､「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です)。
２．OSの指定
　Windows11が必要です。
３．ソフトのインストール
　ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。Word、Excelが必要です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2697165
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**心理カウンセリング基礎演習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ナカシマ　マサオ 中島　正雄 放送大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月1日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	山口学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では心理カウンセリングにおける基本的な考え方や技法について、講義だけではなく、ペアワークやグループワークの演習を通して理解することを目指します。特に、心理カウンセリングを行う土台となる、カウンセラー側である自分自身について理解を深めることを目指します。具体的には自分自身の自己表現のあり方、自分自身のストレス状態の把握や付き合い方について理解を深めます。

【到達目標】
心理カウンセリングを行う自分自身の心理ストレス状態を的確に把握することができるようになる。また、心理カウンセリングにおける自分自身の関わりの特徴（コミュニケーションの在りよう）を自覚することができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 オリエンテーション。心理カウンセリングについて（講義）
第2回 ウォーミングアップ（演習）
第3回 ストレスマネジメント（講義）
第4回 ストレスマネジメント（演習）
第5回 心理カウンセリングにおける自己表現（講義）
第6回 心理カウンセリングにおける自己表現（傾聴）（演習）
第7回 心理カウンセリングにおける自己表現（アサーション）（演習）
第8回 まとめ（講義）

【学生へのメッセージ】
心理カウンセリングにおける基礎的な演習内容です。ペアワークやグループワークを行いますので、マナーを踏まえて、他の参加者と協力しながら、主体的に参加してください。

【受講前の準備学習等】
この授業を受講する前に、学部科目「心理カウンセリング序説」等を受講するなど心理カウンセリングに関する知識をある程度得ておくことをお勧めします。また、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2697173
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**地域食農マネジメント**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ミヤイ　ヒロシ 宮井　浩志 山口大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 10月18日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	山口学習センター

授業概要

【授業内容】
グローバル化によって食料関連産業は世界的に寡占化が進み、我々を取り巻く食と農のあらゆる仕組みは「フードシステム」と呼ばれる新たな枠組みに統合されつつあります。その一方で、地産地消など食と農のローカル回帰に向けた運動が世界規模で高まりを見せつつあります。
本講義ではグローバリズム下におけるフードシステムの仕組みや課題を理解した上で、そうした中での食や農を中心とした地域産業のマネジメントに関するケーススタディを行い、地域の食と農を今後どのように展開・統治していくべきかについて考える力を身につけます。

【到達目標】
グローバリズム下における食と農のフードシステム化の現状や諸問題、それに対抗する地域資源を活かした地域産業のマネジメント手法を理解することができる。その上で、地域内のアクターによる共存・共生・共創を通じたよき食と農のマネジメントについて的確に判断し、その展開方向について論じることができる。

【授業テーマ】
第1回 グローバリズム下におけるフードシステムの現状と問題
第2回 食と農を取り巻く環境変化とマーケット
第3回 地域課題とは何か：農山村地域を取り巻く現状と問題
第4回 農業とは何か：園芸農業の構造と産地マネジメント
第5回 地域資源と共同・共創の論理：経営学に基づくリソースと付加価値のマネジメント
第6回 ケーススタディ ：危機を契機としたソーシャル・イノベーションの事例
第7回 ケーススタディ ：地域と人間中心のマネジメントによる産地リノベーションの事例
第8回 よき地域の食と農のマネジメントの展開に向けて

【学生へのメッセージ】
カンブリア宮殿やガイアの夜明けなど、最新の地域課題や地域の食・農関連企業やを多く特集したTV番組を積極的に視聴するようにしてください。

【受講前の準備学習等】
自身の出身地や関心を持つ地域の地域資源、地域内の食農関連産業や企業についてあらかじめ調べてメモを作り、受講時に持参してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・地域産業の経営革新と流通・マーケティング戦略：地域産業の振興と地域創生（西田安慶・岡本純・岩本勇・河田賢一・丸山一芳／千倉書房／¥3,300／ISBN=9784805112984）
・地域産業の発展と主体形成：食と農、資源を活かす（北川太一／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595141348）
・フードシステムと日本農業（新山陽子／放送大学教育振興会／¥3,190／ISBN=9784595323454）

【その他（特記事項）】
8回目の講義後に最終レポートを作成・提出します。所定の用紙に手書きする以外に、持ち込んだスマートフォンやタブレット、パソコン（ノートPC推奨）でレポートを作成して提出しても構いません。ただし、学習センターには学生が使用できるプリンタはありませんので、キャンパスメールに作成したファイルを添付して提出します。提出先は授業当日に指示します。提出様式はMicrosoft Word（バージョンは問いません）、もしくはPDFファイル形式とします。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。また、端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

科目コード	2697181
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**パーソナルファイナンス**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	マエダ　ナオヤ 前田　直哉 山口大学准教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月1日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	山口学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業の目的は、多様なライフスタイルの中でライフデザイン（個人の人生の価値観や目的）の重要性を理解するとともに、その実践手法であるライフプランニングを行う力を身に付けることです。本授業では「老後資金計画」と「相続・事業承継」を取り上げます。
【到達目標】
老後資金計画を立てることができるようになる。相続の基本と相続税が理解できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 老後資金計画
第2回 相続と法律①：相続と相続人、相続分、代襲相続
第3回 相続と法律②：遺産分割、相続の承認と放棄、遺言、成年後見制度
第4回 相続と法律③：演習
第5回 相続税①：相続税、相続税の課税財産、相続税の非課税財産
第6回 相続税②：債務控除、相続税の計算、相続税の申告、相続税の納付
第7回 相続税③：演習
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
アクティブラーニングとグループワークを取り入れた授業を行いますので、受講生の皆さんには積極的な参加を期待しています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
電卓
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
実習課題への取り組みやレポート課題のためにパソコン、タブレット等を持参してインターネット検索しても構いません。
学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。また、端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

科目コード	2697190
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**DXを見る眼**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ユアサ　シュウイチ 湯浅　修一 山口大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月29日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	山口学習センター

授業概要

【授業内容】
DX（デジタルトランスフォーメーション）は、データとデジタル技術を活用して製品やサービス、ビジネスモデル、業務プロセスなどを大きく変えることにより、新たな価値を創出する取り組みです。この授業では、DXの基礎知識を学ぶとともに、企業の取り組み事例を通して、マネジメントの視点からDXを見る眼を養います。また、ワークショップやケーススタディでの議論を通して、データとデジタル技術を活用することの意義、DXによって地域の企業が新たな成長を目指す姿を学びます。
【到達目標】
・DXの概念や重要性を理解し、説明することができる。
・DXは、データとデジタル技術を導入することではなく、企業の場合は、競争上の優位性を確立するための取り組みであることを理解し、説明できる。
・自組織でデータとデジタル技術を活用して新たな価値を創出する取り組みをイメージすることができる。
【授業テーマ】
第1回 DXとは何か
第2回 データドリブン（データ駆動）
第3回 OA化の進展とデジタルプラットフォーム産業
第4回 企業におけるAIの活用
第5回 経営戦略とDX
第6回 DXの成功確率を高める
第7回 イノベーションとDX
第8回 地域発DX、これからのDX
【学生へのメッセージ】
実務経験3年以上で、自組織のDX推進に携わっている方のご参加を歓迎します。またデジタル技術に詳しくない方でも受講可能です。
【受講前の準備学習等】
事前に配布する授業スライドに目を通しておいてください。また、事前に配布するワークショップ教材、ケーススタディ教材を読んで、記載されている討議課題についてあらかじめご自身の考えをまとめた上で参加いただく授業があります。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2697203
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**「萩学」のすすめ**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	シミズ　ミツユキ 清水　満幸 放送大学山口学習センター客員教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～16:40 11月8日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限　11:10～12:40 第3時限　13:30～15:00 第4時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	この授業は、【★萩・明倫学舎交流室（山口県萩市江向602)】で行います。

授業概要

【授業内容】
城下町萩は江戸時代の「城下町絵図」を、今も地図として使うことができる「まち」です。それは、城下町起源の「まち」が大きく改変されていないことを意味します。その変わらなかった「ひみつ」を明らかにしつつ、だからこそ今に伝わる城下町＝都市の民俗文化や萩地域ならではの民俗文化に触れ、併せて萩地域の特徴ある近代化の過程を学びます。民俗学やいわゆる地域学の入口に立ち、より深める授業です。天候にもよりますが、萩城下町を体感するフィールドワークも実施します。
【到達目標】
地域に伝わる民俗文化に興味を持ち、かつ、それらに対して素朴な疑問を抱き、伝わる意味や意義について考える意識を持つようになる。またそのことで、多様な民俗文化を尊重するとともに、個々や地域に即した心豊かな暮らしを考えるようになる。併せて、個々や地域ならではの未来を自分なりに考えることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 城下町萩、変わらない「まち」のひみつ
第2回 人はなぜ、住吉祭りを囃すのか？ 城下町の都市的祭礼
第3回 人はなぜ、天神祭りに集うのか？ 城下町の都市的祭礼
第4回 初物を食べて東を向いて笑う？　「なぜ」から始まる民俗学
第5回 立春は年の初め？　クジラによって生かされてきた萩の人々
第6回 五島男女群島から南西へ2昼夜走り？　海を拓いた萩の人々
第7回 萩城下町体感フィールドワーク
第8回 萩城下町体感フィールドワーク
【学生へのメッセージ】
素朴な疑問を抱くことを大切にしたいと考えます。積極的に授業に参加し、受講者間で討議し共有できるような発問を歓迎します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断し、事前に山口県や萩市の民俗文化、地域資源の保全や活用に関わる書籍や情報などに接しておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
２日目はフィールドワークを実施予定ですので、動きやすい服装、靴等を準備してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・萩再発見 – 語り継ぎたい歴史と民俗 –（清水満幸／一般社団法人 萩ものがたり／¥660／ISBN=9784908242328）
・城下町萩のひみつ – 変わらない「まち」の魅力 –（清水満幸／一般社団法人 萩ものがたり／¥550／ISBN=9784908242335）
・萩の歴史的町並み 上巻　誕生から現在まで、萩の歴史的町並み 下巻　城下町と市町（大槻洋二／一般社団法人 萩ものがたり／¥660／ISBN=9784908242243）
下巻のISBNは「9784908242250」となります。定価（税込み）については、上巻、下巻各々の価格です。
・新・萩まちじゅう博物館 – 明日の観光を考えるキーワード –（西山徳明／一般社団法人 萩ものがたり／¥660／ISBN=9784908242397）
・私の日本地図 ⑬ 萩付近（宮本常一／未来社／¥2,420／ISBN=9784624924980）

【その他（特記事項)】
この授業は、萩・明倫学舎で行います。(現地集合・現地解散)［注］宿泊の斡旋はありませんので、必要な方は各自で手配してください。また、この授業の中で萩の街並みを歩きながら野外実習を行う予定ですが、天候により内容を変更する可能性があります。移動時間の都合により昼休みが短くなることがあります。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)

科目コード	2697211
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**「知己」から見る 司馬遷『史記』**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ナンブ　ヒデヒコ 南部　英彦 山口大学准教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月22日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	山口学習センター

授業概要

【授業内容】
中国古代、前漢王朝の武帝期を生きた歴史家である司馬遷が編纂した『史記』を題材として授業を行います。『史記』は紀伝体という歴史記述の体裁をもち、帝王の伝記を記した「本紀」と臣下の伝記を記した「列伝」を主体として成ります。本授業では、主に、列伝に収められた幾人かの伝記を取り上げ、これを「知己」（人が己の真価を知ること）という語をキーワードとして読み解き、司馬遷が是認した人々の生き方を押さえます。そのうえで、司馬遷自身の伝記である「太史公自序」をも取り上げて、司馬遷がどのような思いや考えに立って『史記』を編纂するに至ったのかを講じていきます。

【到達目標】
本授業を受講することにより､学生は『史記』列伝についての知識・理解を深めつつ、司馬遷の伝記制作が『史記』編纂の動機とつながることを理解できる。さらに漢文の訓読と現代語訳を用いる本授業の内容を理解することで、学生は授業の最後に行う筆記試験において、漢文資料の内容に対する学生自身の思考・判断を文章として表現できる。

【授業テーマ】
第1回『呂氏春秋』の「知音」の故事と『史記』の「知己」の語との関わり
第2回「管鮑の交わり」のありようを『史記』管仲伝を通して見る
第3回 刺客・豫譲が従う士の行動規範を『史記』豫譲伝を通して見る
第4回 韓非が語る遊説が困難な理由を『史記』韓非伝を通して見る
第5回 悲運の忠臣・屈原の生き方を『史記』屈原伝を通して見る
第6回 司馬遷が描く孔子の人生を『史記』孔子世家を通して見る
第7回 司馬遷にとっての著述の意味を『史記』伯夷伝を通して見る
第8回 司馬遷にとっての著述の意味を『史記』太史公自序を通して見る

【学生へのメッセージ】
配付する漢文資料は旧字体・繁体字の漢文に訓点（返り点・送り仮名）を施したものが主となります。これを読み下しながら授業を行いますので、学生は漢文訓読の初歩的知識を習得していることが望ましいと考えます。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断し、『史記』についての一般向けの翻訳書や解説書などを用いて自己学習に努めてください。また「参考書」として挙げた図書などを用いて漢文訓読の初歩的知識を得ておいてください。なお、「参考書」として挙げた図書は購入を必須とするものではありません。最寄りの図書館等で借りて参照する形で問題ありません。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・史記（貝塚茂樹／中公新書／¥792／ISBN=9784121000125）
一般向けの解説書です。
・史記を語る（宮崎市定／岩波文庫／¥858／ISBN=9784003313329）
一般向けの解説書です。
・司馬遷とその時代（東洋叢書８）（藤田勝久／東京大学出版会／¥3,080／ISBN=9784130130387）
研究者向けの専門書です。
・漢文の語法（西田太一郎／角川ソフィア文庫／¥1,782／ISBN=9784044006341）
漢文読解力を養うための、「漢文の語法」を体系的に解説する指南書です。
・漢文の読法　史記 游俠列伝（齋藤希史・田口一郎／角川書店／¥1,782／ISBN=9784044007881）
『史記』游俠列伝の原文を漢文の語法を解説しながら論理的に読み解こうとする、「漢文の読法」の指南書です。

科目コード	2697220
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**透視図法と美術表現**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ヤマグチ　イサオ 山口　功 美術作家・英語講師
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 12月6日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	山口学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、美術作品がなぜ作られるのか、どのような作品が優れた作品なのかを解説します。合わせて、どのような考えに基づいて自分の作品を洗練させるべきか、他人の作品を鑑賞する際の心構えについても考察します。また、遠近感を表現する代表的な技法である、透視図法（パースペクティブ）の仕組みや使い方を学びます。実際に、透視図法を活用した作品の制作と発表を行います。
【到達目標】
美術作品の基本的な構造を理解できる。透視図法（パースペクティブ）を理解し、作品制作で活用することができる。自ら設定したテーマに基づいて作品を制作することができる。自分の作品を洗練させることができる。
【授業テーマ】
第1回 美術作品とは何か
第2回 透視図法（パースペクティブ）の仕組み
第3回 建物の外観を透視図法で描く
第4回 室内を透視図法で描く・成果物の発表
第5回 優れた作品を作るまでの流れ
第6回 作品のテーマを絞り込む
第7回 透視図法を活用した作品制作
第8回 作品の発表・まとめ
【学生へのメッセージ】
本授業の半分は実技です。能動的に考え、手を動かし、制作してください。作品の発表には、積極的な参加をお願いします。
【受講前の準備学習等】
可能な限り、以下の準備を行ってください。
○ 透視図法（パースペクティブ）を解説している本に目を通す。
○ 鉛筆デッサンの入門書に目を通す。
○ 作品にしたいテーマを考えておく。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
スケッチブック（画用紙・A4サイズ程度）、鉛筆（H・HB・2B）、定規２本（60cm程度と20cm程度）、デッサン用練りゴム、消しゴム、鉛筆削り
※ 鉛筆は「三菱鉛筆ハイユニ」などデッサンに向くものが望ましい。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2697238
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**彫刻と文明社会**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ウエハラ　カズアキ 上原　一明 山口大学教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 2027年1月10日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	山口学習センター

授業概要

【授業内容】
人類の文明黎明期から現代にいたる社会状況の変革と彫刻表現との関係を解説します。文化財復元や近現代彫刻について講義します。
【到達目標】
古代から中世彫刻の社会的関係性を説明することができる。
文化財復元の重要性や近現代彫刻の社会的関係性を説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 彫刻とは何か
第2回 インドの宗教遺跡と彫刻
第3回 日本の仏像彫刻
第4回 首里城復興　正殿向拝奥の彫刻物　「牡丹に獅子、唐草復元」
第5回 山口大学共育の丘　「石彫方位盤」
第6回 世界の彫刻シンポジウム
第7回 イサムノグチの彫刻
第8回 高村光太郎の彫刻
【学生へのメッセージ】
人類の文明社会形成と彫刻制作の関係とその理由を学習することができます。新たな価値意識を開花させましょう。
【受講前の準備学習等】
各テーマにおいて、図書館やインターネット等で調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具、ノート
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2697246
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**プレートテクトニクスと付加体**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ハマハシ　マリ 浜橋　真理 山口大学講師
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～16:40 11月15日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限 11:10～12:40 第３時限 13:30～15:00 第４時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	この授業は、【1日目1時限～4時限 山口学習センター ・2日目1時限～4時限★秋芳洞、美祢市立秋吉台科学博物館】で行います。

授業概要

【授業内容】
私たちが住む日本列島は、複数の「プレート」の境界に位置し、地震や火山をはじめとする多くの自然災害が起きています。プレートが沈み込む場所では、どのような地質が形成され、どのように地層や岩盤が変形し、地震などが発生するのか、プレートテクトニクスの観点と、沈み込み帯に分布する「付加体」の陸上調査や海洋調査により得られる知見から学びます。２日目には秋吉台・秋芳洞（山口県美祢市）を見学し、ペルム紀付加体の地質やカルスト地形を観察します。
【到達目標】
私たちが住む日本列島の成り立ちを理解し、身近な場所の地質の成り立ちや、なぜ地震などの自然災害が起きるのか、知識をもとに考え、説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 プレートテクトニクスと沈み込み帯：付加体形成、断層形成、地震発生帯について
第2回 沈み込み帯の海洋掘削から明らかになる海洋底層序と付加体の発達史
第3回 陸上に分布する付加体から学ぶ日本列島の成り立ち、構造発達史、地震発生帯の断層岩
第4回 沈み込み帯に分布する主要な岩石と岩石鑑定
第5回 美祢市秋吉台・秋芳洞の観察：ペルム紀の付加体と石灰岩・カルスト地形の成り立ちについて
第6回 美祢市秋吉台・秋芳洞の観察：ペルム紀の付加体と石灰岩・カルスト地形の成り立ちについて
第7回 沈み込み帯で起こる自然災害とその対策
第8回 まとめ：掘削、陸上調査、物理観測など多角的なアプローチから沈み込み帯と付加体について学ぶ
【学生へのメッセージ】
地質学は私たちにとって身近な学問です。直接手にとって観察し、地球の歴史と現在を調べる楽しさを一緒に学びましょう。１日目の4限目は山口大学構内にある岩石標本室の見学を予定しています。２日目の野外観察（美祢市秋吉台・秋芳洞）では野外や洞窟内を歩くので、岩場を歩ける靴を準備してください（ハイヒールや草履は不可）。
【受講前の準備学習等】
自分が住む場所の地質の成り立ちや災害情報を調べ、なぜそのような地質が分布しているか、どのような自然災害が起こりうるか、災害への備えについて考えておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
この授業の２日目午前は秋吉台（山口県美祢市）において野外実習を行う予定ですが、天候により内容を変更する可能性があります。野外実習は学習センターで用意する貸切バスで移動します。自家用車での移動は認められません。移動時間の都合により昼休みが短くなることがあります。貸切バス代、入場料等として 4,000 円程度の経費が別途必要です。授業当日に集金します。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2697254
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**森と茶の科学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	310
定員	30名
担当講師	シバタ　マサル 柴田　勝 山口大学教授
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～16:40 11月22日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:10～12:40 第３時限　13:30～15:00 第４時限　15:10～15:55 試験・レポート等　15:55～16:40
実施会場	山口学習センター

授業概要

【授業内容】
山口には中国山地の入り口として暖温帯の林が広がり、多様な環境ストレス下で樹木が生育しています。本授業では、構内の植物の葉、山口の天然記念物調査を通して、樹木の形態的規則性や光・水などの環境要因への適応戦略を学びます。あわせて山口の産業である茶に着目し、製茶実習や成分・味の分析を通じて、樹木生理と利用を科学的に理解します。

【到達目標】
学生は樹木の形や生理機能の関係を実測データに基づいて理解し、さらに地域に適応した樹種（山口の天然記念物を含む）の特徴について説明できるようになる。また、学生は山口の産業としてのお茶に焦点をあて、茶の栽培と主要成分・味との関係を科学的に説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 植物としての樹木
第2回 樹木の形からみた規則性
第3回 樹木と森の生存１（山口の天然記念物を含む）
第4回 樹木と森の生存２（山口の天然記念物を含む）
第5回 茶とチャノキの歴史
第6回 茶の科学
第7回 お茶づくり
第8回 山口のお茶

【学生へのメッセージ】
科学的な視点を持つことで、今まで結びつかなかったものが繋がり、新しい世界が見えることがあります。本講義により、多様な視点をもってもらえればと思います。

【受講前の準備学習等】
１日目は樹木について学びます。普段、何気なく接してる樹木が、どのような環境で生育しているかについて、少しだけ目を向けてください。また、２日目に茶の試飲や製茶を行います。普段どのような場面で茶が飲まれているのか、家で飲む茶の味や雰囲気をよく観察しておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
当日は、製茶などを行います。茶のアレルギーなどがありましたら、事前に相談してください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この授業は実習を伴います。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。
（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2697262
学習センター	山口学習センター
学習センターコード	35A
クラスコード	K
科目名	**土壌の微生物**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	ヨコヤマ　カズヒラ 横山　和平 山口大学名誉教授／ 放送大学山口学習センター客員教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～16:40 11月29日(日) 第1時限　9:30～11:00 第2時限 11:10～12:40 第3時限 13:30～15:00 第4時限 15:10～15:55 試験・レポート等 15:55～16:40
実施会場	この授業は、【山口学習センター、2日目第5～6時限★山口大学構内】で行います。

授業概要

【授業内容】
土の中の微生物の働きと生態について、簡単な野外観察を含めて理解を深めます。また、微生物の分布と活動の強さに影響を与える土壌要因を理解します。続いて、土壌中での植物養分の動態に関与する微生物や、植物と微生物の相互作用について理解を含め、簡単なフィールドワークによりキャンパス内の土壌を観察します。最後に、作物生産と土壌微生物の関係を取り上げる上で、有機JASについて説明します。
【到達目標】
・土壌の特性が土壌微生物の生息に与える影響を推察できる。
・土壌微生物が植物の栄養の供給源になることを説明できる。
【授業テーマ】
第1回 微生物の住み場所としての土壌の特性
第2回 土壌微生物の多様性
第3回 微生物の代謝と温室効果ガスの消長
第4回 窒素の化学的形態変化に関与する微生物
第5回 植物根と微生物
第6回 水田土壌の化学と微生物反応
第7回 フィールドワーク
第8回 有機栽培の考え方
【学生へのメッセージ】
この授業では、微生物の代謝や土壌特性の理解のために、元素記号、化学反応式、化合物の構造、酸化と還元などの化学の知識を使います。
【受講前の準備学習等】
・以下の元素名について、それらをあらわす元素記号を予め一覧にしておいてください。
炭素、窒素、酸素、水素、リン、ケイ素、アルミニウム、カリウム、カルシウム、マグネシウム、鉄
・以下の語句について、簡単で良いので、各自調べておいてください。
毛管現象、細胞、遺伝子、
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
野外を散策しながら観察する時間があるので、汚れてもよい服、散策に適した運動靴、タオル、帽子などを用意してください。また、少雨でも野外に出ますので必要があれば雨具や雨合羽も用意してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
この科目は2008年度以前「専門科目：自然の理解 」に該当します。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2697297	**授業概要**	**【授業内容】** ドラマや映画など映像の翻訳には、文章の翻訳とは違った制約があります。 吹替や字幕のルールを学んで、映像翻訳が実際にどのように行われているのか、映像翻訳に見られる文化の現れについて考えていきます。また、実際に字幕や吹き替えの作成に挑戦していただきます。 **【到達目標】** ・吹き替えや字幕のルールを学び、翻訳に挑戦できる。 ・言葉の中に含まれる文化的背景などをくみ取り、理解できる。 **【授業テーマ】** 第1回 映像翻訳とは 第2回「ホリデイ」 第3回「アイ・アム・サム」 第4回「マイ・フェア・レディ」 第5回 "Pride and Prejudice" 第6回「となりのトトロ」 第7回「君の名は。」 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** まずはシーンをじっくり聞き取り、理解し、それから翻訳へと進んでいきます。一緒に楽しんで学んでいきましょう。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。取り扱う映画を見たことがなくても問題ありません。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	徳島学習センター		
学習センターコード	36A		
クラスコード	K		
科目名	**映像翻訳に挑戦２**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	40名		
担当講師	カワバタ　サラ 川端　新 四国大学准教授		**【受講者が当日用意するもの】** 英和辞典（電子辞書があればそちらの方がいいかもしれません）。スマートフォンのアプリなどを使用していただいても構いませんが、レポート作成の際はスマートフォンの使用はできません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 2027年1月10日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		**【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。
実施会場	徳島学習センター		

科目コード	2697300	**授業概要**	**【授業内容】** ベトナムの歴史・文化から日常生活、食文化、言語、コミュニケーションまで幅広く学び、ベトナム社会への理解を深めることを目的とします。基礎知識の習得に加え、ベトナム語の初歩的な表現を学ぶことで、旅行や交流の場面で活用可能な実践的能力を養います。授業内では、ベトナム茶やコーヒーの体験、ベトナム民歌を学ぶ活動を取り入れ、文化を感じながら理解を深めます。 また、ベトナムレストランでのフィールドワークを通して、教室内の学びを実体験へとつなげ、文化を体感する機会を提供します。さらに、気候や交通、医療事情などの生活情報に加え、ベトナム人特有のコミュニケーションスタイルや職場文化についても取り上げ、異文化理解を多角的に促進します。本コースを通じて、受講者がベトナム文化を身近に感じ、相互理解に基づいた円滑な交流が可能となる素地の形成を目指します。 **【到達目標】** ベトナムの歴史・文化・価値観や社会的背景を理解し、日本との相違点と共通点を考察することができる。 異文化コミュニケーションの視点から相互理解を深め、ベトナム人との協働や共生に必要な実践的知識と態度について理解できる。 **【授業テーマ】** 第1回 ベトナムの歴史と文化 第2回 ベトナム料理 第3回 ベトナム語入門（日常会話、食事の注文時に使うベトナム語、健康） 第4回 ベトナムの日常生活：気候、交通等 第5回 ベトナムでの医療事情 第6回 ベトナム語実践（フィールドワーク） 第7回 ベトナム人のコミュニケーションスタイル 第8回 ベトナム人の職場文化 **【学生へのメッセージ】** ベトナムの文化を体験・実感しながら異文化理解を深めましょう。楽しく気軽に参加し、多様な人々と協働する力を養い、新たな視点を得る機会にしてください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	徳島学習センター		
学習センターコード	36A		
クラスコード	K		
科目名	**ベトナム文化を味わう**		
科目区分	導入科目：人間と文化		
ナンバリング	220		
定員	20名		
担当講師	チャン　ホアンナム Tran HoangNam 徳島大学准教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
実施会場	この授業は、【2日目２時限のみ★ベトナムキッチン（徳島県徳島市東新町1-16-5)】で行います。		**【その他（特記事項)】** この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 本授業は日本語で講義します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照) ２日目２時限の授業はフィールドワークです。往路は徳島学習センターからタクシーに乗り合わせて約２㎞の距離を移動します。復路は３時限授業開始までに各自で（タクシー・徒歩などにより）徳島学習センターまで移動してください。タクシー代実費（１台約1，000円×利用台数／乗車人数）は自己負担です。 フィールドワークのレストランでは、ベトナム料理を体験することができます。食事代は自己負担（約1,000～1,500円）です。

科目コード	2697319
学習センター	徳島学習センター
学習センターコード	36A
クラスコード	K
科目名	**プラスチックとバイオ材料の科学**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	210
定員	40名
担当講師	ミナガワ　ケイジ 南川　慶二 徳島大学教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	徳島学習センター

授業概要

【授業内容】
プラスチックは柔軟性や成形性などの便利な性質を持ち、生活に欠かせない材料です。一方、プラスチックごみは環境問題の原因にもなっています。環境に配慮した材料として生物が作る天然物質があります。生物が進化の過程で創り出した物質は、省エネで高機能な材料です。単なる材料としてだけでなく、生物の構造や機能を模倣する技術も注目されます。
本授業では、プラスチックや生体材料、さらに生物機能の応用技術を学び、人工物と生物を対比しながら環境調和と持続可能な未来を考えます。簡単な実験をいくつか取り入れて理解を深めます。
【到達目標】
・身の回りの代表的なプラスチックを見分け、それぞれの特徴や用途を説明することができる。
・生物が作る物質のうち、身近な材料として使われているものを例示して特徴や用途を説明することができる。
・生物模倣技術（バイオミメティクス）の具体例を示し、生活や環境との関連を説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 プラスチックとは何か?「固くて柔らかい」不思議な物質
第2回 身の回りのプラスチック（実験）
第3回 プラスチックごみとリサイクル
第4回 生物が作る物質と人間の生活（実験）
第5回 医療用バイオ材料と人工臓器
第6回 生物を模倣し、生物を超える「バイオミメティクス」（グループワーク）
第7回 生物に学ぶ「バイオインスパイアード技術」（実験）
第8回 持続可能な社会と未来の材料
【学生へのメッセージ】
化学・物理学・生物学の用語が出てきますが、予備知識がなくても理解できるように平易に解説します。積極的に質問してください。簡単な実験も取り入れますが、難しく考える必要はなく、楽しく参加してください。
【受講前の準備学習等】
身の回りのプラスチック容器や包装材などがどんな素材でできているかインターネットなどで調べておいてください。できれば実物を持参してください。
「バイオミメティクス」をキーワードとして、インターネットなどで具体例をいくつか調べておいてください。
グループワークとして、各自が調べた例を紹介して意見交換する予定です。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
身の回りにあるプラスチック製の製品あるいは容器や包装材などを自由に選んで持ってきてください。（わざわざ購入する必要はなく、プラスチックごみで構いません。）そのプラスチックの物質名を、わかる範囲で調べておいてください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・海洋プラスチック　永遠のごみの行方（保坂直紀／KADOKAWA（角川新書）／¥1,056／ISBN=9784040823430）
・トコトンやさしいバイオミメティクスの本（下村政嗣編著、高分子学会バイオミメティクス研究会編／日刊工業新聞社／¥1,980／ISBN=9784526075278）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2697327
学習センター	徳島学習センター
学習センターコード	36A
クラスコード	K
科目名	**リンパ浮腫患者の看護ケア**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	イマイ　ヨシエ 今井　芳枝 徳島大学教授 モリ　タクヤ 森　拓也 京都大学特定助教
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	徳島学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、がんの終末期に生じやすいリンパ浮腫を理解して、適切に対処する方法を学んでいきます。リンパ管の構造やその特性を学びながら、演習ではリンパの流れを意識しながら身体の関節を動かす方法を習得していただく予定です。
【到達目標】
・がんの終末期に生じやすいリンパ浮腫を理解できる
・リンパ浮腫の発生機序が分かり、適切に対処できる
・リンパの流れを意識しながら身体の関節を動かす方法を習得できる
【授業テーマ】
第1回【講義】アイスブレーキングとリンパ浮腫を患う患者の体験世界（今井）
第2回【講義】リンパ浮腫とは（今井）
第3回【講義】リンパ浮腫に対する集学的治療（今井）
第4回【講義演習】リンパの管の基礎とリハビリテーション概要（森）
第5回【講義演習】リンパ浮腫に対する運動療法（森）
第6回【講義演習】上肢：リンパ浮腫に対するリハビリ（森）
第7回【講義演習】下肢；リンパ浮腫に対するリハビリ（森）
第8回 まとめレポート課題の説明（今井）
【学生へのメッセージ】
リンパ浮腫を理解して、自分の身体の解剖生理を理解しながら、リハビリを通して自分の力で対処できる力を身につけませんか？
【受講前の準備学習等】
受講前にシラバスの内容を読み、インターネット等で本授業内容に関し事前学習をしてください。A4用紙に手書きもしくはパソコンで下記３項目を書いた事前レポートを作成し、初回の授業開始時に提出してください。
(1) 受講動機、(2) リンパ浮腫に対して持っているイメージとその理由、(3) 本授業に期待する内容
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
演習科目があるので、タオルや飲水の準備をしてください。また、できる限り動きやすいジャージなどの服装で受講してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2689120	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 本授業では、心理学実験を頭と身体を使って体験的に理解し、結果の整理方法を修得することを目的としています。２日間を通して最低４種類の心理学実験（ミュラー・リヤー錯視、目撃者証言、情報伝達、概念学習）に参加していただきます（時間にゆとりがあれば、追加で別の実験も体験していただきます）。他の心理学実験の講義と同様に、原則として８回全ての授業への参加とすべての実習課題についてレポートを作成し提出することが求められます。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 第1回 心理学実験の概論とレポートの記述方法 第2回 第2回 実験１：ミュラー・リヤー錯視 第3回 第3回 実験２：目撃者証言 第4回 第4回 実験１・２：実験結果の整理 第5回 第5回 実験３：情報伝達 第6回 第6回 実験４：概念学習 第7回 第7回 実験３・４：実験結果の整理 第8回 第8回 まとめ **【学生へのメッセージ】** 実験には学生同士（ペア・グループなど）で行われるものがあり、能動的・主体的な参加態度が推奨されます。心理学実験の意義、醍醐味を味わっていただけると幸いです。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	徳島学習センター		
学習センターコード	36A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学実験１**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	コウダ　ムネナガ 甲田　宗良 徳島大学准教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	徳島学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具、カメラ機能付の携帯電話あるいはスマートフォンをご持参ください。それ以外に下記の端末を持ってきてください。 １．持参する端末：ノートパソコン。 ２．OSの指定：種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 ３．ソフトのインストール：Microsoft Office（Word, Excel, PowerPoint）が必要です。 ４．その他：ソフトのバージョン指定はありません。マウスを持参してください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会認定心理士資格認定委員会／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312） **【その他（特記事項）】** 心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 必須ではありませんが、Excelの基本的な使用方法に習熟していると受講がスムーズです。 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2689146
学習センター	徳島学習センター
学習センターコード	36A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験2**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	サトウ　ケンジ 佐藤　健二 徳島大学教授
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 2027年1月10日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	徳島学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目 登録してください。

受講生自身が実験者及び参加者となって基礎的な心理学実験を体験し、実施方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。原則として８回の授業全てに出席し、３つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学における実験の意味
第2回 実施方法及びレポートの書き方
第3回 パーソナルスペース：実験
第4回 パーソナルスペース：データ分析と考察
第5回 自由再生による記憶の系列位置効果：実験
第6回 自由再生による記憶の系列位置効果：データ分析と考察
第7回 メンタルローテーション：実験
第8回 メンタルローテーション：データ分析と考察
【学生へのメッセージ】
グループ作業がありますので、他者との意思疎通を含め、積極的な参加を受講条件とします。また、基本的なパソコン操作を習得されていることが望ましいこと、レポート課題の負担が大きいことを了承のうえ、履修してください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
また、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末：ノートパソコン。
2．OSの指定：種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。
3．ソフトのインストール：Excel，PowerPointが必要です。
4．その他：ソフトのバージョン指定はありません。
　マウスの使用を推奨します。
　レポート等は電子ファイルによる提出となるのでそのデータ等の保存のためのUSBメモリを用意してください。（市販されている一番安価なものでよい。）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・よくわかる心理学実験実習（村上香奈・山崎浩一（編著）／ミネルヴァ書房／¥2,640／ISBN=9784623081455）
　掲載内容と全く同じ実験を行うわけではありませんが、実験計画の立て方、データのまとめ方、解釈、レポートの書き方、などの参考書として紹介します。必要事項は授業内で説明し、実験用プリント配布もしますので、無くても不都合ありません。
・心理学基礎実験を学ぶ（第2版）（大和田智文・鈴木公啓（編著）／北樹出版／¥2,640／ISBN=9784779307034）
　掲載内容と全く同じ実験を行うわけではありませんが、実験計画の立て方、データのまとめ方、解釈、レポートの書き方、などの参考書として紹介します。必要事項は授業内で説明し、実験用プリント配布もしますので、無くても不都合ありません。

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのために AC アダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員 では対応できないため、自身で解決する必要がありますので ご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2696606	**授業概要**	**【授業内容】** 著作権法は著作物を保護と利用のバランスを図ることにより文化の発展に寄与することを目的とする法制度です。著作物には文化・芸術、エンタメ領域の表現を中心に広い意味で文化の領域に属する多様な表現が含まれます。 日々の生活の中で、明確に意識していなくとも、誰もが多くの著作物を利用し、また、著作物を創作しています。著作権法との関わりなしに生活できないといっても過言ではありません。 この授業では、著作権法の基礎を体系的に学び、応用問題として、生成AIと著作権の関わりなど今日直面する制度的課題についても検討します。 **【到達目標】** 著作物の利用者として、日常生活や仕事の現場で、著作権法上のコンプライアンスリスクのある行為を発見し、他人の権利を尊重して著作物を適切に利用するための基本的知識を身につけることができる。 創作者として、著作権法上有する自らの権利の内容を理解し、法的保護を受けたり権利を活用するための基本的知識を身につけることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 著作権法の全体像（教科書第１章） 第2回 著作物（教科書第2章） 第3回 著作者・著作者人格権（教科書第３章・第４章） 第4回 著作権とその制限（1）（教科書第５章） 第5回 著作権とその制限（2） 第6回 著作権とその制限（3） 第7回 著作権侵害と著作権の活用（教科書第８章・第７章） 第8回 生成AIの提起する著作権法の課題 **【学生へのメッセージ】** ハウツー的な知識を身につけることよりも、著作権法の基礎にある考え方を学ぶことを重視します。著作権法は何のためにあるのか、どうあるべきかを考えるきっかけになることを願っています。 **【受講前の準備学習等】** ・指定教科書はコンパクトではありつつ内容的に深みのある入門的教科書です。事前に全体を読んできてください（但、第６章は、時間の制約があるため授業で扱いません）。 ・「AIと著作権」に関する政策文書（文化庁、内閣府等）や信頼できる文献を探し、読んでおいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	徳島学習センター		
学習センターコード	36A		
クラスコード	K		
科目名	**著作権法の基礎**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	イノウエ　ユリコ 井上　由里子 放送大学教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	徳島学習センター		
			【教科書】 ・『著作権法入門〔第4版〕』（2024年）（島並良、上野達弘、横山久芳／有斐閣／¥2,860／ISBN=9784641243811）

科目コード	2697335
学習センター	徳島学習センター
学習センターコード	36A
クラスコード	K
科目名	**放電プラズマの生成と応用技術**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	テラニシ　ケンジ 寺西　研二 徳島大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	徳島学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

放電プラズマの生成と応用技術について、講義と実習を組み合わせて体系的に理解することを目的とします。授業の前半では、放電プラズマの基礎について学んだ後、受講者自身で放電電極を制作し、高電圧を印加してプラズマを発生させます。続く計測の実習では、プラズマの電気的・光学的特性を測定し、得られたデータからプラズマ内部の物理現象を考察します。授業の後半では、講師自身の研究成果を含めた放電プラズマの最新応用技術を紹介し、社会実装の最前線についても知見を深めます。

【到達目標】

・放電プラズマの生成と計測を通じて、放電プラズマの性質を説明することができる。
・放電プラズマの応用技術について説明することができる。

【授業テーマ】

第1回 放電プラズマの基礎（1） ～プラズマとは何？～
第2回 放電プラズマの基礎（2） ～大気圧低温プラズマの生成～
第3回 放電プラズマを発生させる（1） 放電電極の制作
第4回 放電プラズマを発生させる（2） 放電電極の制作～放電プラズマを観測する
第5回 放電プラズマを計測する　電気特性・光学特性の測定
第6回 放電プラズマの性質を理解する　～得られたデータの整理・解析～
第7回 放電プラズマの応用技術（1）
第8回 放電プラズマの応用技術（2）

【受講前の準備学習等】

・放電プラズマが皆さんの身の回りで、どのように使われているかをインターネットなどで調べておいてください。
・測定データはエクセルなどの表計算ソフトを使ってグラフ化しますので、表計算ソフトを用いた2Dグラフ（散布図）の作成方法をあらかじめ調べておいてください。
・インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。
2．OSの指定
　WindowsあるいはmacOSが必要です。
3．ソフトのインストール
　文書作成ソフトが必要です。WordやGoogleドキュメント等種類は問いません。
　表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いません。

【教科書】

授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】

充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2697343	**授業概要**	**【授業内容】** 暗号とは、第三者には読み取れないように、情報を秘匿する技術や手法を指します。特定の相手には解読でき、第三者には分からないように情報を安全に送るという暗号は、歴史的に軍事と深く結びついて発達してきました。前半では、シーザー暗号やスキュタレー暗号などの具体的な暗号の例を通じて、古典的な暗号と解読の手法について紹介します。後半では、現代の情報社会で使われている公開鍵暗号系についてRSA暗号の数学的な仕組みについて紹介します。時間に余裕があれば、量子計算機が実用化される未来に期待される耐量子暗号についても紹介したいと思います。 **【到達目標】** 古典的な暗号の仕組みを理解できる。また現代の暗号についても理解を深めることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 シーザー暗号やスキュタレー暗号など歴史上有名な暗号の紹介 第2回 換字暗号（かえじあんごう）の仕組みと「踊る人形」 第3回 転置暗号（てんちあんごう）の仕組みと「海野十三」 第4回 現代暗号と計算量の考え方 第5回 RSA暗号と「サマーウォーズ」 第6回 素因数分解と離散対数問題の計算困難性 第7回 素数判定法、ショアのアルゴリズム 第8回 耐量子暗号 **【学生へのメッセージ】** 暗号の歴史や、小説や映画で使われた暗号の例を通じて、暗号の仕組みの基本について理解してください。現代暗号や未来の暗号の仕組みに深く関わる数学の仕組みにも関心を持ってください。 授業中にスライドで解説する重点は、ノートに書いてください。 **【受講前の準備学習等】** ネットには、暗号について様々な記載があります。事前に（ただし信用のおけるサイトで）調べてみてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	徳島学習センター		
学習センターコード	36A		
クラスコード	K		
科目名	**暗号入門**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	40名		
担当講師	カタヤマ　シンイチ 片山　真一 徳島大学名誉教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	徳島学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** ノートと筆記用具を準備してください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・暗号解読〔上〕（サイモン・シン／新潮社／¥825／ISBN=9784102159729） ・暗号解読〔下〕（サイモン・シン／新潮社／¥781／ISBN=9784102159736） ・現代暗号入門　いかにして秘密は守られるのか（神永正博／講談社／¥1,078／ISBN=9784065020357） ・暗号の数理〈改訂新版〉（一松信／講談社／¥1,100／ISBN=9784062574907）

科目コード	2697351
学習センター	徳島学習センター
学習センターコード	36A
クラスコード	K
科目名	**大名蜂須賀家からみた近世**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	ネヅ　ヒサオ 根津　寿夫 徳島城博物館主任指導員
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月1日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【10月31日4時限のみ★徳島市立徳島城博物館(徳島市徳島町城内1番地の8)】で行います。

授業概要

【授業内容】
慶長５年（1600）関ケ原の戦いで勝利した徳川家康は、征夷大将軍に就任し江戸に幕府を開きました。徳川家による全国支配は、元和元年（1615）の大坂の陣を経て確立しました。徳川幕府は大名統制を進め、参勤交代により集権的国家を構築しましたが、他方で一国を領有した国持大名は分権的な支配を行い、独自の文化を育んだことは見逃せません。阿波・淡路両国25万７千石を領した蜂須賀家を素材として幕藩制社会における近世大名のあり方や地域に果たした役割について考えていきます。
【到達目標】
近現代社会の前提となるのが近世・江戸時代で、今日においても江戸時代に育まれた文化や伝統は散見される。これまで顧みられてこなかった近世大名蜂須賀家を通して、江戸時代や地域の特徴について考えることができる。
歴史研究の基礎資料である古文書の読解力や歴史を客観的に学ぶ姿勢を身に付けることができる。
【授業テーマ】
第1回 近世大名蜂須賀家の誕生
第2回 近世大名蜂須賀家の展開
第3回 大名家からみた幕末・維新
第4回 徳島城と御殿
第5回 参勤交代の社会史
第6回 女性からみた江戸時代
第7回 城下町の時代
第8回 近世大名蜂須賀家の残したもの
【学生へのメッセージ】
歴史を学ぶことで現代をより明確に理解することができます。歴史を学ぶにあたっては、資料をもとにして客観的に考えるとともに、その場に自分をおいて考えてみることも大切です。柔軟な発想や視点で歴史を考えてみましょう。
【受講前の準備学習等】
江戸時代とはどういう時代だったか、文献などで調べてみましょう。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
徳島城博物館入館料400円（特別展開催中）が必要です。

科目コード	2697360
学習センター	徳島学習センター
学習センターコード	36A
クラスコード	K
科目名	**中世～近代の徳島城下町通史**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	イシオ　カズヒト 石尾　和仁 佐那河内村学芸監
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【2日目３・４時限のみ★鷲の門周辺から福島橋周辺（鷲の門：徳島市徳島町城内1福島橋：徳島市福島1丁目1)】で行います。

授業概要

【授業内容】
徳島城下町がどのように形成されてきたのかを、その前段となる室町期の状況から説き起こします。そして、江戸時代の城下での人々の暮らしや明治以降の「徳島城址」の歩みについて、文字資料や絵図、考古資料、古写真など多様な資料を紹介しながら解説していきます。
また、徳島学習センター周辺のフィールドワークを行い、街角に残る歴史資料を見学します（雨天時は、教室で徳島市内が写された「古写真」を見ながら、町の変遷を紹介します)。
【到達目標】
徳島城下町、近代の徳島市の歴史を通じて歴史的なものの見方を養い、地域史の奥深さや面白さを体得することができる。
【授業テーマ】
第1回 中世の渭津
第2回 長宗我部元親と羽柴秀吉―織豊期の渭津・徳島―
第3回 初期の徳島城下町
第4回 城下町の暮らし
第5回 近代の徳島城址　その１　―廃藩置県と存城・廃城―
第6回 近代の徳島城址　その２　―公園整備と博覧会―
第7回 フィールドワーク～鷲の門周辺から福島橋周辺～
第8回 フィールドワーク～鷲の門周辺から福島橋周辺～
【学生へのメッセージ】
歴史を学ぶことの楽しさ・面白さを感じ取ってください。
【受講前の準備学習等】
徳島県立博物館や徳島市立徳島城博物館の歴史展示を見学して、地域史への関心を高めるとともに、『図説徳島県の歴史』（河出書房新社　※徳島県立図書館などに所蔵されています）をはじめとする概説書もご覧ください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
授業の中で、講義内容をまとめたプリントを配付しますので、筆記具を必ずご用意ください。フィールドワークを行います。野外で活動できる服装で参加してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2697270	**授業概要**	**【授業内容】** 国宝、重要文化財、史跡、名勝、天然記念物などが文化財として法律によって定められています。この授業では、その意義と重要性、保存管理のあり方について学びます。そして徳島市の徳島中央公園でのフィールドワークを通じて理解を深めます。徳島中央公園には徳島城址（国指定史跡）、旧徳島城表御殿庭園（国指定名勝）、城山の原生林（市指定天然記念物）といった文化財が存在しますが、それらの歴史を学び、現状を調査し、さらに保存管理の課題について考察します。 **【到達目標】** ・文化財について理解し、その種類と目的を説明できる。 ・徳島城址の歴史を理解し、今後の利活用についてヴィジョンを描くことができる。 ・旧徳島城表御殿庭園の価値を理解し、今後の管理についてヴィジョンを描くことができる。 ・城山の自然について理解し、植生の保全についてヴィジョンを描くことができる。 **【授業テーマ】** 第1回 文化財の種類と意義について 第2回 徳島中央公園と旧表御殿庭園の変遷について 第3回 フィールドワーク（1）：徳島城址の調査 第4回 フィールドワーク（2）：旧徳島城表御殿庭園の調査 第5回 森林や巨樹の価値と保護について 第6回 城山原生林のホルトノキの保全について 第7回 フィールドワーク（3）：城山の植物の現状調査 第8回 フィールドワーク（4）：20年前に植樹されたホルトノキの追跡調査 **【学生へのメッセージ】** 本授業は半分の時間を使ってフィールドワークを行います。午前中は徳島学習センターの教室で授業を行い、午後は徳島中央公園に移動し、庭園や城山の調査を行います。 **【受講前の準備学習等】** 徳島城が徳島中央公園に生まれ変わる経緯について、また城山のホルトノキの衰退と植樹について、文献のURLを下に記しますので目を通しておいてください。 https://tokushima-u.repo.nii.ac.jp/record/2002145/files/LID201312022001.pdf https://tokushima-u.repo.nii.ac.jp/record/2002539/files/LID201506105004.pdf **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	徳島学習センター		
学習センターコード	36A		
クラスコード	K		
科目名	**実例で学ぶ 文化財と自然保護**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	サトウ　マサヤ 佐藤　征弥 徳島大学教育教授		
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	この授業は、【1日目3・4時限、２日目3・4時限のみ★徳島中央公園（徳島市徳島町城内1番外)】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** フィールドワークがあるので、筆記用具とクリップボード（用箋挟）を持参してください。また、滑りにくい靴、破れにくい服装で来てください。 **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【その他（特記事項)】** 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2697378
学習センター	徳島学習センター
学習センターコード	36A
クラスコード	K
科目名	**地域と言語を学ぶ ー方言の世界ー**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	25名
担当講師	サコグチ　ユカコ 峪口　有香子 四国大学准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	徳島学習センター

授業概要

【授業内容】
本講義では、日本語の地理的多様性に着目し、方言の成立過程・分布・機能を体系的に学びます。まず「方言とは何か」という基礎的概念を整理し、日本語方言の形成過程や区画の考え方を理解します。そのうえで、方言分布の型や方言地理学の方法論を取り上げ、言語変異がどのように地域に広がり、保持されてきたのかを考察します。
さらに、様々な事例にも目を向け、方言が単なる地域差ではなく、社会的・文化的機能を担う存在であることを学びます。本授業を通して、受講者が各地方言の特徴を説明できる力を身につけるとともに、方言を地域社会との関わりの中で主体的に考察できるようになることを目指します。
【到達目標】
・日本語の地理的多様性を理解できる。
・各地方言の言語的な特徴を説明できる。
・方言の社会的機能について説明できる。
【授業テーマ】
第1回 方言とは
第2回 日本語方言の形成過程
第3回 日本語方言の区画
第4回 方言分布の型
第5回 日本の方言地理学
第6回 海外の日本語方言
第7回 気づかない方言
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
知識・技能の観点から方言の言語的特徴、社会的機能について理解できること、思考力・判断力・表現力等の能力の観点から資料から読み取れることを根拠を示しながら説明できることを目指します。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・はじめて学ぶ方言学ーことばの多様性をとらえる28章（井上史雄・木部暢子編著／ミネルヴァ書房／¥3,080／ISBN=9784623075201）
・ガイドブック方言研究（小林 隆・篠崎 晃一　編／ひつじ書房／¥1,980／ISBN=9784894761834）

科目コード	2697386
学習センター	徳島学習センター
学習センターコード	36A
クラスコード	K
科目名	**「鳴門・阿波の土柱」の地質探訪**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	イシダ　ケイスケ 石田　啓祐 徳島大学名誉教授
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	この授業は、【11月7日（土）徳島学習センター・11月8日（日）★「鳴門公園」観潮場（鳴門市鳴門町土佐泊浦）・「阿波の土柱」展望台（阿波市阿波町北山)】で行います。

授業概要

【授業内容】
四国の徳島には、日本列島の成り立ちを知る上で重要な文化資源が各所に存在します。本講義では、鳴門海峡の国名勝「鳴門」と、吉野川下流域に位置する国指定天然記念物「阿波の土柱」を取り上げて、現地見学を含めて、地形・地質の特色と見所を探訪します。１日目は室内講義、２日目は「鳴門」・「阿波の土柱」の現地見学と、車内での関連講義を行います。鳴門海峡の地質と渦潮形成のメカニズム、「土柱」が象徴する讃岐山脈と吉野川平野の成り立ちについて、中央構造線の運動や、後氷期の海面上昇（縄文海進）との関わりを探究します。

【到達目標】
讃岐山脈や鳴門海峡の成立に中央構造線の断層運動が与えた影響を探究するために、四国の地質概要と、プレート運動による中央構造線の活動履歴、吉野川平野の成り立ちと後氷期の海面変動の影響について理解し、地学関連文化資源としての「阿波の土柱」と「鳴門」の本質的な特徴を説明できるようになる。

【授業テーマ】
第1回 後氷期の海面上昇と吉野川平野
第2回 中央構造線と讃岐山脈・四国山地
第3回「鳴門」海峡の成り立ちと渦潮形成のメカニズム
第4回「阿波の土柱」地形・地質の特徴と見所
第5回 国名勝「鳴門」の現地見学実習
第6回 吉野川平野・四国山地・讃岐山脈の車窓見学実習
第7回 国天然記念物「阿波の土柱」の現地見学実習
第8回 まとめ総括授業

【学生へのメッセージ】
大きな時空スケールで地球の運動や環境変遷をイメージし、中央構造線の断層運動や氷河性海面変動が地形形成に与える影響について、讃岐山脈の成り立ちを象徴する文化資源「阿波の土柱」・「鳴門」を例に探究します。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、「中央構造線」、「讃岐山脈」、「鳴門海峡」、「阿波の土柱」、「和泉層群」、「四国山地」、「吉野川平野」、「沖積平野」、「縄文海進」、「氷河性海面変動」、「ミランコビッチ・サイクル」などの項目を､インターネット等で検索し、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは『地学関連文化資源として「阿波の土柱」・「鳴門海峡」の本質的特徴は、それぞれどのような点にあると考えますか｡』です。レポート提出方法などの詳細は当日お知らせします。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具一式。２日目は野外実習（バスでの移動）を伴いますので､フィールドワークに適した服装と靴で、帽子、タオル、飲み物、雨具（折り畳み傘等）並びに昼食を用意してください。２日目は「阿波の土柱」で、徒歩で数百m移動する予定です。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)
２日目は全員が徳島学習センターに集合し「鳴門」・「阿波の土柱」まで貸切バスで往復します。貸切バス代（約5,000円）は自己負担です。※既納の貸切バス代は返金されません。詳細については、受講生の方へ別途お知らせします。

科目コード	2697394
学習センター	徳島学習センター
学習センターコード	36A
クラスコード	K
科目名	**樹木年輪で読む 環境と歴史**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	50名
担当講師	ヨネノブ　ヒトシ 米延　仁志 鳴門教育大学教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10
実施会場	徳島学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

樹木年輪を「自然の暦」として扱う年輪年代学の基礎を学びます。年輪形成と誤差要因（偽年輪・欠損輪等）、試料採取とメタデータ、研磨・計測、年輪幅系列の品質点検、クロスデーティング、標準化と年表（chronology）作成を体系的に解説します。主要な統計指標は数式に頼らず意味を押さえます。さらに古気候復元・考古年代測定・森林攪乱解析への応用を、実例と図表読解を通して理解し、結果の不確実性・解釈限界・倫理（資料利用、公開）も扱います。面接授業として討議を交え、最終レポートで研究計画または研究レビューをまとめます。
【到達目標】
年輪形成（早材・晩材）と偽年輪・欠損輪等の誤差要因を説明できる。さらに、古気候・考古年代・森林攪乱の目的を比較し、目的に応じて採取計画を立案し、品質点検・クロスデーティング・年表作成の流れ、不確実性と限界・代替解釈、解釈範囲を整理して、文献3件以上を根拠に図表を用いて論理的にまとめた最終レポートを作成できる。
【授業テーマ】
第1回 年輪年代学の全体像：年輪で読む環境と歴史
第2回 年層（Annual Layers）概論：サンゴ・年縞・アイスコアが刻む「年」
第3回 木材年輪の構造と変動：木材組織・年輪形態と環境要因
第4回 Field & Lab Methods：採取・試料調整・観察・計測・基本QC
第5回 年代とは何か：自然科学的年代測定法の概要
第6回 クロスデーティング：一致の論理と実務手順（暦年決定）
第7回 年表（Chronology）作成：標準化・平均化と不確実性
第8回 応用統合：古気候・考古年代・森林攪乱と総括（レポート設計）
【学生へのメッセージ】
配布資料を事前に読み、毎回質問点を準備し、根拠を示して討議に参加してください。最終レポートは誤差と限界を踏まえ根拠を明記し、所定体裁（A4 2～4枚、図表可、引用3件以上）で期限厳守で提出してください。
配布資料・データの無断転載・再配布、剽窃は禁止です。撮影は指示に従ってください。
【受講前の準備学習等】
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
事前学習として各回の配布資料を読み、用語（年層・木材組織・年代測定）を調べ、関連図表・写真・データ例を確認して質問点をメモして参加してください。
事後学習として授業後48時間以内に要点を200字で整理し、演習内容と疑問点を再確認、文献を1件以上追加して最終レポート草案（目的・方法・限界）を更新し、最終回後に推敲して期限までに提出してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
１．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。
２．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。
３．ソフトのインストール
　表計算ソフトが必要です。ExcelやGoogleスプレッドシート等種類は問いません。
上記以外に、下記のものを持参ください。
・筆記用具、配布資料（印刷またはPDF閲覧できる端末）、ノート
・第１回～第４回：スマートフォン（あれば）、15cm定規（簡単なスケール感の理解・図表読解用）
・第５回～第８回：上記に加え、表計算が使えるノートパソコン
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
紙媒体でレポート提出してもらいますが、学習センターにプリンターはありませんので、自宅やコンビニ等で印刷してください。

科目コード	2697408	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** この授業では、日本語を実用的に使用するために、具体的に何に気をつけて、どのように書けばいいのかを、さまざまな練習を通して学びます。「伝わる日本語」を手にすれば、その応用範囲は広がります。 **【到達目標】** ・文章を整理し、理解しやすく、誤りのない状態に仕上げることができる。 ・文章のポイントを箇条書きやメモとしてまとめることができる。 ・文章の内容を、必要な情報を損なわずに要約することができる。 ・聞き手・読み手にわかりやすく伝えることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 イントロダクション：実用的な日本語とは何か 第2回 説明の文章と推敲 第3回 比較・対照とその準備 第4回 メモや箇条書き 第5回 文章の流れ 第6回 要約 第7回 キーワードを用いた文章作成 第8回 総まとめ **【学生へのメッセージ】** 美しい表現や文学的な技巧を学ぶ授業ではありませんので、注意してください。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。放送大学から付与されているメールアドレスを使用します。メールアドレスを確認しておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	香川学習センター		
学習センターコード	37A		
クラスコード	K		
科目名	**実用的日本語技法**		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	36名		
担当講師	タカミズ　トオル 高水　徹 香川大学准教授		
日程 実施時間	11月21日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月22日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	香川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 特に指定なし ２．OSの指定 特に指定なし ３．ソフトのインストール Word, Excel（互換ソフト可） ４．その他 上記の通り、インターネットへの接続が必要です。 ただし、筆記用具も持参してください。手書きが必要な課題も課します。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2697416	授業概要	【授業内容】 この授業は英語のリスニング・ライティング・スピーキングの力を磨くための授業です。毎回、映画などのポップソングを題材にし、ライティング及びスピーキング活動への導入として活用します。受講者が自ら書いた英文やメモをもとに、ペアやグループでコミュニケーション活動に取り組みます。その中で英会話やスピーチに役立つスキルも紹介します。最後に、受講者一人ひとりが1分間のミニスピーチを受講者の前で行います。 【到達目標】 ・英語のポップソングを聞きながらセリフに穴埋めをできるようになる。 ・様々なテーマについて自分の意見を英語で述べることができるようになる。 ・短いスピーチを英語で発表できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 Who I Am（Jessica Andrews）～ 自己紹介 第2回 Try Everything（Shakira）～ 自分がチャレンジしたこと 第3回 Cheeseburger in Paradise（Jimmy Buffet）～ 食べ物 第4回 Don't You Forget About Me（Simple Minds）～ 思い出 第5回 High Hopes（Panic at the Disco）～ 自分の夢 第6回 Rocket Man（Elton John）～ 仕事 第7回 You Gotta Be（Des'ree）～ アドバイス 第8回 See You Again（Whiz Kalifa Featuring Charlie Puth）～ まとめ 【学生へのメッセージ】 受講する前にこれらのポップソングを聴く必要はありません。自分の英語力に自信がない方も大歓迎です。英語力に「自信」をつけることがこの授業の目的のひとつです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	香川学習センター		
学習センターコード	37A		
クラスコード	K		
科目名	**ポップソングで英語を学ぶ**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	24名		
担当講師	ウィリー　イアンデイビッド Willey Ian David 香川大学教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	香川学習センター		【受講者が当日用意するもの】 辞書（英和、和英どちらでも可。スマホ、オンライン辞書でも可。） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2697424	授業概要	【授業内容】 体力のほとんどの要素は20歳を過ぎると徐々に衰えてしまいます。特に体の柔軟性がなくなれば肩こりや腰痛を引き起こすことが考えられます。また体力の低下や運動が不足すると、メタボリックシンドローム、生活習慣病などさまざまな不調が現れます。健康づくりのためには自分の体に合った適度な運動に取り組むことが必要になります。体や運動についての基礎を学び、実践を通じて自分に合った運動について考えます。 【到達目標】 体のしくみや運動の効果について理解し、自らの体に合った運動プログラムを計画し実施できる。 【授業テーマ】 第1回 体のしくみ 第2回「腰痛」「肩こり」「膝痛」「生活習慣病」「メタボリックシンドローム」と運動の関係 第3回 運動を取り入れた減量の方法 第4回 ストレッチ 第5回 トレーニング 第6回 有酸素運動や軽スポーツ 第7回 運動プログラムの作成 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 体や運動についての知識を深めます。更にさまざまな運動実技を通じて自分に合った運動について考え、短期及び長期的な運動のプログラムを組み立てましょう。継続することで5年後や10年後の健康を目指します。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	香川学習センター		
学習センターコード	37A		
クラスコード	K		
科目名	**健康づくりのための運動**		
科目区分	基盤科目：保健体育		
ナンバリング	120		
定員	36名		
担当講師	アベ　ジュンヤ 阿部　純也 香川県運動推進協会副理事長		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	香川学習センター		【受講者が当日用意するもの】 簡単な運動実技が伴うため運動の制限がない服装（スーツやスカートでなければ普段着で可）、運動に適したシューズ（スニーカーなども可）、タオル、水分など 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）

科目コード	2697432
学習センター	香川学習センター
学習センターコード	37A
クラスコード	K
科目名	**異文化間コミュニケーション**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	48名
担当講師	オオハシ　リエ 大橋　理枝 放送大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	香川学習センター

授業概要

【授業内容】
他人と話す時には様々なことを無意識のうちに前提にしていますが、この前提は各々が育った文化背景によってある程度規定されています。異なった文化背景を持つ者同士が話す場合は、お互いが前提にしている事柄が異なる可能性が高いため、自分が今まで持っていた無意識の前提を意識化する機会ともなります。日本で無意識のうちに前提とされているのはどのようなことなのかを、日米比較を中心にしながら解説していきます。

【到達目標】
・文化とコミュニケーションとがいかに密接に関連しているかを理解できるようになる。
・自分が普段どのような文化的前提に基づいてコミュニケーションを行っているかに気付けるようになる。
・文化的背景が異なる他者とコミュニケーションを行う際にはどのような点に気を付ければ良いかが分かるようになる。

【授業テーマ】
第1回 コミュニケーション
第2回 文化
第3回 非言語コミュニケーションと文化
第4回 言語コミュニケーションと文化
第5回 個人内コミュニケーションと文化
第6回 対人コミュニケーションと文化
第7回 レトリカルコミュニケーションと文化
第8回 異文化適応

【学生へのメッセージ】
文化的背景が異なる他者とのコミュニケーションのノウハウを扱うのではなく、理論的な説明が中心になります。普段何気なく行っているコミュニケーションに対して自覚的になる視点を得て頂きたいと思っています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・多文化共生のコミュニケーション（大橋理枝・根橋玲子／放送大学教育振興会／¥2,750／ISBN=9784595324529）
・コミュニケーション学入門（大橋理枝・根橋玲子／放送大学教育振興会／¥3,080／ISBN=9784595319273）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
放送授業「コミュニケーション論序説（'07）」「日本語からたどる文化（'11）」「日本語とコミュニケーション（'15）」「コミュニケーション学入門（'19）」「多文化共生のコミュニケーション（'24）」および面接授業「コミュニケーション論」「コミュニケーション学入門」「異文化間コミュニケーション演習」と内容が一部重複します。
（履修制限）「異文化コミュニケーション」の単位を修得済みの方は登録できません。
（面接授業開設科目一覧P.7参照）

科目コード	2697440
学習センター	香川学習センター
学習センターコード	37A
クラスコード	K
科目名	**精神看護からのストレス対処**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	36名
担当講師	ワタナベ　クミ 渡邉　久美 香川大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	香川学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、主に映画に登場する人々の物語を手がかりに、精神看護の視点で心の回復プロセスを読み解き、ストレス対処のあり方を探求します。健康生成論における首尾一貫感覚（SOC）の考え方を参考に、ストレッサーを単に負の刺激と捉えるのではなく、周囲の資源を活用して対処し、その意味づけにより良質な人生経験へと転換していく人生への態度について考察します。他者とのつながり、自由と管理、記憶、別れと再生などのテーマを通して、ストレス対処の自己パターンを認識し、日常生活に応用できる視点の修得を目指します。

【到達目標】
・人生におけるストレスへの対処をめぐり、「首尾一貫感覚（SOC）」の理論的枠組みを理解できる。
・物語に表現された人間の経験を精神看護学的視点から分析できる。
・困難な体験への意味づけと適応過程を、周囲の人々との関係に着目して説明することができる。
・既存尺度を活用しての自己分析や、受講者間の対話（グループワーク）により、自身のSOCについて検討することができる。

【授業テーマ】
第1回 精神看護からの心の健康とストレス対処：首尾一貫感覚とは
第2回 周囲の資源を活用できる感覚と処理可能感
第3回 管理社会の中の把握可能感を考える
第4回 苦難の人生を支え続ける良質な人生経験の意味
第5回 人類はどこまで対処可能になるのだろうか?：情報・身体・自己の境界
第6回 日常への没頭が、その人なりの生の意味をつくる
第7回 語られた人生が、他者の意味になるとき
第8回 SOCの概念を通した自己分析・自己理解：人生の統合に向けて

【学生へのメッセージ】
本授業では、映画や書籍に描かれる物語を教材として、首尾一貫感覚（SOC）の理論枠組みに基づき、ストレス対処と生き方を考察します。理論と物語を往還しながら、自身の経験を学術的視点から再検討します。なお、SOCについては初学者に配慮した内容とするため、放送大学関連科目で既習の方には別の角度から理解の深化として受講いただければ幸いです。

【受講前の準備学習等】
各回で扱う映画作品については、事前に鑑賞していなくても理解できるよう、授業内で概要および主要場面の説明を行います。ただし、内容理解を深めるために物語の展開に触れるため、いわゆる「ネタバレ」を含む場合があることをあらかじめご了承ください。講義内容の理解をより深めるために「首尾一貫感覚（SOC）」「ストレス対処」などの基本概念を入門書で調べておいてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・ストレス対処力SOC：健康を生成し健康に生きる力とその応用（山崎喜比古、戸ヶ里泰典、坂野純子／有信堂高文社／¥2,860／ISBN=9784842065939）
・健康の謎を解く：ストレス対処と健康保持のメカニズム（アントノフスキー、アーロン／有信堂高文社／¥4,180／ISBN=9784842065601）

【その他（特記事項）】
紹介を予定している作品は、書籍は『夜と霧』、映画は『人生ここにあり！』『ショーシャンクの空に』『ニューシネマパラダイス』『攻殻機動隊』『砂の女』『舟を編む』『あん』『夜明けのすべて』です。人生の悲喜交交が散りばめられており、ご関心とお時間がある方は、ご鑑賞いただければと思います。

科目コード	2697459	**授業概要**	**【授業内容】** この授業では、保健統計からみた国民の健康課題を起点に、ナイチンゲール理論を中心とした看護の基盤的概念を学びます。観察の重要性や生活習慣病の予防、家庭で実践できる健康観察と基礎的看護技術について理解を深めます。また、ケアを担うすべての人に求められる看護倫理と礼節、終末期における家族の代理意思決定の在り方について考察し、日常生活に生かせる看護の視点を身につけます。 **【到達目標】** ・保健統計を用いて国民の健康課題を説明できる。 ・ナイチンゲール理論と看護の基礎概念を理解し、観察の重要性を根拠とともに説明できる。 ・生活習慣病の予防法と家庭での健康観察や基礎看護技術を説明できる。 ・看護倫理と礼節、終末期の代理意思決定の考え方を説明できる。 **【授業テーマ】** 第1回 保健統計からみる国民の健康と生活 第2回 ナイチンゲール理論と看護① 看護の基盤：環境の重要性 第3回 ナイチンゲール理論と看護② 看護の基盤：観察の重要性 第4回 生活習慣病の知識と予防法① 家庭での健康観察 第5回 生活習慣病の知識と予防法② 家庭での予防法 第6回 生活習慣病の知識と予防法③ 家庭で役立つ基礎看護技術の知識 第7回 看護倫理と礼節① ケアに求められる姿勢 第8回 看護倫理と礼節② 終末期の代理意思決定 **【学生へのメッセージ】** この授業では、日常の中にある健康への気づきを大切にしながら、生活をよりよく整える視点を学びます。看護の基礎となる考え方を手がかりに、自分や家族の健康を見つめ直す学びを深めていきましょう。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。事前学習として、フローレンス・ナイチンゲールに関することを事前に調べておくと良いでしょう。事後学習として、授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。このオンライン公開資料も参考にしてください。日本看護協会『看護職の倫理綱領（2021年改訂）』 （https://www.nurse.or.jp/nursing/assets/statistics_publication/publication/rinri/code_of_ethics.pdf） **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	香川学習センター		
学習センターコード	37A		
クラスコード	K		
科目名	**ナイチンゲール理論と家庭看護**		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	36名		
担当講師	イマイ　タキコ 今井　多樹子 香川大学教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	香川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・新版 ナイチンゲールの『看護覚え書』イラスト・図解でよくわかる（金井一薫／西東社／¥1,650／ISBN=9784791631070） ・看護がみえる③フィジカルアセスメント（医療情報科学研究所／MEDIC MEDIA／¥3,630／ISBN=9784896327816） ・看護職の基本的責務　2026年版（手島恵／日本看護協会出版会／¥1,430／ISBN=9784818029453）

科目コード	2697467	**授業概要**	**【授業内容】** 「多様性の尊重」の必要性について多くの話題がなされる現在、一人一人の考え方や生き方を大切にしながら共に生きる「共生社会」の形成が求められています。こうしたなか、障害のある方、あるいは、障害がなくとも様々な困りを抱えながら生きる方への教育の重要性がさらに増しているといえます。本授業では、教育を取り巻く国内外の動向とその背景をふまえながら「共生社会の形成のためのインクルーシブ教育システム」の構築と、そのための「特別支援教育の推進」について考えていきます。 **【到達目標】** ・共生社会の形成の意義と実現のための方向性について理解することができる。 ・インクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の意義について説明することができる。 **【授業テーマ】** 第1回 共生社会の形成に係る国際的な動向 第2回 共生社会の形成に係る我が国の動向 第3回 インクルーシブ教育システムと特別支援教育 第4回 障害種別の教育（身体障害） 第5回 障害種別の教育（知的障害） 第6回 障害種別の教育（発達障害） 第7回 様々な状況にある子どもへの教育 第8回 特別支援教育の未来 **【学生へのメッセージ】** 国内外の流れを踏まえながら、ご自身が経験してきた学びとの共通点や違いについて検証し、今後求められる教育の在り方について考えてみましょう。 **【受講前の準備学習等】** 共生社会に関する基本的な理解を深めるため、外務省ホームページにある「障害者の権利に関する条約」についてのパンフレット（https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000069541.pdf）等をあらかじめ読んでください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	香川学習センター		
学習センターコード	37A		
クラスコード	K		
科目名	**共生社会のための 特別支援教育**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	36名		
担当講師	カトウ　タカヨシ 加藤　隆芳 香川大学教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	香川学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2689162
学習センター	香川学習センター
学習センターコード	37A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	36名
担当講師	オカダ　リョウ 岡田　涼 香川大学准教授
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:55 試験・レポート等　16:55～17:10 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～12:45 試験・レポート等　12:45～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:55 試験・レポート等　16:55～17:10
実施会場	香川学習センター

授業概要

【授業内容】
心理学における実験的研究を3つ（鏡映描写、触2点閾、SD法）取り上げます。受講生の皆さんは、それらの実験に、実験者及び参加者として参加し、得られた結果をレポートにまとめます。授業を通して、心理学の仮説設定や、実験の方法、データ整理、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として8コマの授業全てに出席し、３つの実験全てについてレポートを提出する必要があります。

【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。

【授業テーマ】
第1回 心理学と実験
第2回 実験結果のまとめ方
第3回 学習の転移（実験1の概説）
第4回 鏡映描写（実験1の実施とまとめ）
第5回 知覚の特徴（実験2の概説）
第6回 触２点閾の測定（実験2の実施とまとめ）
第7回 対人認知（実験3の概説）
第8回 SD法（実験3の実施とまとめ）

【学生へのメッセージ】
２日間の授業で３つの実験を行い、レポートを作成します。難しい部分もありますが、なるべくわかりやすく解説をします。また、実験を行うことによって体験することを重視します。積極的に取り組んでもらえたらと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689189
学習センター	香川学習センター
学習センターコード	37A
クラスコード	K
科目名	**心理検査法基礎実習**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	36名
担当講師	ハシモト　タダユキ 橋本　忠行 香川大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	香川学習センター

授業概要

【授業内容】
公認心理師法第2条では、公認心理師の業務のひとつとして「心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析すること」が定められています。心理検査はその方法の一つで、教育、医療、司法など幅広い分野で一人ひとりの違いを客観的に理解し、心理的支援につなげるために用いられています。この授業ではさまざまな心理検査の理論的背景を解説した上で、実際に４つの心理検査について実施法-結果の整理-解釈という一連の流れを実習し、検査毎のレポートをまとめて提出します。原則として８コマの授業全てに出席する必要があります。
【到達目標】
心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理的アセスメントと心理検査／心理検査の強み／活用における注意点／アメリカ心理学会によるガイドライン
第2回 検査実習１: ストレッサー・ストレス反応尺度（社会再適応評価尺度とSRS-18）（解釈と解説）、トラウマの心理
第3回 検査実習２: YG性格検査（解釈と解説）
第4回 検査実習３: TEG－３（解釈と解説）
第5回 ウェクスラー式知能検査（WISC／WAIS）とその臨床活用
第6回 検査実習４: 風景構成法（解釈と解説）
第7回 協働的／治療的アセスメント（事例検討）
第8回 心理的アセスメント報告書／心理検査のまとめ
【学生へのメッセージ】
この授業では、実際に心理検査を実施し、自己分析、解釈を行います。その実習体験を通じて、心理検査について理解を深めていきます。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし､実習課題について､あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」､「心理学研究法（'20）」､「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2697475
学習センター	香川学習センター
学習センターコード	37A
クラスコード	K
科目名	**市民と税制**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	36名
担当講師	アオキ　タケシ 青木　丈 香川大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	香川学習センター

授業概要

【授業内容】
所得税、法人税、消費税など、日本の税制は複雑でわかりにくいです。指定する教科書に従ってそれぞれの税制の概要を学んだうえで、何が問題でどう改革すべきか考えます。政治家や官僚に委ねられがちな税制ですが、市民の目線で見直し、その改善の糸口を探ります。
【到達目標】
・日本の現行税制の基礎を理解できる。
・市民目線で税制改革への課題について具体的な問題意識を持てるようになる。
【授業テーマ】
第1回 ガイダンス、日本の税財政の現状と課題
第2回 所得税①：収入と所得の違い等
第3回 所得税②：課税単位等
第4回 所得税③：超過累進税率の意義等
第5回 法人税
第6回 消費税①：消費税の税率・納税義務者等
第7回 消費税②：軽減税率とインボイス制度等
第8回 まとめ、レポート課題の説明
【学生へのメッセージ】
指定する教科書に沿って授業を進めますので、教科書必携です。また、第8回の授業のあとにレポートを書いてもらいます。このレポートのテーマは、ある特定の現行税制の問題点を指摘し、自らが考える改革の方向性を示してもらう内容です。そのため、そうした問題意識を持つことを心掛けてください。
【受講前の準備学習等】
教科書の該当ページをあらかじめ読んでおいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、筆記用具等
【教科書】
・日本の税金　第３版（三木義一／岩波書店／¥924／ISBN=9784004317371）
電子書籍でも可

科目コード	2697483	授業概要	【授業内容】 近年、南海トラフの地震活動の長期評価が見直されましたが、地震の発生確率のランク表記においては「Ⅲランク（高い）」の位置づけとなっています。またこの評価の見直しにともない各市町においてその被害想定の見直しが行われています。そこで、本授業では、改めて過去の災害を振り返りながら地震発生時にどのような事が発生し、その時に求められる個人・地域における災害対応能力とは何かに関して学びます。 【到達目標】 地震発生時に適切な対応行動がとれるように、地震災害に関する基礎的な知識を修得し、避難時における適切な対応行動の判断ができる。 【授業テーマ】 第1回 南海トラフ地震と被害想定 第2回 地震・津波への備え 第3回 災害イメージトレーニング１ 第4回 災害イメージトレーニング２ 第5回 災害情報 第6回 地区防災計画 第7回 対応能力アップ演習 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 基本的な災害対応行動に関して、専門知識がなくとも理解できるように進めていきます。講義だけでなく、受講者同志のディスカッションやワークショップなどの演習も取り入れていきます。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	香川学習センター		
学習センターコード	37A		
クラスコード	K		
科目名	**南海トラフ地震と災害対応能力**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	36名		
担当講師	イノモ　ヒトシ 井面　仁志 香川大学教授		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	香川学習センター		

科目コード	2697491	授業概要	【授業内容】 各時代の代表的なオペラは、娯楽性に満ちた美しくも感動的な芸術作品の象徴であり、総合芸術の傑作ともいえます。そして時代ごとの社会情勢や人々の価値観を、その時代の最先端の音楽を使って色濃く舞台上に反映してきました。しかしその反面、権力者への批判、風刺、偏った社会（身分制度・差別・偏見）への抵抗でもありました。各オペラは、各時代の社会性を表現したものであり、未来の社会を予測したものとも言えます。オペラへの背景､内容を理解しながら授業を進めていきます。受講することでオペラへの探求心を持ち、社会と文化のかかわりとその役割、重要性を認識し、オペラの可能性について意見を持ち、課題への取り組みができます。 【到達目標】 ・ギリシャ悲劇復活から生まれた400年以上の歴史を持つオペラを各時代の社会性を見出し、見識を深めた説明ができる。 ・オペラへの探求心を持ち、社会と文化のかかわりとその役割、重要性を認識し、オペラの可能性について意見を持ち、課題への取り組みができる。 ・オペラ鑑賞についての準備、認識を高めて、鑑賞への姿勢・マナーを身につけることができる。 【授業テーマ】 第1回 オペラの変遷 第2回 モーツァルト作品「魔笛」の社会性 第3回「カルメン」原作者メリメの社会観と音楽 第4回 オペレッタ「こうもり」の娯楽性と社会風刺 第5回 ベルカントオペラの終焉と現実主義ヴェリズモオペラ 第6回 ジャズと西洋音楽の融合 第7回 オペラによる日本再発見　海外の日本を題材にしたオペラ 第8回 日本オペラの展望 【学生へのメッセージ】 オペラを総合芸術（音楽・舞踊・美術・演劇・文学）として捉え、ギリシャ悲劇復活から生まれた400年以上の歴史を持つオペラの各時代の社会性を見出し、芸術だけでないオペラの可能性について意見を持ち、社会課題へ向かいましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業で学修した内容などを活用して復習を行い、理解を深めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	香川学習センター		
学習センターコード	37A		
クラスコード	K		
科目名	**オペラの社会性**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	36名		
担当講師	ワカイ　ケンジ 若井　健司 香川大学名誉教授		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具のみ 【教科書】 教科書は使用しません。
日程 実施時間	10月17日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 10月18日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	香川学習センター		

科目コード	2697505
学習センター	香川学習センター
学習センターコード	37A
クラスコード	K
科目名	**戦後沖縄の大学と歴史・文化**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	36名
担当講師	チョウ　シンイチ 蝶　慎一 香川大学准教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	香川学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では、戦後沖縄の大学・短期大学における歴史や文化について、多様な幅広いテーマについて知り、考えながら学んでいきます。戦後初めての沖縄の大学はどのように誕生し、どのような変遷を遂げてきたのか、沖縄独自の食文化、芸術文化にも視野を広げながら沖縄をめぐる歴史、文化、地域の観点から解説します。また、沖縄における戦争や米軍統治という歴史的背景が戦後沖縄の大学に与えた影響やこれからの課題についても考えていきます。受講生どうしでディスカッションや意見交換するための時間を持ちながら、皆さんと一緒に学べる授業を目指します。

【到達目標】
・戦後沖縄における大学・短期大学の誕生とそれらの変遷を知り、沖縄の歴史・文化の視点から理解できる。
・沖縄独自の食文化や芸術文化、戦争や米軍統治を含む多様なテーマを通じて、戦後沖縄の大学が持つ特徴や役割を多角的に議論できる。
・授業で扱う様々なトピックについて自身の考えを持ち、ディスカッションを通して他の受講生と共有し、説明できる。

【授業テーマ】
第1回 戦後沖縄の教育を知り、考える：大学・短期大学の歴史から
第2回 戦後初の大学創設とその変遷、特徴
第3回 沖縄における食文化の特色：琉球大学・沖縄女子短期大学と家政学
第4回 沖縄における芸術文化の特色：沖縄県立芸術大学と鎌倉芳太郎
第5回 沖縄の大学史における教養教育の特色①：琉球大学の事例
第6回 沖縄の大学史における教養教育の特色②：沖縄大学の事例
第7回 沖縄の大学における入試動向：試験科目としての「琉球・沖縄史」を体験する
第8回 戦争と米軍統治から考える沖縄の大学：これまでとこれから

【学生へのメッセージ】
戦後沖縄の大学を切り口に、食文化・芸術文化の特色と大学のカリキュラムなど沖縄をめぐる多様なテーマを横断的に学んでいきます。幅広い興味関心を持つ方に開かれた内容ですので、ぜひ気軽に受講してください。

【受講前の準備学習等】
各回で扱われる予定の「授業テーマ」を確認してから受講してください。授業では、戦後沖縄における大学のカリキュラムをはじめ、沖縄の食文化や芸術文化、戦争・米軍と大学の関係など多様なトピックを扱います。受講前に興味関心を持っていることについてインターネット、新聞、書籍、動画を活用し、調べてみてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・琉大物語　1947-1972（山里勝己／琉球新報社／¥1,885／ISBN=9784897421100）
・沖縄の食文化（外間守善／筑摩書房／¥1,100／ISBN=9784480511546）
・首里城への坂道　鎌倉芳太郎と近代沖縄の群像（与那原恵／中央公論新社／¥1,540／ISBN=9784122063228）
・新訂 ジュニア版　琉球・沖縄史（新城俊昭／編集工房　東洋企画／¥1,650／ISBN=9784905412816）

科目コード	2697513
学習センター	香川学習センター
学習センターコード	37A
クラスコード	K
科目名	**学習するコンピュータの基礎**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	36名
担当講師	フジモト　ケンイチ 藤本　憲市 香川大学教授 コジマ　タケシ 兒島　雄志 香川大学准教授
日程 実施時間	12月19日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	香川学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。

【受講前の準備学習等】

【受講者が当日用意するもの】

【その他（特記事項）】

を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

本授業では、コンピュータにおけるデータ処理の基礎から、データを学習する仕組みまでを体系的に概説します。まず、コンピュータ上でデータがどのように表現されているか、そのデータをどのように処理（計算）しているのかを学習し、その後、学習する自動機械を探求してきた歴史を概観するとともに、人間の脳を模したコンピュータモデルによる学習についても学びます。なお、授業はパソコンを用いた演習形式で行います。

【到達目標】

・コンピュータを構成する各要素について説明できるようになる。
・コンピュータ上で文字や画像などがどのように表現され処理（計算）されているのかを説明できるようになる。
・人類が自動機械を探求してきた歴史や人間の脳を模したコンピュータモデルを概説できるようになる。
・コンピュータがデータを学習する仕組みを説明できるようになる。

【授業テーマ】

第1回 コンピュータの基本（兒島）
第2回 数値データの表現方法（兒島）
第3回 データの表現方法（兒島）
第4回 バイナリデータとテキストデータ（兒島）
第5回 自動機械探求の歴史（藤本）
第6回 人間の認知機能と人工脳神経モデル（藤本）
第7回 学習するコンピュータ（藤本）
第8回 人工知能を取り巻く諸問題とまとめ（藤本）

【学生へのメッセージ】

授業の一部において、エクセルを用いて計算する演習を行います。講師とアシスタントが丁寧にサポートしますので安心して受講してください。ただし、エクセルの基本操作スキルは必要です。本授業は、コンピュータがデータを学習する仕組みや概念を学ぶものであり、AI（人工知能）システムの使用方法を学ぶものではないことに留意してください。

【受講前の準備学習等】

シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。放送大学から付与されているメールアドレスを使用します。メールアドレスを確認しておいてください。

【成績評価の方法】

成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】

1．持参する端末
　Word及びExcelが使用できるノートパソコン
2．OSの指定
　Windows又はmacOS（可能な限り最新バージョン）
3．ソフトのインストール
　Microsoft Word及びExcel（可能な限り最新バージョン）

【教科書】

教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】

充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2697521
学習センター	香川学習センター
学習センターコード	37A
クラスコード	K
科目名	**人類と微生物**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	36名
担当講師	タブチ　ミツアキ 田淵　光昭 香川大学教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	この授業は、【★香川大学農学部（香川県木田郡三木町池戸2393)】で行います。

授業概要

【授業内容】
微生物とは何か？微生物とは、ヒトの肉眼で観察することができない微小な生物の総称で、その大きさは、数十nmから数百μmとさまざまです。人類は太古の昔よりこの肉眼で見ることのできない微生物と知らず知らずのうちに深い関わりを持ってきました。本授業では、微生物の基礎、応用、微生物による病気に至るまで幅広く人類と微生物との関わりについて学習し、実験を通して実際に微生物と触れ合うことで微生物をより深く知ってもらうことを目的としています。
【到達目標】
・微生物の定義・分類など基礎を理解し、健康・医薬・食品・バイオテクノロジーへの応用と感染症との関わりを説明できる。
・実験・観察を通じて結果を考察しレポートにまとめられる。
【授業テーマ】
第1回 微生物とは何か？　基礎知識（定義、分類）
第2回 微生物と健康、バイオテクノロジー
第3回 微生物とバイオテクノロジー　遺伝子組み換え技術（実験１）
第4回 微生物と薬　抗生物質を作る微生物（実験２）
第5回 微生物の観察　その１（実験３）
第6回 微生物の観察　その２（実験４）
第7回 微生物と薬、食品、抗生物質、日本酒
第8回 授業のまとめ
【学生へのメッセージ】
微生物の基礎知識をもとに、実験により体験してもらいます。微生物のプレートの観察や顕微鏡観察を通して、実験で得られた結果が座学で学んだ知識と結びつくことを楽しんで学んでもらえればと思います。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容からキーワードをもとに事前にネット等で自己学習し、疑問、質問があれば書き出してみてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ハンカチ、ティッシュなど
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項)】
２日間とも、現地集合・現地解散です。「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)

科目コード	2697530
学習センター	香川学習センター
学習センターコード	37A
クラスコード	K
科目名	**植物の研究と標本の作り方**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	24名
担当講師	シノハラ　ワタル 篠原　渉 香川大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月29日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	香川学習センター

授業概要

【授業内容】
植物の研究を行う時に最も基本となる植物標本がどのように作成され保管されているかについて解説します。また作成された植物標本がどのように実際の研究に利用されているかを解説します。さらに実際に香川大学構内の植物を採集して、植物標本の作成と同定作業を行います。
【到達目標】
・植物の研究において、植物標本がどのように活用されているかを説明できるようになる。
・植物の採集から植物標本の作成までの一連の作業を行えるようになる。
・学校や公園に生育している植物について説明できるようになり、知らない植物の種類についても、図鑑などを用いて調べることができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 植物を用いた研究について
第2回 植物標本の利用と作成方法
第3回 香川大学構内の木本植物の採集
第4回 植物標本の作成と同定作業
第5回 香川大学構内の草本植物の採集
第6回 植物標本の作成と同定作業
第7回 植物の同定作業
第8回 植物の同定作業
【学生へのメッセージ】
野外で植物を採集する活動があります。野外活動に適した服装と対策（運動靴、長袖、長ズボン、帽子など）をお願いします。多少の雨でも野外の作業を行うことがありますので、折りたたみ傘を必ずご持参ください。天候により、講義内容や順序を変更することがあります。
【受講前の準備学習等】
興味のある植物の種類や名前について、インターネット等で調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
野外の活動に適した服装（運動靴、長袖、長ズボン、帽子など)、折りたたみ傘、虫除けスプレー（必要な人のみ）
【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2697653	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 学生を対象に、生成AIの基礎と実践的活用法を学ぶ授業です。AI関連の専門知識の取得は他の授業に任せ、放送大学で学ぶ学生が、レポートのアイディア出し、Excel等のPC作業の効率化、身近なデータ整理、プレゼン資料の推敲など、日々の学習に直結する授業を実施します。AIを単なる「解答機」ではなく「思考を深める助手」として使いこなす汎用的なリテラシーを養いましょう。 **【到達目標】** AI利用のガイドラインを理解し、倫理的な活用（著作権や情報漏洩への配慮）ができる。 目的に応じて適切なAIツールを選択し、意図した回答を引き出す指示（プロンプト）を作ることができる。 AIを「答えを出させるツール」ではなく「思考を深め、作業を効率化するための優秀な助手」として活用できる。 **【授業テーマ】** 第1回 大学生活でのAI活用事例と「守るべきルール」 第2回 AIツールの基礎知識 第3回 代表的なAIエンジンと特徴 第4回 対話型AIツールを使ってみよう（プロンプトの基本） 第5回 アイディア出し・思考整理演習 第6回 PC作業をラクにするAI演習 第7回 身近なデータの整理・分析演習 第8回 レポート・プレゼン資料作成演習 **【学生へのメッセージ】** 特別な利用法ではなく、基礎的な操作を通じた実践を学びます。 授業内容は、最新の状況に応じて若干の変更をすることがあります。 **【受講前の準備学習等】** ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	愛媛学習センター		
学習センターコード	38A		
クラスコード	K		
科目名	**放送大学生のための AI活用入門**		
科目区分	基盤科目		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	オカノ　ダイ 岡野　大 愛媛大学准教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月8日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	愛媛学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末 学習センターの無線LANを介してインターネットにアクセスできるノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。 ２．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 ３．ソフトのインストール ウェブブラウザを使用します。種類は問いませんが放送大学生に利用権が提供されているGoogleのサービスを利用しますので、Google Chromeを推奨します。 **【教科書】** 授業当日に補助教材を配付します。 **【その他（特記事項）】** この科目は2009～2015年度「基礎科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2697548
学習センター	愛媛学習センター
学習センターコード	38A
クラスコード	K
科目名	**人生が愉しくなる落語学14**
科目区分	導入科目：人間と文化
ナンバリング	220
定員	50名
担当講師	シュンプウテイ　ショウキチ 春風亭　昇吉 (一社) 落語ユニバーサルデザイン化推進協会
日程 実施時間	11月21日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月22日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	愛媛学習センター

授業概要

【授業内容】
実際に落語を聴いて頂いた後、その演目に関する語彙・文化・習慣などの背景知識を学びます。楽しく、人生が豊かになるような事柄を扱いたいと思います。個別の演目の解説とは別に、授業の後半では、教科書を使って初心者を対象とした落語の概論的な内容を扱います。落語に関する素朴な疑問、話芸の歴史、速記からネット配信までのメディアの変遷など、興味が深まるテーマを分かり易くまとめて学習します。
【到達目標】
落語に親しみ、基礎的な知識を身につける。様々な落語を生で聞くことにより、落語の多様性を知る。寄席や落語家に関する知識のほか、近世の文化を知ることで、より明確に落語の世界を楽しむことができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 甲府ぃ
第2回 時そば
第3回 禁酒番屋
第4回 柳田格之進
第5回 垂乳根
第6回 宿屋の仇討
第7回 芝浜
第8回 明烏
【学生へのメッセージ】
教科書とノートを必ずご用意ください。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
教科書、ノート、筆記用具
【教科書】
・マンガでわかる落語（春風亭昇吉／誠文堂新光社／¥1,650／ISBN=9784416619049）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
授業では、対面授業の特性を活かし、ディスカッションを取り入れています。噺の本質、疑問点などについて、学生間で５分程度話し合い、発表していただくことがあります。

科目コード	2697556
学習センター	愛媛学習センター
学習センターコード	38A
クラスコード	K
科目名	**土づくりと野菜・作物栽培の基礎**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	40名
担当講師	ウエノ　ヒデト 上野　秀人 愛媛大学教授
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	愛媛学習センター

授業概要

【授業内容】
土は、私たちの身近にあるものですが、非常に複雑でさまざまな機能を持っています。本講義では、土の成り立ちと構造から始まり、植物の生育を支える養分循環、微生物の役割、さまざまな土壌の種類と特性を学びます。さらに野菜・作物栽培における施肥・土壌管理の実践知識、そして土壌が担う環境保全機能まで、私たちの食と暮らしを支える「土の力」を幅広く解説します。
【到達目標】
土壌の構成物や成り立ち、機能、特性を理解し、野菜や作物栽培における土壌管理についての実践的な知識を身につけ、土壌の地球環境保全能力を説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 土の成り立ちと構成
第2回 生命を生み出す土壌
第3回 さまざまな種類の土壌
第4回 農業で活躍する土壌
第5回 世界的な土壌汚染や侵食の被害
第6回 野菜や作物栽培のための土壌管理
第7回 持続可能な農業のための土壌管理技術
第8回 土は地球環境を守る
【学生へのメッセージ】
土の秘密を知り、土の素晴らしさや無限の可能性を考え、土とともにある生活を始めるきっかけとなってもらうことを期待します。
【受講前の準備学習等】
教科書を事前に読んで、分からないところをチェックし、授業中に質問してください。家庭菜園、畑、水田で農業をしている方は、質問をまとめておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
・今日からモノ知りシリーズ トコトンやさしい土壌の本（加藤哲郎、小川吉雄、安西徹郎、藤原俊六郎／日刊工業新聞社／¥1,650／ISBN=9784526077142）
【参考書】
・いちばんよくわかる 超図解 土と肥料入門（加藤哲郎／家の光協会／¥1,650／ISBN=9784259565084）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2697564
学習センター	愛媛学習センター
学習センターコード	38A
クラスコード	K
科目名	**環境と化学汚染**
科目区分	導入科目：自然と環境
ナンバリング	220
定員	20名
担当講師	イシバシ　ヒロシ 石橋　弘志 愛媛大学教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	愛媛学習センター

授業概要

【授業内容】
我々は化学物質による恩恵を受けている一方で、これまでさまざまな環境汚染を引き起こしてきました。化学物質による環境汚染の歴史や現状、ヒトと生態系に対する影響について概説します。また、我が国における化学物質の規制･管理の現状を理解するとともに、消費者の立場から化学物質とどのように向き合うかを考えていきましょう。

【到達目標】
・化学物質による環境汚染の歴史や現状、ヒトや生態系に対する影響について説明できる。
・自らの論理的思考により化学物質と環境に関連する諸課題を分析・解釈できる。
・自律的行動により学術論文やデータベース等の情報を検索・入手し、簡潔で分かりやすい文章を作成できる。

【授業テーマ】
第1回 化学物質とは
第2回 化学物質による環境汚染の歴史と現状１
第3回 化学物質による環境汚染の歴史と現状２
第4回 化学物質による毒性影響１
第5回 化学物質による毒性影響２
第6回 化学物質の規制･管理の現状
第7回 化学物質による環境汚染の未来
第8回 まとめと今後の課題

【学生へのメッセージ】
化学物質の安心安全とはどういうことでしょうか？
この面接授業によって、化学物質に関する基礎知識を身に付けることができます。また、科学的根拠に基づき、どのように化学物質と接していくのか、今後の生活にも活用できる内容が含まれています。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・健康と環境の科学（川添禎浩【編】／講談社／¥3,080／ISBN=9784061552340）
・環境毒性学（日本環境毒性学会 編／丸善出版／¥4,620／ISBN=9784621312322）

【その他（特記事項）】
この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。

科目コード	2697572
学習センター	愛媛学習センター
学習センターコード	38A
クラスコード	K
科目名	**人間関係論入門 ー豊かに生きるー**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ノモト　ヒサ 野本　ひさ 愛媛大学教授
日程 実施時間	10月31日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月7日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	愛媛学習センター

授業概要

【授業内容】
本授業では私たちが日常的に向き合う“人との関わり”を多角的に捉え、より豊かで満ち足りた人生を築くための基礎知識と実践的スキルを学びます。人間関係の構造や特徴を理解したうえで、相手の気持ちを読み取る力、コミュニケーションの技法、そして困難に向き合うためのレジリエンスを身につけることを目指します。講義・ワーク・振り返りを通して、自分自身の人間関係を見つめ直し、より良い関係づくりに向けた行動変容を促します。
【到達目標】
受講により人間関係の基本概念と多様な関係性の特徴を理解し、状況に応じたコミュニケーション技法を用い対話できるようになる。さらに、人間関係上の困難に対してレジリエンスの観点から対処法を示すことができる。
【授業テーマ】
第1回 豊かに生きる ― 授業イントロダクション
第2回 人間関係の基本
第3回 人間関係の種類
第4回 自分や他者の気持ち
第5回 コミュニケーションスキル①
第6回 コミュニケーションスキル②
第7回 こころの回復力ーレジリエンスー
第8回 全体の振り返り・まとめ
【学生へのメッセージ】
誰もが経験し、知っている「人間関係」について、自身の経験を振り返りながら豊かな人間関係のスキルを身につけます。演習がありますので参加してください。
【受講前の準備学習等】
授業中にQRコードあるいは短縮URLから課題のフォームにアクセスし、コメント入力していただく場面があります。QRコードにアクセスできるスマートフォンやタブレットをご準備ください。フォームへのアクセスができない方には紙媒体で対応しますので、授業開始時に申し出てください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
QRコードにアクセスできるスマートフォンやタブレット（必須ではありません）
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
授業中にはコミュニケーションの演習（ペアワーク）を行います。ワークに参加できそうにない人は個別に相談しますので遠慮なく申し出てください。
学習センターのWi-Fiを利用したい場合は、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」をご参照ください。

科目コード	2697580
学習センター	愛媛学習センター
学習センターコード	38A
クラスコード	K
科目名	**社会における 日常生活活動と健康**
科目区分	専門科目：生活と福祉
ナンバリング	320
定員	30名
担当講師	アイバラ　ヒロミ 相原　ひろみ 愛媛大学教授
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	愛媛学習センター

授業概要

【授業内容】
人間は、身体を持つ生物であり、心があり、社会のなかで生きています。他人とのつながりを持ち、生活しています。社会のなかで、さまざまな影響を受けています。生活や社会に関心を持ち、健康に人生を過ごすための視点や気づきを学んでいただきたいと思います。
【到達目標】
社会のなかで健康に留意して生活するために、社会の仕組みや働きを説明することができる。
【授業テーマ】
第1回 社会の構造と機能を理解する
第2回 日常生活における活動を理解する
第3回 集団・組織を理解する
第4回 健康と健康行動（ヘルスプロモーション）を理解する
第5回 社会経済と健康を理解する
第6回 家族と健康の関係を理解する
第7回 生命倫理と健康を理解する
第8回 社会における日常生活活動と健康を概観する
【学生へのメッセージ】
ご自分の日常生活を振り返って、健康という視点から課題を見つけたり、考える機会になるかと思います。食事や排泄の話が出ることがあります。羞恥心を感じるようであれば、無理に答える必要はありません。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、ご自身の日常生活や社会状況を振り返って、授業に参加してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

科目コード	2689162
学習センター	愛媛学習センター
学習センターコード	38A
クラスコード	K
科目名	**心理学実験3**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	アサカワ　アツシ 浅川　淳司 愛媛大学准教授
日程 実施時間	10月21日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月28日(水) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	愛媛学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

心理学の基礎的な実験2種（ストループ効果、鏡映描写）を行います。受講生の皆さんはそれらの実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として経験し、得られた結果をレポートにまとめます。受講生の皆さんは、原則として 8 回の授業すべてに出席し、２つの実験それぞれについてレポートを提出する必要があります。
【到達目標】
心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。
実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。
【授業テーマ】
第1回 心理学実験とは
第2回 実験1:「ストループ効果」の実施
第3回 実験1:「ストループ効果」の結果の整理
第4回 実験1:「ストループ効果」のレポート作成指導
第5回 実験2:「鏡映描写」の実施
第6回 実験2:「鏡映描写」の結果の整理
第7回 実験2:「鏡映描写」のレポート作成指導
第8回 データの整理方法とレポート作成時の留意点
【学生へのメッセージ】
この実習は、参加者や実験者の経験を重視します。実験を実施する立場と実施される立場の両方を経験し、心理学実験の理解を深めていただく機会になればと考えています。
【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。
なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論('24)」、「心理学研究法('20)」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。
インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可）。
2．OSの指定
　WindowsあるいはmacOSが必要です。
3．ソフトのインストール
　ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、MozillaFirefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。
　文書作成のためWordが必要です。
　表計算およびグラフ作成のためExcelが必要です。
　配付資料がある場合には、PDFで提供しますので、Acrobat Readerをインストールしておいてください。
4．その他
　Windows11以上、MacOS26以上、Word2021以上、Excel2021以上を対象とします。
　マウスを持参してください。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。
【参考書】
・認定心理士資格準拠 実験・実習で学ぶ心理学の基礎（日本心理学会・認定心理士資格認定委員会（編）／金子書房／¥2,750／ISBN=9784760830312）

【その他（特記事項）】
色識別を要する実験課題があります。
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。

科目コード	2689189	**授業概要**	**【授業内容】** 心理検査の概略、歴史、効用と限界、使用倫理を踏まえた上で、実際の心理検査を行い、実習を行います。それらの検査実習を通じて、心理検査について体験的に理解を深めます。自らへの心理検査の実施を通じて、被験者側の心理について体験的に学んだり、自分について振り返る機会ともなります。 受講生は、原則として８回の授業すべてに出席し、４つの実習についてそれぞれレポートを提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き 、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 ガイダンス　心理検査の心得 第2回 質問紙法　YG性格検査 第3回 描画法　バウムテスト 第4回 心理検査の種類　レポート作成指導 第5回 投影法　Ｐ－Ｆスタディ　実施と結果の整理 第6回 投影法　Ｐ－Ｆスタディ　結果の整理と解釈 第7回 質問紙法　TEG 第8回 テストバッテリーについて　質疑応答　レポート作成指導 **【学生へのメッセージ】** 本授業では心理検査を実際に行いながら、心理検査の効用、限界について考えます。実習のレポートは後日提出していただきます。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	愛媛学習センター		
学習センターコード	38A		
クラスコード	K		
科目名	**心理検査法基礎実習**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サガミ　タケヒト 相模　健人 愛媛大学教授		
日程 **実施時間**	10月24日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 10月25日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25		
実施会場	愛媛学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 第３回は鉛筆、消しゴム、第６回・第７回は電卓をご用意ください。電卓については自身のパソコンやスマートフォン、タブレット端末を持参して使用しても構いません。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2697599	**授業概要**	**【授業内容】** 「やる気」は、人間をつき動かす原動力のようなものと言えます。やる気の出る出ないで一喜一憂する経験は誰にでもあるでしょうし、自分や他者のやる気をコントロールしたいと思う人は多いのではないでしょうか。心理学において「やる気」は、“Motivation” =「動機づけ」という概念で、多面的に語られてきました。本講義では、「動機づけ」に関わる多様で基礎的な理論や概念を概観し、「やる気」の複雑なメカニズムの一端を学びます。 **【到達目標】** ①「動機づけ」に関する心理学の基礎的な理論や概念を説明できる。 ②「動機づけ」に関する心理学の基礎的な理論や概念を理解し、自らや他者の「やる気」をコントロールするアイディアを考案できる。 **【授業テーマ】** 第1回「やる気」と「動機づけ」 第2回 自己決定理論 第3回「やる気」への欲求面からのアプローチ 第4回「やる気」への感情面からのアプローチ 第5回「やる気」への認知面からのアプローチ 第6回「やる気」への環境面からのアプローチ 第7回「やる気」への臨床面からのアプローチ 第8回「やる気」へのあなた自身のアプローチ **【学生へのメッセージ】** 授業中に個人ワークやグループワークを行うこともあります。 誠実に授業に取り組むようにお願いします。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して事前の自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	愛媛学習センター		
学習センターコード	38A		
クラスコード	K		
科目名	**「やる気」のための心理学**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	50名		
担当講師	クロダ　タクヤ 黒田　卓哉 聖カタリナ大学准教授		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	愛媛学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具をご持参ください。 **【教科書】** 授業当日に補助教材を配付します。 **【参考書】** ・モティベーションをまなぶ12の理論　ゼロからわかる「やる気の心理学」入門！（鹿毛 雅治（編）／金剛出版／¥3,520／ISBN=9784772412490） ・学習意欲の理論――動機づけの教育心理学（鹿毛 雅治／金子書房／¥6,160／ISBN=9784760823796） ・動機づけ研究の最前線（上淵 寿／北大路書房／¥3,300／ISBN=9784762824036）

科目コード	2697602
学習センター	愛媛学習センター
学習センターコード	38A
クラスコード	K
科目名	**人間形成と教育**
科目区分	専門科目：心理と教育
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	キド　シゲル 城戸　茂 愛媛大学特定教授
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月13日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	愛媛学習センター

授業概要

【授業内容】
少子高齢化や情報化の進展、SNSの普及、価値観の多様化などにより、今日の子供を取り巻く社会環境は大きく変化しています。人との関わり方や学び方も変わる中で、どのように生きる力を育てていくかということは重要な課題の一つです。この授業では、人間形成の意味や発達の特徴、学校・家庭・地域の役割について理解を深めた上で、現代社会の課題を踏まえながら、子供たちの成長を支えるこれからの教育の在り方を、グループワークも交えながら考えていく予定です。

【到達目標】
・人間形成の意味や発達の特徴、学校・家庭・地域の役割について、基本的な事項を理解できる。
・現代社会の課題を踏まえながら、これからの教育の在り方について自己の考えを整理し、説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 人間形成とは何か
第2回 発達と教育
第3回 学校教育と人間形成①　学力形成
第4回 学校教育と人間形成②　心の教育
第5回 家庭・友人・地域社会と人間形成
第6回 現代社会の課題
第7回 これからの人間形成と教育
第8回 まとめと質疑応答

【学生へのメッセージ】
教育に関する特別な知識は必要としません。教育に関心のある受講者の方々と共に、教育の本質について様々な角度から考えていきたいと思います。

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して、自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
筆記用具

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・AI vs. 教科書が読めない子どもたち（新井紀子／東洋経済新報社／¥1,650／ISBN=9784492762394）
・子どもが育つ条件　家族心理学から考える（柏木惠子／岩波書店／¥1,034／ISBN=9784004311423）

科目コード	2697610
学習センター	愛媛学習センター
学習センターコード	38A
クラスコード	K
科目名	**財政学**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	タカハシ　ユウスケ 高橋　勇介 愛媛大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月25日(日) 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月31日(土) 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月1日(日) 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	愛媛学習センター

授業概要

【授業内容】
日本の経済社会においては、少子高齢化の加速や、財政赤字の累積、税のあり方が大きな問題となっています。本講義では、日本財政の現状と政府の役割についての基礎を学び、市場の失敗への対策としての環境税や金融取引税、社会保障各論、さらには財政・金融政策といった近年注目されている経済政策について紹介します。財政学の基礎を網羅しつつ、国際社会の中での日本財政が直面する課題とそれを解決していくための方法を学んでいきます。

【到達目標】
・財政システムの基礎について適格に説明することができる。
・政策課税としての環境税や金融取引税、国際連帯税などグローバルな規模での課税制度について理解することができる。
・人的資本投資や教育・文化・環境保全の必要性が高まる中で、国家が何に投資していくべきか考えることができる。

【授業テーマ】
第1回 経済思想と国家の役割
第2回 公共財の理論と市場の失敗
第3回 財政学と日本の財政
第4回 社会政策と社会保障制度
第5回 社会保障各論
第6回 現代税制の基礎理論
第7回 マクロ経済政策
第8回 まとめ

【受講前の準備学習等】
・TVや新聞、インターネットなどで報じられている財政関連の情報を理解するための知識を得るよう、心がけてください。
・TVや新聞、インターネットなどで報じられる財政や経済の動向を注視し、講義内容を踏まえながら自分なりの論理的な考えをもつよう、心がけてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
・現代の経済社会システムにおける財政と社会政策（高橋勇介／大学教育出版／¥2,500／ISBN=9784866924120）
2026年8月ごろ出版予定です。定価は予定です。

科目コード	2697629
学習センター	愛媛学習センター
学習センターコード	38A
クラスコード	K
科目名	**日本農業の これまでとこれから**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	タケシマ　クミコ 竹島　久美子 愛媛大学助教
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10
実施会場	愛媛学習センター

授業概要

【授業内容】

この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
【受講前の準備学習等】
【受講者が当日用意するもの】
【その他（特記事項）】
を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。

わが国農業のあゆみについて、他産業との比較や農業部門別の変化を追跡しながら、近年の転換状況を整理して示していきます。その際には、農業をめぐる社会環境について生産、流通、消費、それぞれの変化を一体的に捉えて理解することとし、今後の農業のあり方についても考えていきます。農業に関する歴史、政策、経済理論なども平易に紹介します。
【到達目標】
日本農業の将来像を検討するために、日本の農業のこれまでの歴史や他産業との違いについて理解し、自分にとって興味関心のある農業の側面を説明することができるようになる。
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：農業構造とは
第2回 農業概史①：藩政期の農業、地租改正、農地改革
第3回 農業概史②：高度経済成長期以降の農業、転換期としての21世紀
第4回 農業経済の基礎理論①（クラークの法則、エンゲルの法則）
第5回 農業経済の基礎理論②（農産物価格変動論、比較優位論）
第6回 愛媛県農業と政策①（集落営農）
第7回 愛媛県農業と政策②（中山間地）
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
大学の共通教育（教養科目）の水準を想定しています。歴史、政治や経済に関する基礎知識があることが望ましいですが、講義はわかりやすいように平易な内容で行いますので、農業に関心がある方であれば、どなたでも参加いただけます。授業を通じて農業を身近に感じてもらいたいです。
【受講前の準備学習等】
・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。
・ご自身の普段の食に関わる行動や農村への訪問の経験などを思い出していただくと、理解が深まると思います。
・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。
　OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
1．持参する端末
　種類は問いません（ただし、ノートパソコンでの受講が望ましいです）。
2．OSの指定
　種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。
3．ソフトのインストール
　ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。
端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2697637	**授業概要**	**【授業内容】** フランスの首都・パリの文化と歴史に多角的にアプローチすることにより、これまで抱いていたぼんやりとしたイメージや知識を払拭し、パリの魅力の本質に迫ります。 **【到達目標】** 1．パリの文化や歴史に関する具体的な知識を習得することができる。 2．文化には様々な面があることを学ぶことができる。 3．異文化への好奇心、想像力をもつことができる。 **【授業テーマ】** 第1回 イントロダクション・パリの成り立ち 第2回 中世のパリとノートルダム・ド・パリ 第3回 ルーヴル宮・ルーヴル美術館 第4回 ルイ14世とパリ 第5回 18世紀のパリ 第6回 近代の象徴エッフェル塔 第7回 歓楽と芸術のモンマルトル 第8回 パリと映画 **【学生へのメッセージ】** フランス語の知識は必要としません。 **【受講前の準備学習等】** ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	愛媛学習センター		
学習センターコード	38A		
クラスコード	K		
科目名	**パリの文化と歴史**		
科目区分	専門科目：人間と文化		**【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	サカグチ　シュウスケ 坂口　周輔 愛媛大学講師		
日程 実施時間	11月4日(水) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月11日(水) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	愛媛学習センター		

科目コード	2697645	**授業概要**	**【授業内容】** 人びとと自然環境との共生の中で長い歴史を積み重ねながら構築された地域文化はそれぞれに特徴、差異があり、そこに住む人の誇りやアイデンティティを形成し、現代では観光資源としての活用が期待されています。本授業では歴史学・民俗学の視点で、愛媛県における古代・中世・近世・近現代の時代的変遷を学ぶとともに、愛媛県内各地で世代を超えて継承されてきた地域文化にも注目し、現地のフィールドワークを通して、その時代性、地域性、伝承性、現状や将来への継承に向けての課題を取り上げます。（1日目は、バスで西予市を見学・解説します。） **【到達目標】** ・地域文化がどのように創出され、どのようにして継承されてきたかを理解できる。 ・自らが住む地域文化を客観視し、様々な地域の存在を相互に認め合う視点について理解できる。 ・愛媛における地域文化の現状を把握し、将来に向けた継承の課題・解決策について理解できる。 **【授業テーマ】** 第1回 愛媛の歴史を知る―愛媛県歴史文化博物館歴史展示室の解説― 第2回 愛媛の民俗を知る―愛媛県歴史文化博物館民俗展示室の解説― 第3回 災害からの地域文化の復興①―西予市災害伝承展示室の解説― 第4回 災害からの地域文化の復興②―西予市野村町のまち歩き― 第5回 人口減少社会と地域文化―伝統行事の継承と課題― 第6回 多文化共生社会と地域文化―四国遍路の世界遺産化― 第7回 災害と地域文化―災害の記憶・記録を防災に活かす― 第8回 疫病と地域文化―感染症の歴史に学ぶ― **【学生へのメッセージ】** 本授業では、1日目はバスで移動し、西予市内のフィールドワークを行い、徒歩移動も予定しています。受講者は体調を整えるとともに、配慮の必要な方は事前にご相談ください。 **【受講前の準備学習等】** ・愛媛の歴史・民俗について、事前に、書籍、インターネット等で調べて、その概要を把握しておいてください。 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。
学習センター	愛媛学習センター		
学習センターコード	38A		
クラスコード	K		
科目名	**歴史学・民俗学から見た愛媛**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	オオモト　タカヒサ 大本　敬久 愛媛大学特定准教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	この授業は、【1日目：★愛媛県歴史文化博物館・野村町災害伝承展示室　2日目：愛媛学習センター】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** 1日目は、歩きやすい服装・靴で参加するとともに、各自、昼食、飲み物をご準備ください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・愛媛の民俗―冠婚葬祭編―（大本敬久／愛媛県文化振興財団／¥1,200／ISBN=9784901265706） ・愛媛県の歴史（県史38）（内田九州男・寺内浩・川岡勉・矢野達雄編／山川出版社／¥2,640／ISBN=9784634323810）
			【その他（特記事項）】 1日目は、受講生全員が8時50分に愛媛大学正門に集合し、現地まで貸切バスで往復します。17時10分頃解散予定です。出発前に、バス代（4,000円～5,000円程度）を徴収させていただきます。 詳細については、受講生の方へ別途キャンパスメールにてお知らせいたします。（キャンパスメールの確認方法がわからない方は、事前にお問い合わせください。） 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧 (P.5参照）

科目コード	2697661	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 本授業では、理解しやすく説得力のあるプレゼンを行うことを目的として、プレゼンの理論を学び、プレゼンの相互批判を通して実践的なプレゼン技法を修得します。そのためにバフチンの対話理論に基づくプレゼン観、説得力の高め方、ソリューションを導くための考え方、ストーリーの構成、図解によるビジュアルな資料作成技法などを学びます。 **【到達目標】** ・つかみ・序論・本論・結論といった基本的なストーリーが構築できる。 ・エビデンスを援用し、破綻のない論理を用いた説得力のある説明ができる。 ・見やすく、理解の助けとなるような視覚資料が作成できる。 ・聞き取りやすい発声、聴衆の注意を引き込む表現、誠実で過不足のない質疑応答ができる。 **【授業テーマ】** 第1回 プレゼンとは何か：バフチンの対話理論とアクターネットワーク理論 第2回（演習）テーマの骨子をまとめる・アイデア発表の準備 第3回（演習）プレゼンのアイデアの発表と批判的検討 第4回 プレゼンのストーリー構成・スライド作成の注意点・プレゼン実施上の注意点、（演習）リハーサルの準備 第5回（演習）リハーサル（1） 第6回（演習）リハーサル（2） 第7回（演習）プレゼン本番の準備 第8回 受講生によるプレゼン本番および相互評価 **【学生へのメッセージ】** 本授業では、最後に全員に７～10分程度のプレゼンをしていただきます。プレゼンのレベルでいえば、多少の経験がある人～中級者向けになります。グループディスカッションとひとり数回のプレゼンを含みます。プレゼンソフトの使い方は、本授業の中では教えませんので、使えることを受講の前提とします。 **【受講前の準備学習等】** ・受講前に自身の発表テーマを考えておいてください。テーマは、何らかの主張・提案・提言を含み、聞き手の賛同を得ることを目的とする内容に限ります。受講はプレゼンソフトが使えることが前提です。ある程度、パソコンやブラウザの操作に慣れていることも必要です。 ・第一日目の夜に、翌日のリハーサルに向けてプレゼンを完成させるという宿題が出ます。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 **【成績評価の方法】** 成績評価はひとり７～10分程度の最終プレゼンとその相互評価により行います。
学習センター	愛媛学習センター		
学習センターコード	38A		
クラスコード	K		
科目名	**プレゼンテーションの理論と実践**		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	10名		
担当講師	カトウ　ヒロシ 加藤　浩 放送大学教授		
日程 **実施時間**	12月26日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月27日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10		
実施会場	愛媛学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 自分の発表のテーマに関する論拠・参考となるような本・資料・データ類 １．持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。 ２．OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 ３．ソフトのインストール プレゼン用ソフトが必要です。PowerPointやCanvaなど種類は問いませんが、本授業の中では使い方は教えませんので、独力で使えることが必要です。また、WebブラウザとPDFリーダーが必要です。種類は問いません。 **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・レポートの組み立て方（木下是雄／筑摩書房／¥858／ISBN=9784480081216） **【その他（特記事項）】** 充電を完了した端末と、充電切れが生じた時のためのACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2697670	**授業概要**	**【授業内容】** この授業の目的は、旅行を中心とした英会話を楽しむことです。リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングのタスクを英語で行います。Travelingのコンテンツでは、ペアワークまたはグループワークで協力して、さまざまな習慣や文化について話し合います。 **【到達目標】** この授業では、旅行をテーマにした英語学習を通して、学生は旅行に関する基本的な英語表現を理解して使えるようになり、異文化について理解を深め、旅行場面で英語を使って自分の考えや意見を伝えられるようになり、異文化への関心を高めて国際的な視野を広げられるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 Self-introduction: Getting to know each other 第2回 Visiting: Getting to know your town in Japan 第3回 Traveling: Getting to know another country（New Zealand） 第4回 Traveling: Getting to know another country（Thailand） 第5回 Traveling: Getting ready for your trip 第6回 Traveling: Enjoying your trip 第7回 Traveling: Staying healthy & safe 第8回 Traveling: Deciding where to go in the future **【学生へのメッセージ】** 授業活動にはペアワークやグループワークを多く含みます。間違えることを恐れず、クラスメートと一緒に英語学習を楽しんでいただきたいと思います。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	高知学習センター		
学習センターコード	39A		
クラスコード	K		
科目名	**英語で楽しむ 世界の習慣と文化**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	20名		
担当講師	ポーラ・フェビアン Paula D. Fabian 高知学園短期大学准教授		
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	高知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** ノート、筆記用具、辞書 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2689162	**授業概要**	**【授業内容】** **----------** **この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。** **【受講前の準備学習等】** **【受講者が当日用意するもの】** **【その他（特記事項）】** **を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。** **----------** 心理学の基礎的な実験３種（触２点閾、鏡像描写学習、心理尺度：SD法）を行います。皆さんはそれらの実験に「実験者」及び「参加者（協力者）」として参加し、さらにその結果をレポートにまとめます。実験の体験を通して、心理学の研究手法やデータの処理手法を学びます。なお、受講生の皆さんは、原則として８回の授業すべてに出席し、３つの実験すべてについてレポートを作成し提出する必要があります。 **【到達目標】** 心理学の実験を「実験者」や「実験参加者」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。 実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 オリエンテーション、心理学実験とは 第2回 レポートの書き方 第3回 実験１「触２点閾」実施 第4回 実験１「触２点閾」解説 第5回 実験２「鏡像描写学習」実施 第6回 実験２「鏡像描写学習」解説 第7回 実験３「心理尺度：SD法」実施 第8回 実験３「心理尺度：SD法」解説 **【学生へのメッセージ】** 実験実習の進行具合により、進行時間が不定期になります。実験の実施、結果のまとめ、レポートの作成等にパソコンを使用しますので、基本的なパソコン操作（Word、Excel 等）は習得されていることを望みます。また、USBメモリへのファイルの保存およびコピーができることが望まれます。 **【受講前の準備学習等】** シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、４単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	高知学習センター		
学習センターコード	39A		
クラスコード	K		
科目名	**心理学実験３**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	25名		
担当講師	ヒビノ　ケイ 日比野　桂 高知大学准教授		
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月29日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	高知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** １．持参する端末：ノートパソコンを持参してください。 ２．OSの指定：種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 ３．ソフトのインストール：Excelが必要です。統計処理等での使用を想定して記載していますが、電卓計算やGoogleスプレッドシートでの計算も可能です。 ４．その他：マウスを持参してください。ソフトのバージョン指定はありません。筆記用具、USBメモリも必要です。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【その他（特記事項）】** 心理学実験１、心理学実験２、心理学実験３は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。

科目コード	2697688
学習センター	高知学習センター
学習センターコード	39A
クラスコード	K
科目名	**高知の産業と地域経済**
科目区分	専門科目：社会と産業
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	オオサキ　スグル 大崎　優 高知大学講師
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	高知学習センター

授業概要

【授業内容】
日本の産業構造は都道府県によって比較的異なっています。この授業では、私たちが暮らす高知県の経済の特徴について、産業連関表と呼ばれる統計表を用いつつ、全国や四国４県での産業構造の比較を行うことで学んでいきます。また、いくつかの高知県の特徴的な産業品目に着目し、品目別の産業構造の特徴について学びます。最後に、現代の地域経済の課題について、受講生同士での議論も交えて考察を深めていきます。
【到達目標】
・現代の日本における産業構造について他者に説明ができるようになる
・地域経済が抱える課題について考察することができる
・他者と地域経済の今後について建設的に議論することができる
【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：産業構造とは
第2回 産業連関表と産業連関分析
第3回 日本の産業構造
第4回 産業構造の都道府県比較
第5回 高知の産業構造と特徴的な品目（ユズ、カツオ、日本酒など）
第6回 高知の産業構造と特徴的な品目（ユズ、カツオ、日本酒など）
第7回 グループワーク：現代の地域経済の課題に関する議論
第8回 まとめ
【学生へのメッセージ】
本講義では高知県の産業構造について学んでいきます。数式やモデル式のような理論モデルは扱わず、各種の統計資料やデータに基づいて経済の姿を学んでいきます。講義中にはグループワークを実施します。積極的に発言するとともに、他者の意見を尊重してください。
【受講前の準備学習等】
・経済学の入門書を読んでおいてください。入門経済学と検索して出てくる書籍であれば、著者は問いません。内容についてすべて理解する必要はなく、現代の経済の基本的な考え方（需要と供給等）について感覚的に理解していれば問題ありません。
・四国４県の特徴的な産業品目についてインターネットなどで調べておいてください。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
ノート、筆記用具などのご自身が学習で必要なものを準備してください。
講義中に持参したパソコンを調べものやメモのために利用しても問題ありません。
【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【その他（特記事項）】
指定の教科書はありません。下記の書籍は参考図書です。事後学習等に活用してください。
・まちづくり構造改革（中村良平／日本加除出版／￥1,980／ISBN=9784817841476）
・まちづくり構造改革Ⅱ（中村良平／日本加除出版／￥2,200／ISBN=9784817845290）
・地方創生の政策効果とデータ分析（土居英二・地域経営プラチナ研究所／日本評論社／￥3080／ISBN=9784535540880）
・食関連産業の経済分析（本田豊／晃洋書房／￥3080／ISBN=9784771032149）

科目コード	2697696
学習センター	高知学習センター
学習センターコード	39A
クラスコード	K
科目名	**幕末土佐藩概論と坂本龍馬の生涯**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ミウラ　ナツキ 三浦　夏樹 高知県立坂本龍馬記念館学芸課長 ヤスオカ　ミチヒト 安岡　達仁 高知県立坂本龍馬記念館学芸員
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	この授業は、【★高知県立坂本龍馬記念館】で行います。

授業概要

【授業内容】
幕末維新期の土佐藩は坂本龍馬だけではなく、15代藩主山内豊信（容堂）や後藤象二郎らも歴史の重要な役割を果たしました。この時期になぜ土佐藩が重要な藩となるのか、まずは藩主・山内家の歴史と幕末土佐藩の政治史を紐解きます。
その上で、薩長同盟や大政奉還に尽力した龍馬について、史実に沿って生涯と功績を紹介いたします。一人の人間を理解するためには、個人を細部まで見るミクロの視点と、時代背景や人間関係を含めたマクロの視点の両方が必要になります。本講座では、両方の視点から龍馬を説明いたします。

【到達目標】
近世から近代への移行期である幕末維新期は、坂本龍馬など若い世代が活躍する魅力的な時代である一方、短期間に社会が大きく変化していくため、理解しづらい時代です。学生の方は、龍馬の生涯を通じて幕末維新期を学ぶことで、複雑な時代を整理することができ、現代の日本に繋がる近代国家・日本の成り立ちについて理解を深めることができます。

【授業テーマ】
第1回 土佐藩の概説　ー藩主・山内家を中心としてー（安岡）
第2回 幕末土佐藩の政治史　ー雄藩への道ー（安岡）
第3回 幕末の胎動・坂本龍馬が生まれた天保期　ー「内憂外患」の時代ー（三浦）
第4回 龍馬の人生を変えたペリー来航　ー混乱する社会情勢ー（三浦）
第5回 脱藩後の龍馬　ー勝海舟、大久保一翁、松平春嶽らとの邂逅ー（三浦）
第6回 幕末の異質な組織・亀山社中及び海援隊　ー専門家集団の結成ー（三浦）
第7回 戦略家兼調整役としての龍馬　ー薩長同盟と大政奉還ー（三浦）
第8回 龍馬の集大成「新政府綱領八策」　ー新国家の課題ー（三浦）

【受講前の準備学習等】
・ペリー来航から明治維新までの大まかな流れを把握しておいてください。
・尊王攘夷や公武合体など、幕末特有の用語が登場しますので、授業で学修した内容を復習して、理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
教科書は使用しません。

【参考書】
・土佐藩（平尾道雄／吉川弘文館／¥2,860／ISBN=9784642066181）
・坂本龍馬とその時代（佐々木克／吉川弘文館／¥2,420／ISBN=9784642073493）

科目コード	2697700
学習センター	高知学習センター
学習センターコード	39A
クラスコード	K
科目名	**日本近現代文学における病と障害**
科目区分	専門科目：人間と文化
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	ヌマタ　マリ 沼田　真里 高知県立大学准教授
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月15日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	高知学習センター

授業概要

【授業内容】
日本近現代文学における「病」「障害」の表象を、近代から現代までの流れの中で総合的に学ぶ。正岡子規の自己表現、視覚障害者の表象の歴史、明治の思想家・森盲天外と視覚障害者の俳人による表現、川端康成や谷崎潤一郎など耽美派作家の描いた盲人表象、素木しづと市川沙央など障害をもつ女性作家の作品、さらには介護小説を取り上げ、日本文学における障害や病の表象について考察する。

【到達目標】
・日本近現代文学における病・障害・介護といった表象の特徴を説明できる。
・日本近現代文学の作品や作家について、社会背景や時代背景とともに検討し、自己の観点を持つことができる。

【授業テーマ】
第1回 日本近現代文学における病と障害を読むとは
第2回 正岡子規 ――病者の自己表現と工夫
第3回 盲人表象の文化と歴史について学ぶ
第4回 森盲天外と視覚障害者の俳人たち
第5回 耽美派作家の描いた「盲人」像――川端康成、谷崎潤一郎の場合
第6回 女性作家の描いた身体・病・障害――素木しづ、市川沙央の場合
第7回 介護小説とケアを読む――中島京子「長いお別れ」を中心に
第8回 まとめとふりかえり

【学生へのメッセージ】
・本授業では複数の文学作品を扱います。教科書に指定した作品は事前に読んで参加しましょう。また、参考書も可能な範囲で読み、内容を踏まえておくとよいでしょう。授業は講義中心ですが、適宜、教室全体での意見交換の時間も設けます。
・本講義で使用する文学作品には、性的な表現および身体を傷つける場面が一部含まれます。人によっては、苦手な場合もあるので配慮しながら授業を進めます。

【受講前の準備学習等】
・事前学習：教科書に指定した作品を事前に読んでください。また、参考書も可能な範囲で読んで参加してください。その際、作品・作家に対してどんな感想を抱いたのか、また、どのような分析や観点が考えられるかなど検討しながら読みましょう。
・事後学習：授業での講義内容や意見交換を活用して、文学作品や作家、文学史について理解を深めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【教科書】
・『刺青・秘密（新潮文庫）』（谷崎潤一郎／新潮社／¥693／ISBN=4101005036）
講義でとりあげる作品は、本書に収録されている「春琴抄」です。「春琴抄」を読んでおいてください。
・『ハンチバック（文春文庫）』（市川沙央／文藝春秋／¥660／ISBN=4167924250）
講義でとりあげる作品は、本書に収録されている「ハンチバック」です。「ハンチバック」を読んでおいてください。
・『長いお別れ（文春文庫）』（中島京子／文藝春秋／¥726／ISBN=4167910292）

【参考書】
・『墨汁一滴（岩波文庫）』（正岡子規／岩波書店／¥572／ISBN=4003101340）
文庫本も入手できますが、青空文庫で閲覧・プリントアウトでも構いません。
・「十三の死」（『現代日本文學全集　85　大正小説集』）（素木しづ／筑摩書房／）
書店や図書館でも入手困難です。青空文庫で閲覧・データ入手してください。（授業内でもあらすじなど説明します。）
https://www.aozora.gr.jp/index_pages/person12.html
・『伊豆の踊子・温泉宿 他四篇（岩波文庫）』（川端康成／岩波書店／¥814／ISBN=4003108116）
「十六歳の日記」が収録されています。書店でも購入できます。地域の図書館等に所蔵されている『川端康成全集』でも読むことができます。授業内でもあらすじなど説明します。
・『たんぽぽ（講談社文芸文庫かF5）』（川端康成／講談社）
中古本でないと入手困難です。地域の図書館等に所蔵されている『川端康成全集』で読むことができます。授業内でもあらすじなど説明します。

科目コード	2697718	**授業概要**	**【授業内容】** 本講義では、微生物学の基礎的な知識を得たうえで、人類がいかにして病気との戦いの中から微生物学ならびに関連科目を発展させてきたかを学ぶ。 **【到達目標】** 若年層および子供世代に対して「微生物（細菌・ウイルス）とは何か」「病気との戦いはどのように変化してきたか」「微生物学はいかにして発展を遂げたか」についてわかりやすく説明出来るようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 微生物の基礎について学ぶ 第2回 微生物により起こる病気と人類の戦いについて学ぶ 第3回 微生物学の基礎を作り上げた偉人について学ぶ（レーウェンフック） 第4回 微生物学の基礎を作り上げた偉人について学ぶ（パスツール１） 第5回 微生物学の基礎を作り上げた偉人について学ぶ（パスツール２） 第6回 微生物学の基礎を作り上げた偉人について学ぶ（コッホ） 第7回「偉大なる発見は準備された心にのみ宿る」の意味は？ 第8回 現代のパンデミック対策 **【学生へのメッセージ】** 写メは撮ってもらって結構です。ノートに写すのみに集中するのではなく、講師との質疑応答に集中してください。 **【受講前の準備学習等】** ・レーウェンフック、パスツール、コッホの3人についてインターネット等で調べてみてください。 ・授業で学修した内容に関連した知識をインターネット等で集め、総合的な理解を深めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	高知学習センター		
学習センターコード	39A		
クラスコード	K		
科目名	**病気をめぐる 微生物学の始まり**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ナガサキ　ケイゾウ 長﨑　慶三 高知大学教授		
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 2027年1月10日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	高知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 筆記用具、スマホ。 **【教科書】** 教科書は使用しません。

科目コード	2697726
学習センター	高知学習センター
学習センターコード	39A
クラスコード	K
科目名	**技術変革と私たちの生活**
科目区分	専門科目：情報
ナンバリング	320
定員	40名
担当講師	ハダ　ヨシアキ 葉田　善章 放送大学准教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10
実施会場	高知学習センター

授業概要

【授業内容】
現代の私たちの便利な生活はコンピュータ技術なくして成立しません。ネットショッピングやさまざまな手続き、電子決済、自動運転など、コンピュータ技術が適応される範囲は年々拡大しており、モノのインターネット（IoT: Internet of Things）の実現を目指して試行錯誤が行われています。この授業では、コンピュータや通信ネットワーク、メディア、SNS（Social Networking Service）といった近年登場した技術によって私たちの生活がどのように変化しようとしているのか考えます。

【到達目標】
私たちの生活に影響を与え、欠かすことができなくなったコンピュータによる技術変革に気づき、授業で提示する課題を通して自分の生活をどのように変化させたのか、自分の言葉でまとめることが目標である。そして、技術変革によりもたらされる今後の生活について自分なりの考えを持ち、生活の中で継続して学習を進める意識につなげることができるようになる。

【授業テーマ】
第1回 技術改革ともたらされるコト
第2回 コンピュータ技術の移り変わり
第3回 通信技術の移り変わり
第4回 ネットワークサービスの変遷
第5回 実世界と仮想世界
第6回 モノによるサービスの例
第7回 これからの技術と付き合い方
第8回 まとめ

【学生へのメッセージ】
スマートフォンや自動車、SNSなどの例を見ながら考えます。よりよい理解のためには基本的なコンピュータやネットワークの知識が既にあることが望ましいですが、積極的に自ら学びたい方の受講も期待します。

【受講前の準備学習等】
自分のふだん行う業務において、どのような情報があると業務効率を高めるのか、業務効率を判断する指標となる情報は何かを明らかにし、自分なりに説明してください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
成績とは無関係ですが、希望者に対し無線LANサービスを提供し、お手持ちのスマートフォン・タブレットで教材を閲覧できる環境を提供しますので、希望される方は端末をお持ちください。設定や操作は各自でやって頂きますので、あらかじめご了承ください。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

【参考書】
・身近なネットワークサービス（改訂版）（葉田善章／放送大学教育振興会／¥3,520／ISBN=9784595322181）
　放送大学印刷教材
・コンピュータ通信概論（改訂版）（葉田善章／放送大学教育振興会／¥4,070／ISBN=9784595324802）
　放送大学印刷教材
・生活を支えるコンピュータ技術（葉田善章／放送大学教育振興会／¥3,630／ISBN=9784595325281）
　放送大学印刷教材

科目コード	2697734	**授業概要**	**【授業内容】** 現在の情報通信技術（ICT）の基盤であるインターネットから始まり、情報を安全に伝えるための暗号化、ディジタル信号の有する情報量の表し方、情報を正しく伝えるための誤り検出／訂正符号、画像や音声を記録したり伝送したりするための符号化方式などについて概観する。また、高知でデータ駆動型農業を進めるためのIoP（Internet of Plants）プロジェクトや南海トラフ地震に備えた対策など高知の先進的な取り組みについてふれることで、ICTが世の中でどのように役立っているかを学ぶ。 **【到達目標】** 情報通信技術（ICT）の基盤であるインターネットから、情報セキュリティ、情報理論、誤り検出／訂正、画像や音声の圧縮符号化の基本的な仕組みを理解でき、その課題や求められるものを論じられる。 また、高知での先進的な事例に触れることで、ICTの活用についてわかったうえで、今後の情報通信環境のあるべき姿を描けるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 インターネット ～その成り立ちと支える技術 第2回 情報セキュリティ ～情報を安全に届けるしくみ 第3回 情報理論入門 ～情報の大きさ、通信量 第4回 符号理論入門 ～情報を正しく伝えるしくみ 第5回 情報源符号化1 ～画像の圧縮符号化のしくみ 第6回 情報源符号化2 ～動画や音声の圧縮符号化のしくみ 第7回 IoP（Internet of Plants）～ICTを活用した農業 第8回 高知での情報通信技術（ICT）を活用した先進的な取り組み、南海トラフ地震に備えた取り組み **【学生へのメッセージ】** 情報通信技術（ICT）とはどのようなもので、世の中でどのように利活用されているかを学び、ディスカションを通して理解を深めましょう。 **【受講前の準備学習等】** シラバスに記載しているテーマに関して調べて、各回でのディスカションやレポートの準備をしておいてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートにより行います。なお、レポートのテーマは各回毎に以下とします。 1．インターネットの課題・未来のインターネットに求めるもの 2．安心して暮らすために情報システムに求められるもの 3．情報の大きさを数値化できるとはどういうことか 4．誤り検出／訂正の仕組みと活用方法 5．画像符号化の課題と改善方法 6．放送や配信で求められる符号化 7．IoT・地域情報共有でできること、新しいサービスなど 8．大規模・広域災害に備えたICT、今後のICTのあるべき姿
学習センター	高知学習センター		
学習センターコード	39A		
クラスコード	K		
科目名	**情報通信技術の社会への展開**		
科目区分	専門科目：情報		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	フクモト　マサヒロ 福本　昌弘 高知工科大学教授		
日程 実施時間	11月14日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 11月15日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	高知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** ノートPCやスマホなどの携帯情報端末や筆記用具など **【教科書】** 教科書は使用しません。

科目コード	2697742	**授業概要**	**【授業内容】** 日本の気候は湿潤で雨が多い上に、活発な造山運動のために脆弱な地質条件を備えています。そのため特に夏には梅雨や台風、そして集中豪雨により多くの土砂災害が発生し、社会に対する大きな脅威となっています。これらの土砂災害の発生メカニズムを理解し、その予測の考え方を身に着けていただくため、日本における土砂災害の概要、土砂災害の発生メカニズムとその予測方法について、地形学及び地盤工学的な面から解説します。そして、それを理解するための演習を行います。特に地すべり地形判読と斜面の安定解析を平易に解説していきます。 **【到達目標】** ・日本における土砂災害の種類とそれらの相違について簡潔に説明できる。 ・土砂災害の発生メカニズムを簡潔に説明できる。 ・土砂災害が発生しやすい箇所を地形図上から読み取ることができる。 **【授業テーマ】** 第1回 土砂災害の種類と特徴 第2回 土砂災害が中山間地の生活に与える影響 第3回 地すべりと斜面崩壊 第4回 降雨による土砂災害 第5回 土砂災害の危険の高い地形 第6回 地すべり・斜面崩壊のメカニズムー斜面の安定解析― 第7回 土砂災害に対する警戒避難のための方法―土砂災害警戒情報と斜面のモニタリング― 第8回 地すべり地形の判読（演習） **【学生へのメッセージ】** 授業は、学部学生レベルの講義と演習を行います。特に安定解析の理解には、三角関数などの数学の知識が必要です。また地すべり地形判読では、「地図を読む」能力が必要です。少々頑張ってみてください。 **【受講前の準備学習等】** 三角関数が理解できること、地図の等高線を読めるようになってください。地図が読めない方は以下のWebサイトなどでの事前学習をお願いします。 https://wearewhatwerepeatedlydo.com/tikeizu http://www.satoyama01.com/sagasou/sagasou02/sagasou02.htm https://mylearnlab.link/chikeizu **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	高知学習センター		
学習センターコード	39A		
クラスコード	K		
科目名	**土砂災害の発生メカニズムと予測**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	ササハラ　カツオ 笹原　克夫 高知大学教授		
日程 実施時間	11月19日(木) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 11月20日(金) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	高知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 特段の機材は不要です。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・自然環境保全のための保全砂防学入門―土砂災害の予知と防災―（林拙郎／電気書院／¥3,850／ISBN=9784485300381） ・砂防学（丸谷知己編／朝倉書店／¥4,620／ISBN=9784254470536）

科目コード	2697750
学習センター	高知学習センター
学習センターコード	39A
クラスコード	K
科目名	**海藻の観察と 海洋観測実習**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	タナカ　コウキ 田中　幸記 高知大学技術専門職員
日程 実施時間	11月28日(土) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　12:00～13:30 第３時限　13:40～15:10 第４時限　16:00～17:30 11月29日(日) 第１時限　9:30～11:00 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　16:00～16:45 試験・レポート等　16:45～17:30
実施会場	この授業は、【★高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設】で行います。

授業概要

【授業内容】
高知大学臨海実験所の調査船「豊旗丸」に乗船して、ロープワークや採水器・採泥器などの観測機器の取り扱いを習得したのち、受講者自らが海洋観測を行う実習形式の授業です。実験室では顕微鏡を使い、様々な海藻の観察を行うほか、海藻押し葉標本を作製します。教室内で行う講義では、高知県沿岸での海洋温暖化の現状や、水温上昇に伴う海藻植生の変化、磯焼け対策の取り組み、海藻の陸上タンク栽培について紹介します。また、臨海実験所で行われている研究活動や飼育施設の見学も行います。
【到達目標】
調査船上において、海洋観測に必要な採水器や採泥器の取り扱いを習得し、観測で得られたデータを説明できるようになる。高知県沿岸での海水温上昇が、海藻植生に与える影響について理解し、説明できるようになる。藻場が衰退する「磯焼け」の現状や発生原因について理解し、磯焼けから回復するための取り組みや陸上タンク栽培について説明できるようになる。
【授業テーマ】
第1回 臨海実験所の活動紹介と施設見学
第2回 調査船での観測実習１
第3回 調査船での観測実習２
第4回 土佐湾の環境と海藻の分布状況
第5回 観測結果の解析と海洋温暖化
第6回 藻場の変化と磯焼け対策
第7回 海藻の観察
　　海藻の観察と標本作成
第8回 海藻の陸上タンク養殖
【学生へのメッセージ】
すぐそこに、本物の海がある。臨海実験所はフィールド研究の最前線です。調査船に乗って海の環境を体感して観測し、高知県沿岸で起きている海洋温暖化に伴うダイナミックな海藻の変化について学びましょう。
【受講前の準備学習等】
事前学習として、世界で起こっている温暖化の影響について、本やインターネット等で調べておいて下さい。
授業で学んだ後には、自分の身の回りにも目を向け、温暖化などの環境変化が、そこに住む生物たちに何らかの影響を与えていないか探して発見してみて下さい。
【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。

【受講者が当日用意するもの】
押し葉標本の送料140円
船上で使用する運動靴または長靴
レインコートなどの雨具（傘のみは不可）
酔い止め（必要な参加者のみ）
【教科書】
教科書は使用しません。

【その他（特記事項）】
「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧 (P.5参照))
船上での実習があるため、天候等の状況に応じて時間割を変更して行う場合があります。
乗船する際には岸壁との間に多少の隙間があり、船内には段差があります。また、波による揺れも予想されるため、それらの状況でも歩行や活動が可能な方に限ります。屋外や船上での活動が可能な服装で参加して下さい。

科目コード	2697769	**授業概要**	**【授業内容】** この授業は動物生態学の基礎から応用までを学ぶ。特に、哺乳類や鳥類を対象とした長期生態モニタリングの事例を通して、フィールド生態学が生態学の発展にどのように貢献してきたか、継続することによって得られる意義について重点的に講義する。また、市民科学や博物館の生態学や生物保全における重要性も解説し、受講生の日々の生活と生態学の相互関連を伝えていく。 **【到達目標】** ・動物生態学の基本的な内容を理解し、自然や動物の行動や個体数の変化を生態学的な単語や現象として的確に説明できるようになる。 ・国内外での先進的な動物生態の研究事例を学び、動物生態学の理論を自然現象に当てはめて説明できるようになる。 ・博物館やSNSが生態学と社会のつながりを生む重要な場所やツールとなっていることを理解し、実生活でも活かせられるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 ガイダンスおよび生態系モニタリングの基礎 第2回 行動生態学 第3回 個体群生態学 第4回 動物の行動と個体群をつなげる長期モニタリング①：カナダユーコンのキタリス 第5回 動物の行動と個体群をつなげる長期モニタリング②：スコットランドのアカシカ 第6回 市民科学①：iNaturalistsなど 第7回 市民科学②：学生主導の野生動物生態調査 第8回 博物館が生態学や生物保全に果たす役割＆レポート **【学生へのメッセージ】** 大学でしか学べない、知れないことを講義します。 授業中の質問は大歓迎です。 **【受講前の準備学習等】** ・生態学の教科書を読んだり、インターネットで生態学の基礎を調べておいてください。 参考教科書（授業内容はこれらの教科書に沿うものではないです） ・小説みたいに楽しく読める生態学講義、中田兼介、羊土社、2025 ・未来を生きるすべての人の教養の生態学、日本生態学会編、東京化学同人、2025 ・生物多様性と生態学―遺伝子・種・生態系、宮下直ほか、朝倉書店、2012 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	高知学習センター		
学習センターコード	39A		
クラスコード	K		
科目名	**動物生態学**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	トミタ　カンジ 富田　幹次 高知大学助教		**【教科書】** 教科書は使用しません。
日程 実施時間	12月5日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限 11:30～13:00 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	高知学習センター		

科目コード	2697777	**授業概要**	**【授業内容】** 人類が半世紀以上にわたって実施してきた深海底掘削の、世界３大コア保管施設がなぜ高知にあるのか？　深海底掘削コア試料はどのように保管され、どのような手法で、どんな研究がなされているのか？　西太平洋～インド洋の深海底コア試料を保管する世界唯一の拠点施設（高知コアセンター）であり、日本唯一の国際地球掘削科学国際拠点である高知大学海洋コア国際研究所にて、講義・実習・施設見学を行います。 **【到達目標】** ・海洋底堆積物がどのような物質から構成されているのか、簡便な観察手法を会得し、地球史読解手法を実感できるようになる。 ・人類のレガシーコアが日本・高知にある意義を理解し、説明できるようになる。 **【授業テーマ】** 第1回 イントロダクション 第2回 コア保管施設と共同利用機器（施設見学） 第3回 深海掘削の歴史と微化石 第4回 掘削科学研究事例：南極氷床発達史 第5回 顕微鏡観察実習 第6回 顕微鏡観察実習 第7回 掘削科学研究事例：古地震研究および地震発生帯掘削 第8回 まとめ・レポート作成 **【学生へのメッセージ】** ・実体顕微鏡・透過型簡易偏光顕微鏡を用いた実習を行います。顕微鏡の操作については、指示に忠実に従ってください（利用したことがあっても、勝手な操作はご遠慮ください）。 **【受講前の準備学習等】** 【事前学習】 ・中学理科・数学・自然地理・英語の内容は理解・習得しているものとして授業・実習を行います。不安な方は復習をしておいてください。 【事後学習】 ・授業での学習体験や脱線話をもとに、参考書・インターネット等を活用して復習を行い、理解を深めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。
学習センター	高知学習センター		
学習センターコード	39A		
クラスコード	K		
科目名	**地球掘削科学**		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	イワイ　マサオ 岩井　雅夫 高知大学教授		
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～17:10 2027年1月10日(日) 第１時限　9:50～11:20 第２時限　11:30～13:00 第３時限　14:00～15:30 第４時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	この授業は、【★高知大学海洋コア国際研究所（南国市物部乙200 高知大学物部キャンパス内)】で行います。		**【受講者が当日用意するもの】** ・上履き（スリッパはありますが、歩きにくいので、歩きやすいものを持参することを強く勧めます)。 ・昼食（休日生協は利用できず、半径２km以内に食堂やコンビニエンスストアはありません；高知空港を除く） ・筆記用具、カメラ付携帯電話 **【教科書】** 教科書は使用しません。 **【参考書】** ・海洋底科学の基礎（日本地質学会「海洋底科学の基礎」編集委員会／共立出版／¥6,930／ISBN=9784320047297） 共立出版 https://www.kyoritsu-pub.co.jp/book/b10003779.html ・微化石ー顕微鏡で見るプランクトン化石の世界（谷村好洋・辻彰洋（編著）／東海大学出版会／¥4,180／ISBN=9784486019442） 紀伊國屋書店オンラインショップ https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784486019442 ・新版微化石研究マニュアル（尾田太良・佐藤時幸（編）／朝倉書店／¥2,420／ISBN=9784254162752） 紀伊国屋書店オンラインショップ https://www.kinokuniya.co.jp/f/dsg-01-9784254162752 ・Antarctica（Jeff Rubin／Lonly Planet／） Lonly Planetシリーズは、海外版「地球の歩き方」です。 https://www.lonelyplanet.com/destinations/antarctica **【その他（特記事項)】** ・咳の症状がある方はマスクを着用してください。 ・インフルエンザやコロナの疑いがある場合は参加を自粛してください。速やかなる医療機関での受診をお勧めします。

科目コード	2697785	**授業概要**	**【授業内容】** 本講義では、人間社会と自然環境のあり方を考えるべく、里山や里海をめぐる様々な歴史および文化的背景への理解を深めることを目的とする。対象とする里山や里海は、高知県のみでなく、東南アジアやメラネシア地域など多様な自然と文化的背景を有する地域を対象に、学生が幅広い視点で里山と里海を捉え直すための能力の向上を図る。 **【到達目標】** 国内外の里山や里海などの多様な現場で生じている環境問題の背景とそこで生じている歪みを理解し、その課題を解決するための力を身に付ける。 **【授業テーマ】** 第1回 里山・里海における文化と地域社会のあり方を知ろう 第2回 里山・里海をめぐるローカルとグローバル 第3回 食べることを通した里山・里海のあり方とその歪み 第4回 里山・里海との関わりの歪みの背景 第5回 里山・里海の資源を分け合うこと 第6回 里山・里海を巡る多様な課題 第7回 里山・里海で生きることの影 第8回 里山・里海を基盤にした社会のこれから **【学生へのメッセージ】** 学生の皆さんには講義終了10分前にリアクションペーパーを作成してもらう時間を作りますので、配布された用紙にコメントや質問などの記入をお願いします。 **【受講前の準備学習等】** 里山や里海の資源を利用した経験やそこにある楽しみ、苦労などを各自で整理し、適宜その課題と可能性について、自己学習に努めてください。 **【成績評価の方法】** 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	高知学習センター		
学習センターコード	39A		
クラスコード	K		
科目名	**里山・里海の社会学**		
科目区分	総合科目		
ナンバリング	420		
定員	20名		
担当講師	タナカ　モトム 田中　求 高知大学教授		
日程 実施時間	10月17日(土) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月18日(日) 第1時限　9:50～11:20 第2時限　11:30～13:00 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	高知学習センター		**【受講者が当日用意するもの】** 特にありませんが、講義を踏まえて関連事例などを調べたい場合は、ノートPCなどを持ってくるようにしてください。 **【教科書】** 授業当日にプリントを配付します。 **【参考書】** ・環境の社会学（関礼子・中澤秀雄・丸山康司・田中求／有斐閣アルマ／¥2,200／ISBN=4641123853） **【その他（特記事項）】** この科目は所属コースのコース科目に該当します。

[学習センター・サテライトスペース案内図]

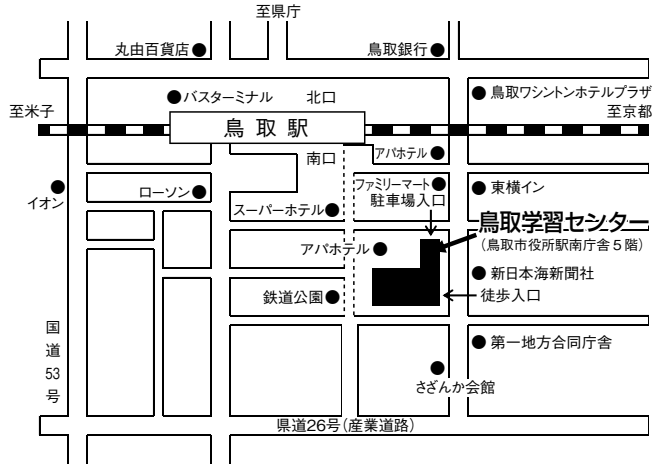
月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

鳥取学習センター

〒680-0845　鳥取市富安2-138-4（鳥取市役所駅南庁舎5階）

TEL 0857-37-2351
FAX 0857-37-2352

■鳥取駅南口から徒歩５分
■バスターミナルから徒歩10分
※1階フロアからは、新日本海新聞社側入り口のエレベーターをご利用ください。

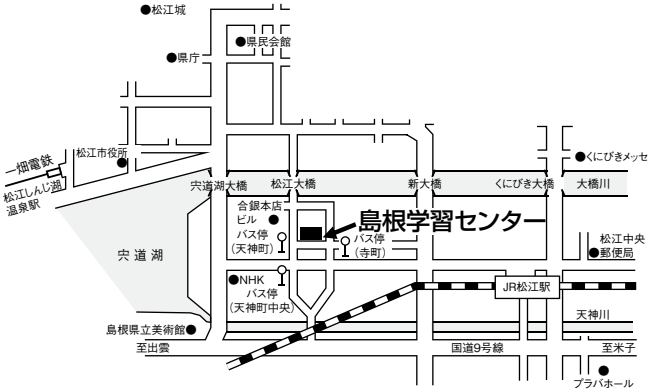


島根学習センター

〒690-0061　松江市白潟本町43（スティックビル4階）

TEL 0852-28-5500
FAX 0852-28-1800

■JR松江駅から　◇徒歩10分　◇市営バスまたは一畑バス利用
「天神町」下車徒歩1分「天神町中央」下車徒歩3分
■一畑電鉄松江しんじ湖温泉駅から　◇市営バスまたは一畑バス利用
「寺町」下車徒歩３分
※JR松江駅へは「寺町」からご乗車ください。

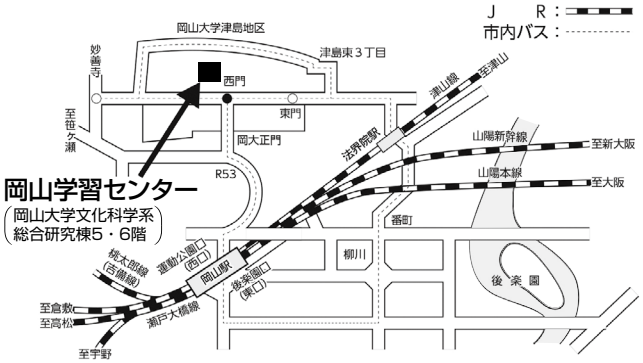


岡山学習センター

〒700-0082　岡山市北区津島中3-1-1（岡山大学津島キャンパス内）

TEL 086-254-9240
FAX 086-254-9286

■岡電バス　岡山駅運動公園口（西口）発　22番乗り場　47番バス　理大線「岡大西門」下車　所要時間約15分
■岡電バス　岡山駅後楽園口（東口）発　13番乗り場　17(67)番バス妙善寺線「岡大西門」　下車　所要時間約30分
■JR津山線法界院駅下車　北西へ徒歩約15分

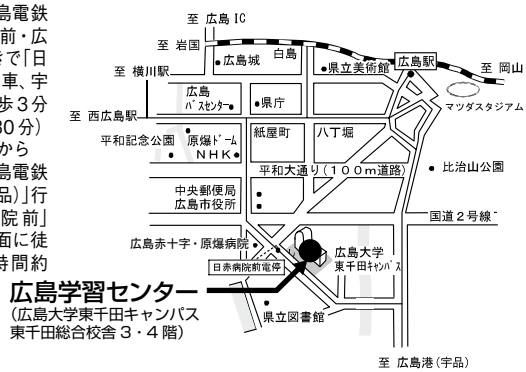


広島学習センター

〒730-0053　広島市中区東千田町1-1-89（広島大学東千田キャンパス内）

TEL 082-247-4030
FAX 082-247-4461

■JR広島駅前（南口）から
●路面電車：広島電鉄「1広島港（宇品）」行き（紙屋町東経由）で「日赤病院前」下車、宇品方面に徒歩３分（所要時間約30分）
●バス：広島バス「50アルパーク」行きで「日赤前」下車、または「21-2広島港（ベイシティ経由）」行きで「日赤病院西」下車、宇品方面に徒歩３～ ５分（所要時間約20 ～ 30分）
■JR西広島駅前から
●路面電車：広島電鉄「3日赤病院前・広電本社前」行きで「日赤病院前」下車、宇品方面に徒歩3分（所要時間約30分）
■JR横川駅前から
●路面電車：広島電鉄「7広島港（宇品）」行きで「日赤病院前」下車、宇品方面に徒歩3分（所要時間約25分）

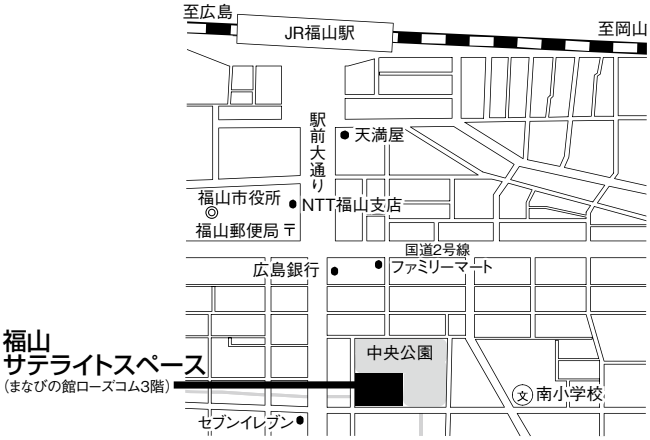


福山サテライトスペース

〒720-0812　福山市霞町1-10-1（まなびの館ローズコム3階）

TEL 084-991-2011
FAX 084-991-2012

■ＪＲ福山駅から南へ約７００m（徒歩１０分）

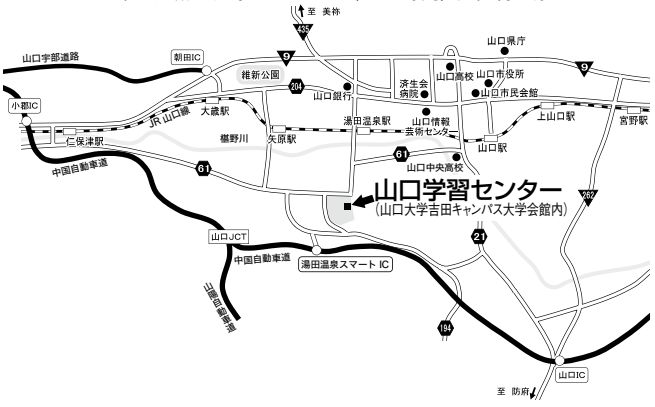


山口学習センター

〒753-0841　山口市吉田1677-1（山口大学吉田キャンパス 大学会館内）

TEL 083-928-2501
FAX 083-928-2503

■ＪＲ：湯田温泉駅下車　徒歩25分
■バス：湯田温泉駅入口バス停から防長バス（平川経由）で山口大学前バス停下車 徒歩3分、湯田温泉駅入口バス停からJRバス（山口大学行き）で山口大学バス停下車 徒歩2分
■自家用車：中国道小郡ＩＣ下車 約15分
中国道山口ＩＣ下車 約12分
中国道湯田温泉スマートＩＣ（ETC 専用）下車 約5分



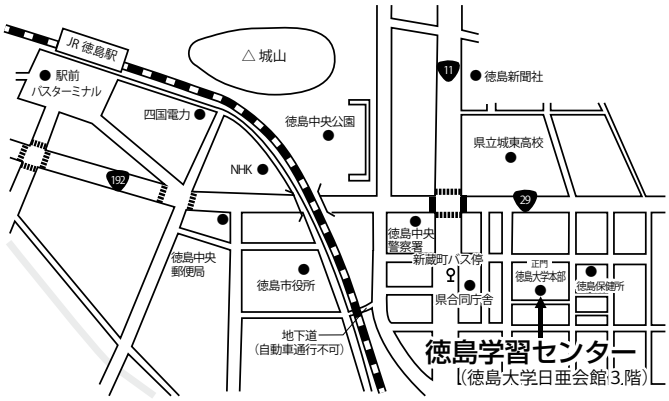
月曜及び火曜（時期により変更の可能性あり）、祝日、年末年始、及び臨時閉所時は利用できません。

[学習センター・サテライトスペース案内図]

徳島学習センター

088-602-0151
FAX 088-602-0152
〒770-0855　徳島市新蔵町2-24（徳島大学新蔵キャンパス日亜会館3階）

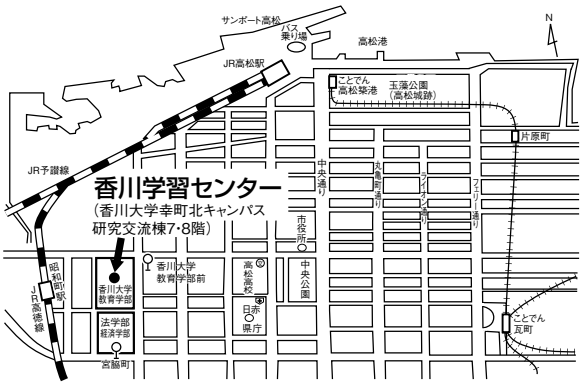
■JR徳島駅下車、徒歩約15分
■JR徳島駅前から徳島バス・徳島市営バス乗車、「新蔵町」下車、徒歩約2分
■JR徳島駅からタクシーで約5分



香川学習センター

087-837-9877
FAX 087-837-9890
〒760-0016　高松市幸町1-1（香川大学幸町北キャンパス内）

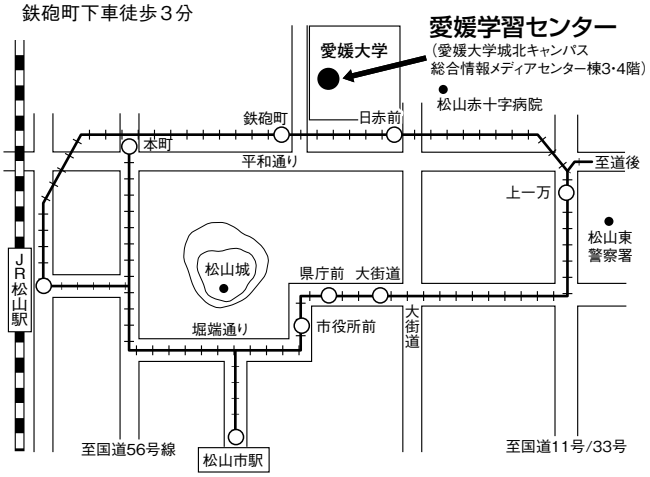
■JR：高松駅下車 約1.7km、昭和町駅下車　約500m
■電車：ことでん瓦町駅下車　約1.3km
■バス：JR高松駅・ことでん瓦町駅からまちなかループバス（東廻り・西廻り）で「香川大学教育学部前」下車約150m
■タクシー：JR高松駅から約5分



愛媛学習センター

089-923-8544
FAX 089-923-8479
〒790-0826　松山市文京町3（愛媛大学城北キャンパス内）

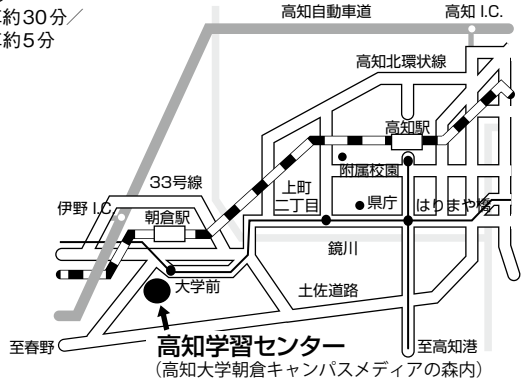
■JR松山駅から：市内電車（環状線①番）乗車16分
■伊予鉄松山市駅から：市内電車（環状線②番）乗車18分
　鉄砲町下車徒歩3分



高知学習センター

088-843-4864
FAX 088-843-4813
〒780-8072　高知市曙町2-5-1（高知大学朝倉キャンパス内）

■JR高知駅から
　バ　ス：高知駅バスターミナルから乗車（約25分）、朝倉（高知大学前）下車、徒歩約3分
　路面電車：高知駅前から乗車、はりまや橋で乗り換え（約40分）、朝倉（高知大学前）下車、徒歩約3分
　J　R：高知駅から下り線乗車（約15分）、朝倉駅下車、徒歩約5分
■高速道路から
　高知ICから車約30分／
　伊野ICから車約5分



年　月　日

年度　第　　学期
(＿＿＿＿学習センター／サテライトスペース 開設科目)追加登録申請書

学生番号				－							－	

フリガナ 氏名		所属学習センター	
連絡先	〒　－	電話：　（　）	
		メール：	

一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。

希望	科目コード	クラス	科目名	第１回目の日程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

〇複数の学習センターへ申請する場合は本申請書をコピーするか、面接授業ウェブサイト>「追加登録」について
　から申請書をダウンロードしてください。

〇提出前に必ずコピーをとり保管しておいてください。

備考

